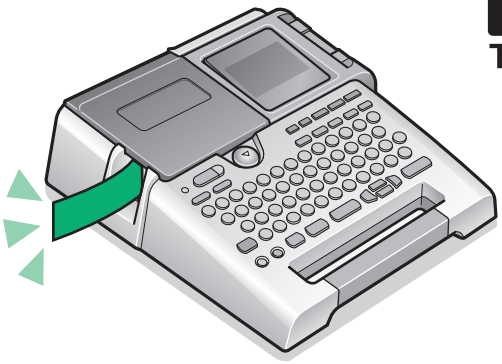
TEPRA PRO

TAPE



SR530
取扱説明書

KING JIM

はじめに

このたびは、ラベルライター「テプラ」PRO SR530をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書は「テプラ」PRO SR530の使いかたを、「準備編」「使いかた編」「機能編」「活用編」に分けて説明しています。ご使用前に、必ずお読みください。

取扱説明書には操作方法以外にも、使用上の注意や、上手に使うためのちょっとしたヒントなど、役立つ情報がいっぱいです。いつもお手元においてご利用ください。

「テプラ」PRO SR530を本書とともに末永くご愛用いただきますよう、心からお願い申し上げます。なお、本製品には保証書が同梱されています。保証書は、必ず「販売店名」「購入日」などの記入を確認し、販売店からお受け取りください。

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- この製品は、日本国内専用です。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の作成には万全を期しておりますが、万一、ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

!! 注意 !!

- 本機で保存する文章などのデータは、基本的に一過性のもので、長時間・永久的な記憶・保存はできません。故障、修理、検査、電池消耗などに起因するデータの消失の損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 「テプラ」で得られるラベルについて
  塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。
  なお、これによって、生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。

「キングジム」、「KING JIM」、「テプラ」、「TEPRA」、「テプラ」PRO、Pテープマークは株式会社キングジムの商標または登録商標です。
「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
その他記載の会社名及び商品名は、各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意…必ずお守りください！

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。
本機をご使用のときは、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、取扱説明書は不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

● 表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合いを、次のように説明しています。

⚠危険	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。
⚠警告	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
⚠注意	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

● 次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。

⚠	⚠表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⃠	⃠表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	❗表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

⚠危険

電池の取り扱いについて

❗ 電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。

⚠警告

ACアダプタについて

⃠ 同梱の専用ACアダプタ（AC1116J）以外のアダプタは、使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。

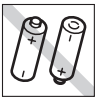
⃠ ACアダプタは、指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。

⃠ ACアダプタのコードを引っ張ったり、コードの上に重いものをのせないでください。火災・感電の原因となります。

⚠警告

電池の取り扱いについて

電池の⊕と⊖を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。

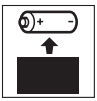


電池のアルカリ液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。

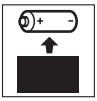
電池のアルカリ液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに水道水などの多量のきれいな水で洗い流してください。

新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。

使い切った電池はすぐに本機から取り出してください。使い切った電池を本機に接続したまま長期間放置しますと、電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂させたり、本機を破損させるおそれがあります。



長期間本機を使用しない場合には、本機から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液させたり、本機を破損させるおそれがあります。



電池の使いかたを誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりけがや機器故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。

その他

本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあり火災・感電の原因となります。破損した場合には、電源を切りACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ぬれた手で本機やACアダプタ、プラグを操作しないでください。故障や火災・感電の原因となります。

本機や取扱説明書が入っていた袋は、お子様がかぶったり、飲み込んだりしないように、手の届かないところに保管または破棄してください。窒息のおそれがあります。

本機にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。故障や火災・感電の原因となります。水などをこぼした場合には、電源を切りACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

本機を分解、または改造しないでください。火災･感電の原因となります。また、本書に記載されていない操作はしないでください。事故や故障の原因となります。

⚠注意

電池の取り扱いについて

電池の使いかたを誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりけがや機器故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。

オートトリマーのお手入れについて

「トリマーカバー」をはずすときは、必ず電源を切ってください。「トリマーカバー」をはずしたまま作動させると、刃で指を切ったりするなど大変危険です。また、オートトリマーを掃除するときにはオートトリマー内部に絶対、指を入れないでください。指を切るおそれがあります。

オートカッターについて

印刷中もしくはカッター作動中にテープ出口付近を指で触れないでください。指を切るおそれがあります。

その他

本機の上に物をのせたり、ぐらついた台や傾いたところなど、不安定な場所に本機を置かないでください。落下したり、倒れたりしてけがをするおそれがあります。

電源が入っている状態でACアダプタを抜かないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

「テプラ」で得られるラベルについて

塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

テープカートリッジ取り扱いについてのご注意

■ テープカートリッジを落としたり、分解したりしないでください。故障の原因となります。

■ テープ出口から出ているテープを引っ張ったり、押し込んだりしないでください。故障の原因となります。

■ テープカートリッジは直射日光、高温、多湿、ホコリを避け、冷暗所に保管してください。
テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。

MEMO

使用済みのカートリッジには、印刷済みのインクリボンが入っています。
印刷済みのインクリボンは必要に応じてお手元で廃棄してから回収に出してください。

テープカートリッジの回収およびリユース（再利用）について

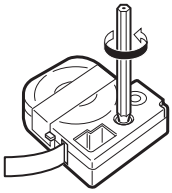
当社では使用済み「テプラ」テープカートリッジの回収をおこなっています。
使用済みの「テプラ」テープカートリッジは、当社にてリユース（再利用）をおこないますので、テープカートリッジを分解せず、お近くの「回収BOX」設置店までお持ちください。

テープカートリッジをセットするときのご注意

テープカートリッジをセットするときは、以下の注意をお守りください。

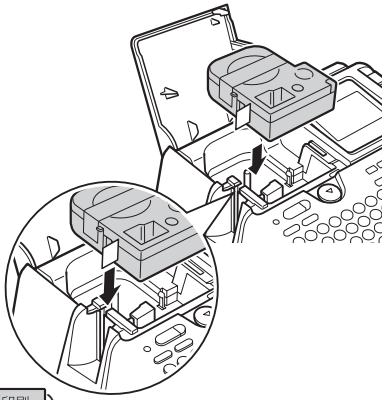
■ **セット前に、必ずインクリボンのたるみを取る**

セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いてたるみを取ってください。
インクリボンにたるみがあると、本機にセットする際、インクリボンが印刷ヘッドに接触し、インクリボンが折れ曲がったり、破れたりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。



■ **正しく本機にセットする**

テープカートリッジをラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。
正しくセットすると、本機のフックにテープカートリッジが固定されます。
新品のテープカートリッジやテープの先端が長めに出ているテープカートリッジを本機にセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミゾに通します。
テープカートリッジを本機に正しくセットせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。



■**セットした直後は必ず「テープ送り」をする（シフト＋印刷）**

テープカートリッジを本機にセットした直後は、テープやインクリボンにたるみが発生します。そのたるみを取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。
「テープ送り」または「送りカット」をせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。
参照☞P.28「5.テープ送りをする」

その他のご注意

■ **本機の使用にあたっては「安全上のご注意」をよくお読みになり、その指示に従ってください。**
■ ACアダプタは、使い終わったらコンセントから抜き、本機からも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故を防げます。
■ 直射日光のあたる場所、車内など熱がこもる場所、暖房器具や熱器具の近くなど温度が異常に高い場所や低い場所、湿気やホコリの多い場所でのご使用、保管はおやめください。
■ 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにはラベルを貼らないでください。
■ ACアダプタ差込み口、テープ出口などに物をつめたり、ふさいだりしないでください。
■ 印刷ヘッドには、絶対に手を触れないでください。
■ 本機では「テプラ」PROテープカートリッジ以外はお使いになれません。必ず「テプラ」PROテープカートリッジ（4・6・9・12・18・24㎜幅）をお使いください。
■ 本機では点字テープカートリッジはお使いになれません。
■ 使い終わったテープカートリッジのご使用や、テープカートリッジをセットせずに［印刷］を押したりすることはおやめください。印刷ヘッドが過熱し故障の原因となります。
■ テープ送りは、必ず［シフト］+［印刷］（＝テープ送り）でおこなってください。無理に手で引っ張ったりすることは、絶対におやめください。テープ出口から出ているテープを引っ張ると、正常に印刷がおこなえず、そのテープカートリッジが使用不能になることがあります。
■ テープカートリッジはていねいに扱い、衝撃を与えないでください。
■ キーボードの操作はていねいにおこなってください。乱暴な操作は故障の原因となります。また、ペン先などの鋭利なものでのキー操作は絶対におやめください。
■ テープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。
■ テープをハサミで切るときに指をはさまないように注意してください。
■ オートトリマーには「テプラ」PROテープカートリッジ以外のラベルを差し込まないでください。
■ オート・パワーオフ機能に頼らず、ご使用後は必ず電源を切ってください。
■ 電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、ACアダプタを抜かないでください。
■ 長期間使わないときは、電池、ACアダプタ、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。本機、電池、ACアダプタ、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。
■ 長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れしたりすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。
■ 寿命となった電池を捨てるときは、定められた条例に従って廃棄してください。
■ 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因となることがあります。
■ 取扱説明書に記載された内容、仕様、デザインなどは予告なく変更されることがあります。

本書の使いかた

本書の構成

本書は次のような構成になっています。

準備編

本機を使用する前の準備作業について説明しています。

使いかた編

「使いかた編」では、文字入力の基本操作と段落の追加などテキスト画面での操作と、オートトリマーについて説明しています。初めて「テプラ」PROシリーズをお使いになる方は、順を追って読まれることをおすすめします。

機能編

ラベルの見栄えをよくする機能や、フォーム機能など、デザイン性の高いラベルを作っていただくための情報を操作ボタンごとにまとめて説明しています。「使いかた編」の内容を充分に理解されたうえでお読みくださるようお願いします。

活用編

ファイル、あて名といった各種登録機能など、「テプラ」をさらに使いこなしていただくための情報を操作ボタンごとにまとめて説明しています。

本書の見かた

本書は次の表記で記述しています。

【 表 記 】	【 説 明 】
❶、❷	操作の手順を示しています。
M、O	文字ボタンを示しています。
書式、スタイル、モード	機能ボタンを示しています。
←、↑、↓、→	カーソルを移動したり、メニューを選ぶボタンを示しています。
参照☞	関連する事項の参照ページを案内しています。
MEMO	知っておくと便利な補足情報を説明しています。
!! 注意 !!	その機能の制限や条件など注意していただきたいことを説明しています。

ラベル見本について：　本書で使用しているラベル見本はすべてイメージです。本機で印刷したラベルを、説明用に縮小や余白の調整をして使用しています。

目次

はじめに

安全上のご注意…必ずお守りください！ 1
テープカートリッジ取り扱いについての
ご注意.....4
テープカートリッジをセットするときの
ご注意.....5
その他のご注意 6
本書の使いかた.....7
本書の構成.....7
本書の見かた.....7
同梱品の確認 10
別売品のご案内..... 11
まず使ってみよう…
すぐ使いたい人のために 12
「テプラ」PRO SR530の特長 14

準備編

各部の名前とはたらき..... 16
本機各部の名前（表）..... 16
本機各部の名前（内部）..... 16
本機各部の名前（裏）..... 17
本機各部の名前（背面）..... 17
操作パネルの名前とはたらき 18
ディスプレイの見かたとはたらき..... 20
ディスプレイ（画面）の見かた 20
表示の切り換え（みえ^2）..... 22
使う前の準備 23
1. ACアダプタを接続する 23
2. 電池（別売）を入れて
使用するときは..... 23
3. テープカートリッジをセットする.... 25
4. 電源を入れる 27
5. テープ送りをする..... 28

使いかた編

手順どおりに作ってみよう
（文字入力～ラベルの完成まで)..... 30
文字入力をはじめる前に..... 30
1. 文字を入力する 31
長い文章を変換する 34
変換する「読み」の長さを変える.... 34
2. 英数字を入力する..... 35
3. スペースを入力する 36
4. 記号を入力する 36
5. 印刷イメージを確認する
（プレビュー）..... 37
6. 印刷する 38
7. ラベルを貼る 39
8. 使い終わったら〈電源を切る〉..... 40
文章を作る..... 41
カーソルボタンの使いかた 41
文章を入力する 41
文字を削除/挿入する 42
文字をコピーする..... 42
文字を貼り付ける（ペースト）..... 43
すべての文章を消去する..... 43
行を増やす（改行）..... 44
新しい行を作る 44
文字を次行に移動する 45
改行を取り消す 45
段落を増やす（改段落）..... 46
新しい段落を作る..... 46
段落を分割する 47
特定の段落を消去する 47
カドを丸く仕上げる 48
オートトリマーのお手入れ 49

機能編

ラベルの向きを変える（縦・横）..... 52
縦・横ボタンを使う 52
ラベルの長さを整える（らく^2）..... 54
ラベルの見栄えをよくする
～装飾機能を使おう～ 55
機能を指定する 56
メニュー一覧 59
文章書式 59
段落スタイル..... 60
文字モード 63
機能の説明..... 65
文章書式 65
段落スタイル..... 68
文字モード 71
デザインされたラベルを呼び出す
（フォーム）..... 74
ラベルの作りかた..... 74
フォーム/特殊フォーム メニュー一覧... 76
フォーム見本..... 77

活用編

文章を呼び出す・登録する（ファイル）..... 88
ファイルメニュー..... 88
ファイルを登録する 89
ファイルを呼び出す 90
ファイルを消去する 91
ファイルを複写する 91

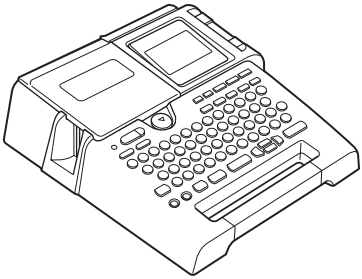
最近印刷した文章を呼び出す..... 92
印刷履歴を呼び出す 92
印刷履歴を消去する 92
名前や語句を登録する
（あて名/名前/辞書）..... 93
あて名ラベルを作る 93
あて名を登録する..... 94
あて名を修正する..... 95
あて名を消去する..... 95
あて名を複写する..... 96
あて名ラベルを印刷する..... 96
カスタマバーコードについて..... 97
名前を登録する 99
名前を修正する 100
名前を消去する 100
名前ラベルを印刷する 101
変換できない語句を登録する
（辞書の登録）..... 102
語句を呼び出す 102
辞書の語句を修正する 103
辞書の語句を消去する 103
外字を使う..... 104
外字を作成し、登録する..... 106
外字を修正する 107
外字を呼び出す 107
外字を複写する 108
外字を消去する 108
外字を参照作成し、登録する 109
読みのわからない漢字を入力する..... 110
漢字検索メニュー一覧..... 110
コードで入力する..... 111
部首による漢字検索 112
連番やバーコードを印刷する..... 113
連番・バーコードメニュー一覧..... 113
連番を印刷する 114
バーコードを印刷する 116
QRコードを印刷する..... 118
特殊な印刷（ぞく^2、でか^2）..... 120
特殊印刷メニュー一覧..... 120
同じラベルを連続して印刷する
（ぞく^2）..... 121
テープ幅より大きなラベルを作る
（でか^2）..... 122
鏡文字を印刷する..... 124
印刷設定..... 125
印刷設定メニュー一覧..... 125
「自動カット」を設定する..... 126
印刷濃度を調整する 127
印刷設定をリセットする..... 127
環境設定を変更する 128
環境設定メニュー一覧..... 128
ディスプレイの濃度を調整する..... 129
各種の初期値（保存値）を設定する 130
保存値を変更する..... 131
本機を初期化する..... 132
初期化する 133
デモ印刷をする..... 134

付録

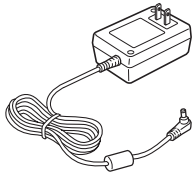
メニュー一覧 136
記号メニュー一覧..... 136
テープ送りメニュー一覧..... 138
消去メニュー一覧..... 138
テープカートリッジを使いわける..... 139
パソコンに接続して使う 140
アプリケーション、プリンタドライバを
インストールする 140
パソコンと「テプラ」本体を
接続する 146
アプリケーション、プリンタドライバを
アンインストールする..... 147
こんな表示が出たときは 150
ディスプレイが消えたときは..... 150
エラーメッセージが
表示されたときは..... 150
故障かな？と思ったら..... 153
正常な動作をしない 153
ON/OFF を押してもディスプレイに
何も表示されない..... 153
キーボードが動作しない..... 153
ディスプレイが消える 153
印刷 を押しても何も印刷されない... 153
文字がきちんと印刷されない 154
ラベルを印刷後、自動カット
されない 154
オートトリマーでうまくカット
できない 154
文章の途中までしか印刷されない 155
ファイルの内容が消えてしまった 155
ラベルを貼り付けることができない... 155
お手入れについて..... 156
ヘッド・クリーニングテープ（別売）を
使う 157
入力文字一覧表..... 158
文字ボタン配列 158
入力文字表 158
漢字変換表..... 159
JIS第1水準..... 159
JIS第2水準..... 163
その他..... 166
記号一覧表..... 167
ローマ字変換表..... 172
おもな仕様..... 173
索引..... 176
アフターサービスについて ..... 巻末

同梱品の確認

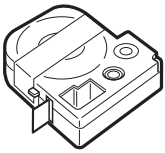
同梱品がすべて揃っているか、確認してください。



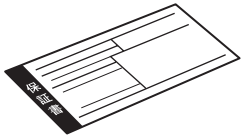
「テプラ」PRO SR530本体



ACアダプタ（AC1116J）



試用PROテープカートリッジ



保証書
（箱の側面に添付）

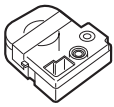
SR530取扱説明書（本書）

MEMO

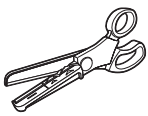
- 本機には、電池は同梱しておりません。単3形アルカリ乾電池（6本）をお買い求めください。
- 本機には、CD-ROM、PCラベルソフトは同梱されていません。当社ホームページ（http://www.kingjim.co.jp/）からダウンロードしてください。なお、ダウンロードの際はインターネット環境が必要となります。
- 本機にはパソコン接続用のUSBケーブルは同梱しておりません。パソコン接続には市販のUSBケーブルをご使用ください（USB2.0/1.1ケーブル A-Bタイプ）。

別売品のご案内

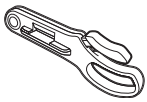
本機には、以下の製品がオプションとして用意されています。本機と合わせてご利用ください。



ヘッド・クリーニングテープ（SR24C）
「テプラ」本体のヘッドクリーニング用のテープです。

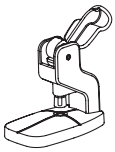


トリマー（RT36W）
ラベルのカドを丸くカットして、はがれに強い、きれいなラベルに仕上げるハサミ型トリマーです。ラベルの前後余白調整にも便利です。
対応ラベル：4～36mm幅
※本機の対応ラベルは4mm～24mmです。

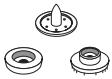


ハーフカッター（RH24）
ラベルの印刷面にスリットを入れて、ラベルの裏紙をはがしやすくします。
対応ラベル：4～24mm幅

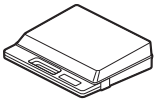
りぼんキット（SRR10）
ミニサイズで使いやすい手芸用はさみと、印刷前に使いたい長さを確認できる綿製のメジャー、おまけシールのついた「テプラ」PROテープカートリッジりぼん専用のオプション品です。



お名前タグメーカー（SRT10）
「テプラ」PROテープカートリッジりぼんに「スナップボタン」を取り付けて、オリジナルのお名前タグが作れます。



スナップボタン（SRTB1）
プラスチック製のボタンが20組入った「お名前タグメーカー」専用のオプション品です。



システムトランク（SR9BTA）
耐衝撃性に優れたトランクです。「テプラ」PRO本体とテープカートリッジ、同梱品、別売品などが収納可能です。

システムバッグ（SR8B）
ウレタン・ボンディング・ナイロンを使用したクッション性に優れたバッグです。「テプラ」PRO本体とテープカートリッジ、取扱説明書などが収納可能です。

システムケース（SR9H）
A4ボックスサイズに「テプラ」PRO本体とACアダプタ、テープカートリッジ（12mm幅10個分）などが収納可能です。印刷済みラベルの整理用ラベルファイル付きです。

テープカートリッジケース（SR4TH）
A4ボックスサイズにテープカートリッジ（12mm幅40個分）が収納可能です。4つのボックスでテープ色・幅・種類ごとに整理できます。

MEMO

詳細については、当社ホームページ（アドレス http://www.kingjim.co.jp/）をご覧いただくか、またはお買い上げ販売店、「テプラ」取扱店、当社お客様相談室にお問い合わせください。
参照☞巻末「アフターサービスについて」

まず使ってみよう…すぐ使いたい人のために

準備

ラベル作成の準備をします。参照☞P.23「使う前の準備」

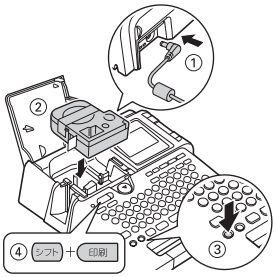
❶ ACアダプタを本機に接続する

❷ テープカートリッジをセットする

❸ 電源を入れる

❹ テープ送りをする

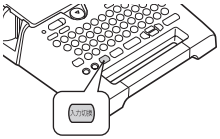
テープカートリッジをセットした直後は必ず
テープ送りをしてください。



文字を入力する（例:伊藤）

印刷する文字を入力します。参照☞P.31「1.文字を入力する」

❶ 入力切換を押して、「ローマ字入力」または「かな入力」を選ぶ

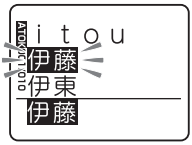


ローマ字入力　かな入力

❷ 文字を入力する→仮確定文字（ネガ表示）で入力されます

ローマ字入力　：　I、T、O、U
かな入力　　：　い、と、う

❸ 「伊藤」が表示されるまで変換スペースを押す



候補が表示されます。
変換スペースを押すたびに候補が変わります。

❹ 選択改行を押す→「伊藤」が確定します

行頭マークが1に変わります。

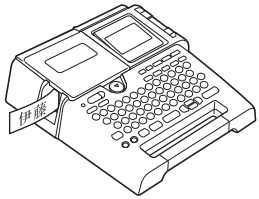
さらに、外枠をつけたり、書体などを変更するとラベルの見栄えが良くなります。
参照☞P.51「機能編」

ラベルの向きを変えるには：**参照☞P.52**
文字のサイズを変えるには：**参照☞P.58**

印刷する

1 印刷 を押す→ラベルが印刷されます

印刷終了後、テープは自動カットされます。
テープは絶対に手で引っ張らないでください。
参照☞P.38「6.印刷する」



ラベルを貼る

1 裏紙をはがし、しっかりとこすって貼り付ける

参照☞P.39「7. ラベルを貼る」

「テプラ」PRO SR530の特長

■ 日本語入力システム「ATOK」を搭載

入力しやすさに定評のある日本語入力システム「ATOK」を採用。文節区切りを的確に判断するので長い文章も正確に変換できます。漢字だけでなく、カタカナや英字への変換もスムーズです。

■ 気軽にQRコード印刷

QRコード付きラベルが作成できます。各種携帯電話の電話帳に対応したデザインフォームも用意されているので、データを入力するだけで簡単に電話帳用のQRコードラベルが作成できます。

■ 充実の新編集辞書

ペットやガーデニング関連用語から、品質管理、電子部品など広範囲をカバーした新編集辞書を搭載。今まで一手間かかった変換も素早くなり、ラベル作りの効率がアップします。

■ 6文字×4行の液晶表示

6文字×4行の液晶画面で見やすく表示。ラベルの作成がスムーズにできます。また、「みえ[2]」機能で印刷イメージも簡単に確認できます。

■ 部首からの漢字検索で簡単入力

部首の読みや画数からの漢字検索機能を内蔵しているので、読みかたのわからない漢字も簡単に入力できます。

■ オートカッターで手間いらず！

印刷後、自動的にラベルをカットするオートカッターを装備。印刷後のカット操作が不要です。
※一部対応できないテープがあります。

■ オートトリマーでカド丸仕上げ

ラベル(9～24mm幅)のカドを丸く仕上げるオートトリマーを装備。ラベルがハガレに強く美しい仕上がりになります。
※一部対応できないテープがあります。

■ 選べる漢字5書体＋かな9書体＋英数11書体

明朝体・ゴシック体に加え太ゴシック体・行書体・隷書体を用意。かな書体にはさらにえれん・ハッピ・あしび・てまりを加えた9書体を搭載！英数書体では明朝体・ゴシック体・太ゴシック体・行書体・隷書体・HV体・CR体・BR体・PL体・ST体・CB体の11書体を装備。用途に合わせ、表現力が広がります。

■ 豊富な記号、イラスト

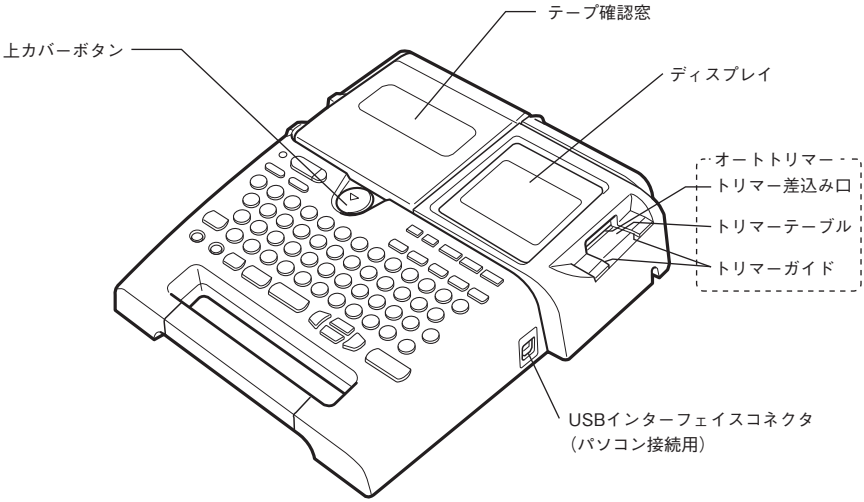
さらに記号が充実。「お店」や「学校」、「建設」、「病院」など、カテゴリー別の記号を用意しました。加えて、2文字分で表現する「イラスト」についても、同様の分類で用意しました。

準備編

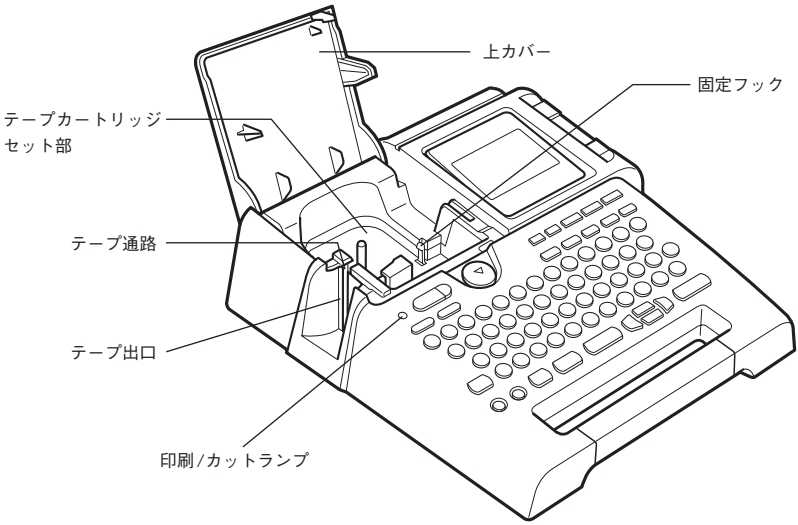
本機にACアダプタを接続し、電源を入れます。
本機をはじめてお使いの方は、ここからお読みください。

各部の名前とはたらき

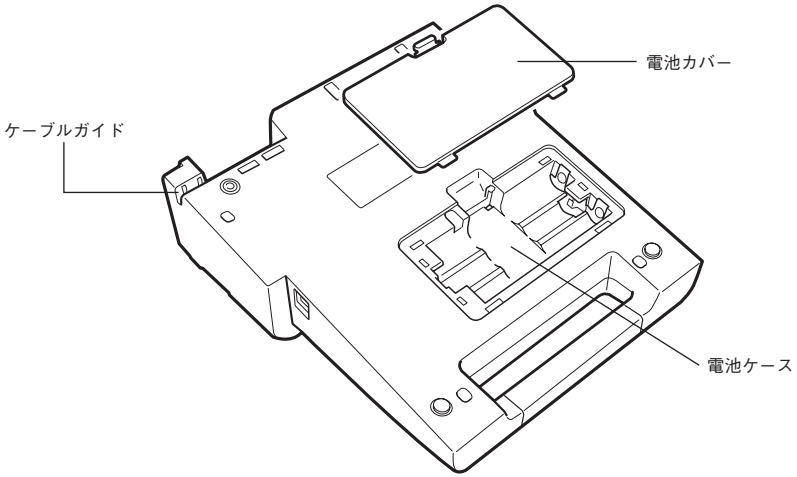
本機各部の名前（表）



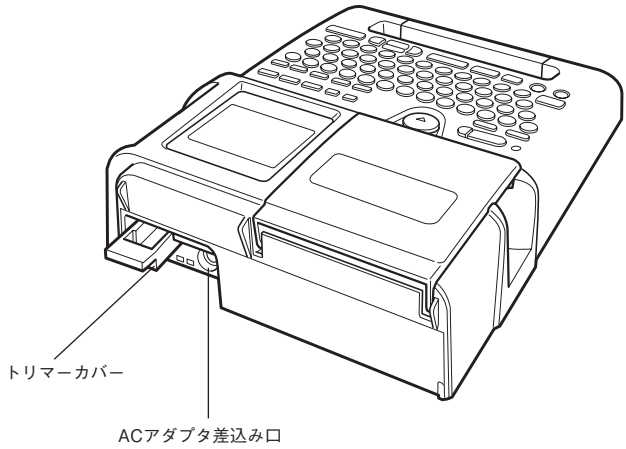
本機各部の名前（内部）



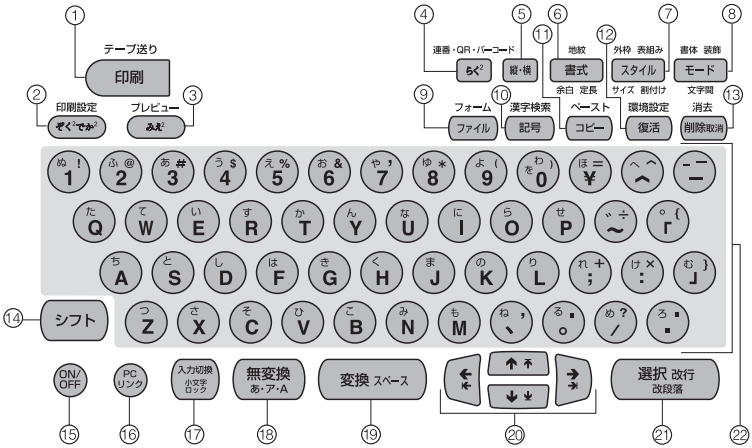
本機各部の名前（裏）



本機各部の名前（背面）



操作パネルの名前とはたらき



各ボタンの機能を説明します。シフト+◯となっている表記は、シフトを押しながらそのボタンを押したときの機能です。

① 印刷 **（印刷）**

入力内容をテープに印刷し、テープを自動的にカットします。

参照☞P.38

シフト+印刷 **（＝テープ送り）**

テープを約17mm空送りしたり、カットします。

参照☞P.28

② そく²でか² **（特殊印刷）**

連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷をします。

参照☞P.120

シフト+そく²でか² **（＝印刷設定）**

自動カットや印刷濃度を設定します。

参照☞P.125

③ みえ² **（みえ²）**

テキスト画面の表示を切り換えます。

参照☞P.22

シフト+みえ² **（＝プレビュー）**

印刷イメージを確認します。**参照☞P.37**

④ らく² **（らく²）**

段落の文字サイズを「らく²」または「均等」に切り換えます（文字サイズ「自動」のみ）。

参照☞P.54

シフト+らく² **（＝連番・QR・バーコード）**

連続番号やバーコードを入力します。

参照☞P.113

⑤ 縦・横 **（縦・横）**

たて書き/よこ書きを切り換えます。

参照☞P.52

⑥ 書式 **（文章書式）**

「文章書式」（地紋印刷、定長印刷、余白）を指定します。

参照☞P.55

⑦ スタイル **（段落スタイル）**

「段落スタイル」（縦・横、文字サイズ、割付け、外枠・表組）を指定します。

参照☞P.55

⑧ モード **（文字モード）**

「文字モード」（書体、飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間）を指定します。

参照☞P.55

⑨ ファイル **（ファイル）**

文章の保存、呼び出しや印刷履歴の呼び出し、あて名、名前、辞書を登録します。

参照☞P.88

シフト+ファイル **（＝フォーム/特殊フォーム）**

デザインフォームや特殊フォームを呼び出します。

参照☞P.74

⑩ 記号 **（記号）**
記号の入力や外字を登録します。
参照☞P.36、104

シフト＋記号 **（＝漢字検索）**
読みのわからない漢字を検索します。
参照☞P.110

⑪ コピー **（コピー）**
入力済みの文字をコピーします。
参照☞P.42

シフト＋コピー **（＝ペースト）**
コピーした文字を貼り付けます。
参照☞P.43

⑫ 復活 **（復活）**
削除した文字や文章をもとに戻します。
参照☞P.42

シフト＋復活 **（＝環境設定）**
画面の表示濃度や各種保存値を変更します。
参照☞P.128

⑬ 削除取消 **（削除、取消）**
カーソル位置（カーソルの左側）の文字を削除します。各種機能の操作中は操作が取り消されます。**参照☞P.42**

シフト＋削除取消 **（＝消去）**
段落や文章を消去します。**参照☞P.43、47**

⑭ シフト **（シフト）**
機能ボタンと一緒に押すと、機能ボタンの上部に書かれた機能になり、文字ボタンと一緒に押すと、小文字や英記号が入力できます。

⑮ ON/OFF **（ON/OFF）**
電源をON/OFFします。**参照☞P.27**

⑯ PCリンク **（PCリンク）**
PCラベルソフト（SPC10）使用時に、本機をパソコンと接続する状態に切り換えます。

⑰ 入力切換 **（入力切換）**
入力状態を「ローマ字→かな→ABC」の順で切り換えます。**参照☞P.31、35**
QRコードの用途「一般」では「ローマ字→かな→ABC【半角】→ABC」の順で切り換えます。**参照☞P.118**

「ABC入力」時のみ
シフト＋入力切換 **（＝小文字ロック）**
小文字入力状態に切り換えます。
参照☞P.35

⑱ 無変換 **（無変換）**
ネガ文字がある場合、「ローマ字入力」時は押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に、「かな入力」時は「ひらがな→カタカナ」の順に変換します。
参照☞P.31

機能選択は、1つ前の選択肢を表示します。

シフト＋無変換 **（＝文字変換）**
ネガ文字がある場合、「ローマ字入力」時は押すたびに「英字→ひらがな→カタカナ」の順に、「かな入力」時は「カタカナ→ひらがな」の順に変換します。
参照☞P.31

⑲ 変換スペース **（漢字変換、スペース入力）**
ネガ表示のひらがなを漢字に変換します。ネガ文字がないときは、スペースを入力します。ATOK変換画面では、次の変換候補を表示します。
参照☞P.31、36

⑳ ←↑↓→ **（カーソルボタン）**
カーソルや選択候補を上下左右に移動します。
参照☞P.41
ATOK変換画面では←→で変換対象の文節長さを変更し、↓で確定します。
参照☞P.34

シフト＋←↑↓→ **（＝カーソルジャンプ）**
カーソルを段落先頭、段落末尾、行頭、行末に移動します。機能選択時は、先頭候補、最終候補を表示します。
参照☞P.41
ATOK変換画面では変換対象の文節を切り換えます。**参照☞P.30**

㉑ 選択改行 **（選択、改行）**
機能選択時の選択肢や、文字の入力、変換を確定します。ネガ文字がないときは、新しい行を作ります（改行）。
参照☞P.44

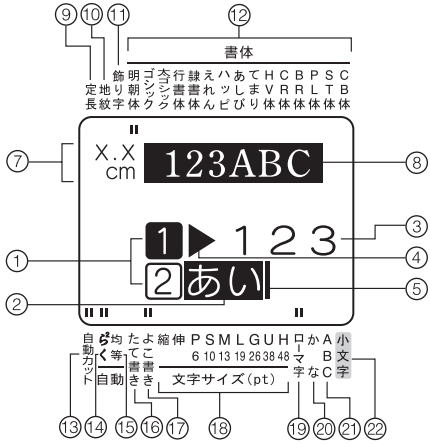
シフト＋選択改行 **（＝改段落）**
新しい段落を作ります。
参照☞P.46

㉒ **文字ボタン（**T、E、P、R、A **など）**
文字を入力します。
参照☞P.31

ディスプレイの見かたとはたらき

ディスプレイ（画面）の見かた

■ テキスト画面



① **行頭マーク（1 2…☒、1 2…☒）**
行頭に表示され、何行目かを示します。1、2は印刷できる行を表し、1、2はその行に文字がまだ入力されていない（確定していない）ことを表しています。
☒、☒は印刷できない行を表しています。☒が表示されているときは、印刷できません。
参照☞P.44

② **ネガ文字（例：あい）**
仮確定の文字で、印刷されません。変換スペースボタンで漢字、カタカナ、英数字に、無変換ボタンでひらがな、カタカナ、英字に変換できます。

③ **確定文字（例：123）**
入力が確定した文字で、印刷されます。

④ **文字モード指定マーク（▶）**
文字、行、段落単位で、書体、飾り字などの文字モードを変更すると表示されます。
参照☞P.57

⑤ **カーソル（|）**
操作を実行する場所を示します。カーソル位置を基準に、文字や記号を挿入したり削除できます。
参照☞P.41

⑥ **フルメモリーマーク（◀）**
入力可能文字数（約175文字）をオーバーして、これ以上文字が入力できないときに表示されます。

⑦ **印刷情報**
セットされているテープ幅と印刷したときの目安の長さを表示します。「みえ^2」の設定によっては表示されないこともあります。
参照☞P.22

⑧ **印刷イメージ**
印刷したときのイメージを表示します。「みえ^2」の設定によっては表示されないこともあります。
参照☞P.22

⑨ **定長インジケーター**
定長印刷が指定されているときに点灯します。

⑩ **地紋インジケーター**
地紋印刷が指定されているときに点灯します。

⑪ **飾り字インジケーター**
カーソル位置の文字に飾り字が指定されているときに点灯します。

⑫ **書体インジケーター**
カーソル位置の文字に対応した書体が点灯します。

⑬ **自動カットインジケーター**
自動カットが「する」に指定されているときに点灯します。

⑭ **自動/らく²インジケーター**
文字サイズが「自動-らく²」に指定されているときに点灯します。

⑮ **自動/均等インジケーター**
文字サイズが「自動-均等」に指定されているときに点灯します。

⑯ **たて書きインジケーター**
「たて書き」が指定されているときに点灯します。

⑰ **よこ書きインジケーター**
「よこ書き」が指定されているときに点灯します。

⑱ **文字サイズインジケーター**
カーソル位置の文字のサイズに対応したインジケーターが点灯します。
数字はポイント数（pt）を表しています。
*1ptは約1/72インチ（約0.35mm）です。

⑲ **ローマ字入力インジケーター**
「ローマ字入力」状態のときに点灯します。

⑳ **かな入力インジケーター**
「かな入力」状態のときに点灯します。

㉑ **ABC入力インジケーター**
「ABC入力」状態のときに点灯します。
「ABC入力【半角】」状態のときに点滅します。
参照☞P.118

㉒ **小文字入力インジケーター**
シフトを押しているときや、小文字入力状態のときに点灯します。
参照☞P.35

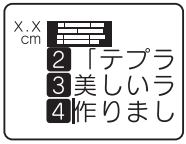
表示の切り換え（みえ²）

本機では、入力した文章や印刷イメージ、できあがるラベルの長さや幅を確認しながら入力することができます。

（みえ²）を押すと、ディスプレイの表示が交互に切り換わります。

<みえ¹>（初期設定値）

初期設定値では、入力した文章が3行まで表示されます。
印刷イメージのほか、ラベルの長さも表示されます。



（みえ²）

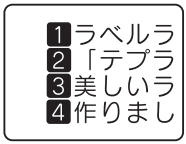
<みえ²>

入力した文章が2行まで表示されます。おおまかな印刷イメージのほか、ラベルの長さや幅なども表示されます。

（みえ²）

<みえ⁰>

入力した文章のみ4行表示されます。多行入力時などに便利です。



!! 注意 !!

- （みえ²）で表示が切り換わるのは、テキスト画面のときだけです。メニュー画面や漢字変換候補の表示中は切り換わりません。
  参照☞P.20「ディスプレイ（画面）の見かた」
- 広い幅のテープや入力した内容によっては、「みえ²」表示の反応が遅くなることがあります。

MEMO

- （シフト）を押しながら（みえ²）を押すと、ディスプレイ全体に印刷イメージを流れるように表示します。
  参照☞P.37「5.印刷イメージを確認する（プレビュー）」
- ディスプレイが見えにくいときは、表示濃度を調整することができます。
  参照☞P.129「ディスプレイの濃度を調整する」

使う前の準備

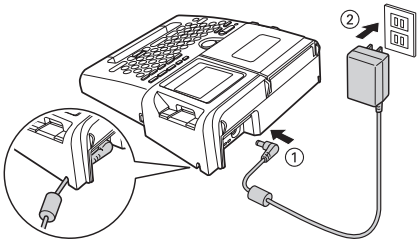
1. ACアダプタを接続する

同梱のACアダプタ（AC1116J）で、家庭用コンセント（AC100V）から電源を取ります。

❶ ACアダプタのプラグを本機奥面のACアダプタ差込み口にしっかりと差し込み、ケーブルガイドを通す

※ 差し込みが不充分だと電源が入らない場合があります。

❷ ACアダプタの電源プラグを家庭用コンセントに差し込む



!! 注意 !!

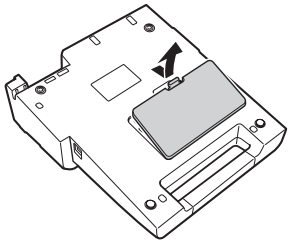
- 使い終わったらすぐにACアダプタをコンセントから抜き、本機からも抜いてください。USBケーブルもはずしておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故も防げます。
- ACアダプタのコードは強く引っ張ったり、繰り返し折り曲げたりすると、断線することがあります。
- プラグのショートなどにより、安全機能がはたらきACアダプタの回路が遮断されることがあります。
- ACアダプタは保証対象外です。

2. 電池（別売）を入れて使用するときは

本機に単3形アルカリ乾電池6本（別売）をセットします。外出先などでACアダプタを使えないとき、この電池を電源にして印刷できます。

❶ 電池カバーをはずす

レバーを手前に引きながら電池カバーを持ち上げます。

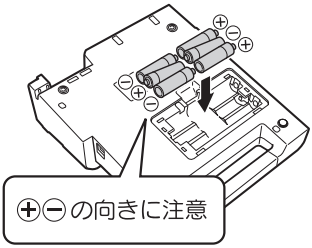


!! 注意 !!

必ず、電源を切ってからおこなってください。

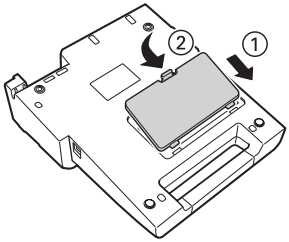
❷ 電池を入れる

電池の向きに注意して、単3形アルカリ乾電池6本を入れます。



❸ 電池カバーをはめる

電池カバーの手前の突起を本機のミゾに合わせ、「パチン」と音がするまでしっかりカバーをはめます。



!! 注意 !!

- 本機には単3形アルカリ乾電池をお使いください。その他の乾電池を使用したときは、乾電池の寿命が短くなったり、電池の消耗を知らせるメッセージが表示されないことなどがあります。
- 電池でも印刷できるだけの電源容量がありますが、電池での印刷は大変不経済です。できるだけACアダプタをお使いください。
- ACアダプタは、必ず専用のACアダプタ（AC1116J）をお使いください。

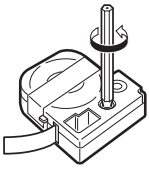
MEMO

- 広い幅のテープに大きな文字を印刷する場合、一時的に大量の電力が消費されるため、新品の電池でも「電池を交換！」と表示されることがありますが、故障ではありません。
- 電池が消耗すると、印刷スピードが遅くなります。さらに使い続けるとディスプレイに「電池を交換！」と表示されます。直ちにすべての電池を新しい単3形アルカリ乾電池（6本）に交換するか、ACアダプタ（AC1116J）をお使いください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。
- 新品の単3形アルカリ乾電池（6本）では、常温で18mm幅のテープカートリッジ（8m）を1本は印刷できます。ただし、温度の低いところで使用したり、幅広テープに大きな文字を印刷したりすると、電池が早く消耗します。印刷時は、ACアダプタ（AC1116J）を利用することをおすすめします。
- ご使用後は必ず電源を切ってください。
- 長期間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため電池を取り出して保存してください。
- 寿命となった電池を捨てるときは、定められた条例に従ってください。

3. テープカートリッジをセットする

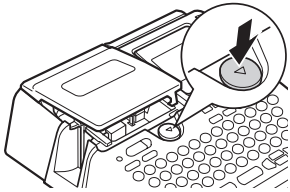
❶ インクリボンの「たるみ」を取る

セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いて、「たるみ」を取ってください。



❷ 上カバーボタンを押す

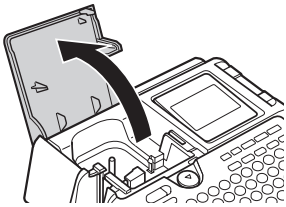
上カバーボタンを押すと、上カバーが少し開きます。



!! 注意 !!

必ず、電源を切ってからおこなってください。

❸ 上カバーを開ける



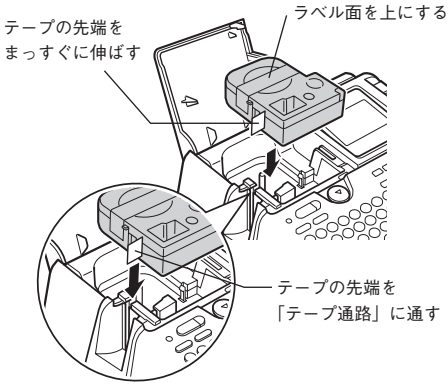
!! 注意 !!

- 上カバーはストッパーで止まります。無理に開けないでください。
- 上カバーを持って、本機を持ち上げないでください。カバーがはずれて本体が落下すると、けがや本体が破損するおそれがあります。

❹ テープカートリッジをセットする

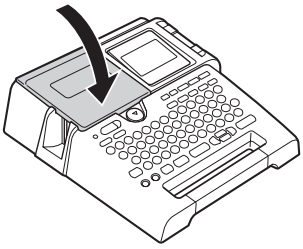
ラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。正しくセットすると、本機のフックにテープカートリッジが固定されます。

テープの先端が長めに出ているときや新品のテープカートリッジをセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミゾに通します。



❺ 上カバーを閉じる

上カバーを指で軽く押してしっかり閉じます。



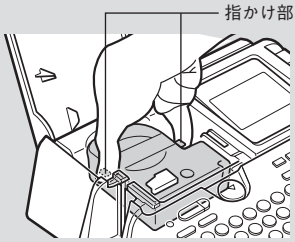
!! 注意 !!

- テープカートリッジをしっかり押し込まずに上カバーを閉じると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。
- 上カバーはしっかり閉じてください。

MEMO

テープカートリッジの取り出しかた

美しい印刷を安定しておこなうために、テープカートリッジは本体にしっかりと固定されています。取り出すときは、カートリッジ側面の指かけ部に指をかけ、まっすぐ上に持ち上げて取り出します。



!! 注意 !!

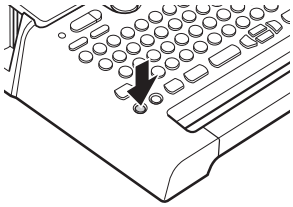
- テープカートリッジをしっかり押し込まずにカバーを閉めると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。
- 本機では、4mm、6mm、9mm、12mm、18mm、24mmの6種類の幅のテープカートリッジを使用することができます。ただし、テープ幅によって印刷できる行数は異なります。
  参照☞P.44「テープ幅と印刷できる行数」
- テープカートリッジは、直射日光、高温、多湿、ホコリを避け、冷暗所に保管してください。
- テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。
- テープカートリッジは奥までしっかりセットしてください。
- 本機で使用できない幅のテープカートリッジをセットした場合や正しくセットしていない場合は、「テープ幅を確認して！」や「テープ無し！」と表示されます。本機で使用可能なテープカートリッジを正しくセットしてください。

4. 電源を入れる

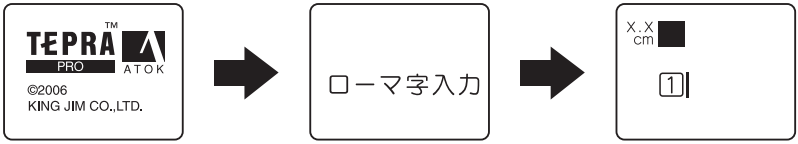
電源を入れる前にもう一度確認してください。

- ACアダプタは、本機とコンセントに正しく接続されていますか？
- 電池は正しくセットされていますか？（電池で使用する場合）

❶ ON/OFFを押す



電源が入るとタイトル画面が表示され印刷/カットランプが点灯します。印刷/カットランプはタイトル画面が消えると消灯します。



※ 設定されている入力状態が約1秒間表示されます。

※ 行頭マーク（1）とカーソル（|）が表示されます。

すでに文章が入力されているときは、タイトル画面のあとに文章が表示され、指定されている機能のインジケーターが点灯します。

参照 P.20「ディスプレイ（画面）の見かた」

MEMO

オート・パワーオフ

電源が入ったまま約5分間何も操作しないと、電池の消耗を防ぐため、オート・パワーオフ機能により自動的に電源が切れます（電源が切れても入力した文章はなくなりません）。ON/OFFをもう一度押すと、オート・パワーオフ直前の状態に戻ります。

外字データの作成、修正をしているとき、またはPCリンクの状態では、オート・パワーオフ機能ははたらきません。

使わないときは、こまめに電源を切るとオート・パワーオフよりさらに電池を節約できます。

5. テープ送りをする

テープカートリッジをセットした直後は、テープの「たるみ」を取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をしてください。

❶ シフトを押しながら印刷（＝テープ送り）を押す

「テープ送り」メニューが表示されます。

テープ送り
　テープ送り
　送りカット

❷ ↑↓で「テープ送り」または「送りカット」を選ぶ

❸ 選択改行を押す

「テープ送り」の場合はテープが約17mm空送りされます。
「送りカット」の場合は、空送りされたあと、テープが自動的にカットされます。

!! 注意 !!

「テープ送り」または「送りカット」をおこなうと、テープやインクリボンの「たるみ」が取れます。テープカートリッジをセットしたあとは、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。

続いて

ラベルを作る準備が整いました。それでは、実際にラベルを作ってみましょう。
参照☞P.30「手順どおりに作ってみよう」

使いかた編

～簡単なラベルを作ろう～

最初に簡単なラベルを作ってみましょう。
文字入力、印刷、改行など「テプラ」の基本操作を確認してください。
続いて文章を段落に分けるなど、レイアウトを工夫する機能を確認しましょう。

手順どおりに作ってみよう（文字入力～ラベルの完成まで）

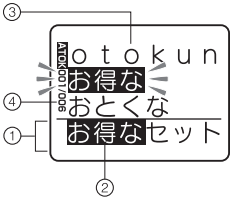
右のサンプルラベル（18mm幅）を手順どおりに作ると、文字入力からラベルの印刷までの基本的な操作がカンタンに覚えられます。

お得なセット！
初回限定版Box

文字入力をはじめる前に

本機は、日本語入力システム「ATOK」を採用しており、以下の画面とボタンで操作します。

■ATOK 変換画面の見かた



①仮確定文字
変換スペースを押したとき、変換対象となる入力部分が仮確定文字として表示されます。

②変換対象
仮確定文字中、ネガ表示されている部分が現在の変換対象です。↓を押すと確定します。

③変換候補一覧
変換対象の変換候補を表示します。ネガ表示の候補は、現在選択されている候補です。

④変換候補番号/変換候補数
選択されている変換候補の順番と仮確定文字の変換候補数です。

文字の変換中に使用するボタン

ボタン名	機能
変換スペース	変換候補の表示、および次の変換候補の選択
↑	前の変換候補の選択
シフト＋↑	変換候補番号001の候補の選択
↓	変換対象を確定し、次の文節を変換対象とする
←	変換対象の文節長さを短くする
→	変換対象の文節長さを長くする
シフト＋←	左の文節を変換対象とする（確定されていない場合のみ）
シフト＋→	右の文節を変換対象とする
無変換、シフト＋無変換	ひらがな、カタカナ、英字（ローマ字入力の場合のみ）への変換
選択改行	仮確定文字を表示されている状態で確定し、テキスト画面へ戻る
削除取消	確定されていない文節を「読み」にし、テキスト画面へ戻る
復活	直前に変換した文節を「読み」に戻す
文字ボタン	仮確定文字を表示されている状態で確定し、テキスト画面に文字を入力する

シフト＋◯となっている表記は、シフトを押しながらそのボタンを押す操作です。

1. 文字を入力する

文字は、「読み」を入力してから変換します。「読み」はひらがなで入力されます。

例：

ここを入力します

お得なセット！
初回限定版Box

（18mm幅ラベルを使用）

❶ 入力切換を数回押して「ローマ字入力」または「かな入力」を選ぶ

ローマ字入力	かな入力

❷「おとくなせっと」を入力する

ローマ字入力：O、T、O、K、U、N、A、S、E、T、T、O

かな入力　　：お、と、く、な、せ、シフト＋っ、と

1くなせっと

仮確定文字（ネガ表示）で入力されます。

❸ 変換スペースを押す

お得なセット

変換対象の1番目の候補が表示されます。

さらに変換スペースを押すと変換対象が次の候補に変わり、変換候補一覧が表示されます。

❹「お得な」になっている状態で↓を押す

otokun
お得な
おとくな
お得なセット

「お得な」が確定し、次に「セット」が変換対象になります。

❺「セット」になっている状態で↓を押す

得なセット

「セット」が確定しテキスト画面に戻ります。

1得なセット

行頭マークが1から1に変わります。

MEMO

- 文字を確定した直後なら、復活ボタンで変換前の状態に戻せます。
- 文字を間違えたときは、削除取消ボタンで文字を消して、正しい文字を入力しなおしてください。
- 一度選択した語句は、次回から優先して表示されます（学習機能）。
- 「読み」を入力した直後に選択改行を押すと、ひらがなのまま確定します。
- 入力した直後に無変換を押すと、「ローマ字入力」時は押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に、「かな入力」時は「ひらがな→カタカナ」の順に変換します。
  また、シフトを押しながら無変換を押すと、「ローマ字入力」時は「英字→ひらがな→カタカナ」の順に、「かな入力」時は「カタカナ→ひらがな」の順に変換します。
  変換後は、選択改行を押して確定します。
- 2文節目以降の語句を変換しなおす操作や変換対象の文節の長さを変える操作については、下記ページを参照してください。
  参照☞P.34「長い文章を変換する」
  参照☞P.34「変換する「読み」の長さを変える」
- ローマ字入力のスペルは、ローマ字変換表を参考にしてください。
  参照☞P.172「ローマ字変換表」
- 一度に入力できる「読み」は30文字までです。ただし、ディスプレイに表示されるのは、最大6文字です。

参考

濁音や拗音の入力について

濁音や拗音は、入力方法によって異なります。

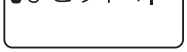
	濁音（「ざ」「ば」） 半濁音（「ぱ」「ぺ」）	拗音（「ゃ」「ゅ」「ょ」） 促音（「っ」）
ローマ字入力	濁音、半濁音用のスペルで入力します。 参照☞P.172「ローマ字変換表」	次のいずれかの方法で入力します。 •「きゃ」（K、Y、A）などのように前の文字と組み合わせたスペルで入力する。 参照☞P.172「ローマ字変換表」 • 促音「っ」は、直後の文字の子音を2つ重ねる。 例：S、A、K、K、A …「さっか」 • L を押してから通常の文字ボタンを押す。 例：L、T、U …「っ」、L、U…「ぅ」
かな入力	清音のあとに、「゛」や「゜」を入力します。	シフトを押しながら文字ボタンを押します。

文字ボタンに表記された記号「!」「＊」「.」などは、シフトを押しながら該当する文字ボタンを押して入力します。

例：

6 **入力切換を数回押して「ローマ字入力」または「ABC入力」を選ぶ**

7 **シフトを押しながら1を押す**



「!」が入力されます。

MEMO

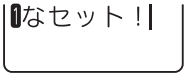
文字ボタンに表記された数字や英記号「¥」「／」は「ローマ字入力」または「ABC入力」で入力します。

参照☞P.35「2. 英数字を入力する」

2行目を入力するには、まず、改行をします。

例：

8 選択改行 **を押す**

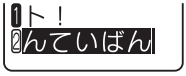


改行され、行頭マークの2が表示されます。

9 **「しょかいげんていばん」を入力する**

ローマ字入力：S、H、O、K、A、I、G、E、N、N、T、E、I、B、A、N、N

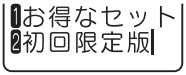
かな入力：しゅ、シフト＋よ、か、い、け、ぇ、んゃ、て゛、い、は、ぇ、んゃ



10 変換スペース **を押す**

ATOK変換画面になります。

11 **「初回限定版」に変換されている状態で** 選択改行 **を押す**



ATOK変換画面で選択改行を押すと、仮確定文字は、表示されている状態で確定します。

表示されている状態が正しく変換されていない場合は、P.31の手順❸と同様に変換スペースを押し、変換候補一覧から正しい変換候補を選びます。

MEMO

2文節目以降の語句を変換しなおす操作や変換対象の文節の長さを変える操作については、下記ページを参照してください。

参照☞P.34「長い文章を変換する」
参照☞P.34「変換する「読み」の長さを変える」

参考

長い文章を変換する

入力した文章が長く、思いどおりに変換できない場合は、[↓]を押して文節ごとに変換します。

例：「あすははれますか」を「明日は晴れますか」に変換する

1 「あすははれますか」を入力して[変換スペース]を押す

ATOK変換画面になります。

2 1文節目が正しく変換されている状態で[↓]を押す

1文節目が確定し、次に2文節目が変換対象になります。

3 [変換スペース]を押す

2文節目の変換候補が表示されます。

4 正しく変換されている状態で[↓]を押す

2文節目が確定します。
さらに長い文章の場合も、同様の操作を繰り返すことにより、文節ごとに変換することができます。

変換する「読み」の長さを変える

変換する「読み」の長さが違い、目的の漢字に変換できない場合は[←][→]を押して変換対象となる「読み」の長さを変えます。

例：「きのうえをかった」を「昨日絵を買った」に変換する

1 「きのうえをかった」を入力して[変換スペース]を押す

ATOK変換画面になります。

2 変換する変換対象の長さが適当でないときは[←][→]を押す

変換対象（ネガ表示部分）は[←]で短く[→]で長くなります。

[←][→]を押して「きのう」を文節にする

3 [変換スペース]を押す

長さを変えた1文節目の変換候補が表示されます。

正しく変換されたら[↓]で確定し、2文節目以降を変換します。

MEMO

- ATOK変換画面で文字ボタンを押すと、仮確定文字は表示されている状態で確定し、続けて次の文字が入力されます。
- 一度に入力できる「読み」は30文字までです。ただし、ディスプレイに表示されるのは、最大6文字です。
- [↓]を押して文節を確定した直後であれば、[復活]ボタンで確定前の状態に戻すことができます。

2. 英数字を入力する

英数字は、「ローマ字入力」または「ABC入力」であれば、文字ボタンを押して入力できます。小文字の入力には(シフト)ボタンを使います。

例：

ここを入力します

■ ローマ字入力の場合

綴りを入力してから変換します。

❶「Box」を入力する

入力：(B)、(シフト)＋(O)、(シフト)＋(X)

❶なセット！
❷限定版ぼｘ

「ぼｘ」と表示されます。

❷ (変換スペース)を押す

簿ｘ

ATOK変換画面になります。

❸ 変換する文節の長さが適当でないときは(→)を押す

ぼｘ

「ぼｘ」が変換対象（ネガ表示）になります。

❹ (変換スペース)を押して「Box」を選択する

❺ (↓)を押す

ATOK候補
ボｘ
Ｂｏｘ
ＢＯＸ
Ｂｏｘ

❶セット！
❷定版Ｂｏｘ

「Box」が確定します。

■ ABC入力の場合

英数字を入力するときに「ABC入力」にすると、文字ボタンを押して、直接英字を入力できます。

❶ (入力切換)を数回押して「ABC入力」を選ぶ

❷「Box」を入力する

入力：(B)、(シフト)＋(O)、(シフト)＋(X)
（小文字ロックをしている場合
入力：(シフト)＋(B)、(O)、(X)）

❶セット！
❷定版Ｂｏｘ

「Box」が表示されます。

MEMO

小文字ロック

「ABC入力」時に、(シフト)を押しながら(入力切換)を押すと、小文字入力状態に切り換わり、(シフト)を押していないときに小文字入力インジケーターが点灯します。もとに戻す場合には、もう一度(シフト)を押しながら(入力切換)を押します。

MEMO

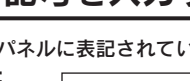
- 「ローマ字入力」で「読み」を入力した直後に(無変換)を押すと、押すたびに、「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。また、(シフト)を押しながら(無変換)を押すと「英字→ひらがな→カタカナ」の順に変換します。
- 変換対象の文節の長さを変える操作については、下記ページを参照してください。
  参照☞P.34「変換する「読み」の長さを変える」
- 英数字は「ローマ字入力」または「ABC入力」にしてください。「かな入力」では入力できません。

3. スペースを入力する

スペースを入力すると、テキスト画面上に「␣」（半角スペース）が表示され、印刷すると約半文字分の空白になります。

❶ ネガ文字がないことを確認する

❷ 変換スペースを押す



半角スペースが入力されます。

MEMO

- ネガ文字があるときに変換スペースを押すと、漢字に変換されます。
- スペースには、半角スペース（␣）のほかに、1文字分の全角スペース（⎵）があり、記号メニューで入力します。
  参照☞P.36「4.記号を入力する」

4. 記号を入力する

操作パネルに表記されていない記号は、記号メニューから指定します。

例：

❶ 記号を押す

「記号」メニューが表示されます。

❷ ↑ ↓で「音楽」を選ぶ

❸ 選択改行を押す

「音楽」の記号が表示されます。

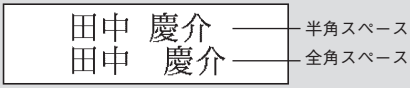
❹ ←→で「♪」を選ぶ

❺ 選択改行を押す

「♪」が入力されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 入力できる記号は、付録を参考にしてください。
  参照☞P.167「記号一覧表」
- 操作を途中でやめるときは、削除取消または記号を押し、操作を戻します。
- 一度選択した記号は、次回から優先して表示されます（学習機能）。
- 記号メニューの「編集」内の記号はそれぞれ以下のはたらきをします。
  罫（罫入力記号）：縦罫線を入力します。
  ⎵（全角スペース）：全角スペースを入力します。
- 半角スペースは、変換スペースボタンで入力できます。



ただし、「文字間」で「ピッチ」が「ピッチ固定」に指定されているときは、半角スペースでも約1文字分の空白として印刷されます。
参照☞P.73「文字間」

参考

イラストを入力する

例：イラスト「新製品」

❶ 記号 を押す

「記号」メニューが表示されます。

❷ ↑ ↓ で「イラスト」を選び、選択改行 を押す

記号 イラスト

「イラスト」の項目が表示されます。

❸ ← → で「POP」を選び、選択改行 を押す

記号 イラスト POP

「POP」の候補が点滅します。

❹ ← → で「新製品」を選び、選択改行 を押す

記号 POP 新製品

「新製品」が入力されます。

5. 印刷イメージを確認する（プレビュー）

印刷前に、印刷するイメージを表示して、できあがりを確認できます。印刷の失敗を防いで、テープを無駄なく使えます。

❶ **テープカートリッジをセットしているか確認する**

実際に印刷するテープカートリッジを正しくセットしてください。テープ幅が異なっていると、印刷イメージを正しく表示できません。

❷ シフト を押しながら みえ° を押す

印刷イメージが流れるように表示されます。
プレビューが終わるとテキスト画面に戻ります。

MEMO

- プレビュー中に 無変換、変換スペース、← ↑ ↓ → のいずれかのボタンを押すと、押している間だけ表示が止まり、内容をゆっくり確認できます。ボタンを離すとふたたび動き出します。
- プレビューを途中でやめるときは 削除取消 または 選択改行 を押してください。
- 定長で指定した長さに文章がおさまらない場合は「定長→字余り　強行」と表示されます。このまま 選択改行 を押すと、定長を解除してプレビューを強行します。

!! 注意 !!

- プレビューが表示されるのは、テキスト画面または特殊フォーム入力画面のときだけです。
- テープカートリッジをセットしていない、または正しい位置にセットしていないと、「テープ無し！」と表示され、プレビューは表示されません。
- 行数が多く、セットしたテープに印刷できないときは「行数オーバー！」と表示され、プレビューは表示されません。
- プレビューは印刷の目安です。実際の印刷結果と完全には一致しないことがあります。

6. 印刷する

印刷する前に、テープカートリッジを正しくセットしているか、上カバーがしっかり閉じているか、ACアダプタ（AC1116J）を正しく接続しているかを確認してください。

1 印刷 を押す

「準備中」と表示されたあと、ラベルの長さ、印刷枚数が表示され、印刷が始まります。
印刷が終わるとテープは自動的にカットされます。

長さ　6.5cm
幅　18mm
1 枚

使いかた編

MEMO

- 印刷を途中でやめるときは 削除取消 を押してください。
- 印刷中に ON/OFF（ON/OFF）を押すと印刷を中止し、テープをカットしたあとに電源が切れます。
- 同じラベルの印刷を繰り返すと印刷枚数表示が増加します。印刷枚数の表示は「100枚」の次は「1枚」と表示されます。印刷内容（文字や書式など）を変えたり電源を切ると、自動的に「1枚」に戻ります。
- 余白「極少、少なめ、自動少なめ」を指定すると、印刷前にテープがカットされます。4mm、6mm幅テープで余白を「自動多め」に指定した場合も、印刷前にテープがカットされます。
- 特殊印刷（連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷）をおこなう場合は、ぞく²でか²ボタンで印刷します。
  参照☞P.120「特殊な印刷（ぞく²、でか²）」
- テープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。
- 定長で指定した長さに文章がおさまらない場合は「定長→字余り　強行」と表示されます。このまま 選択改行 を押すと、定長を解除して印刷を強行します。

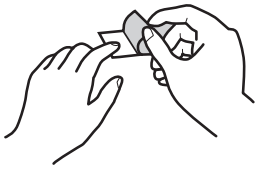
!! 注意 !!

- 耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・蓄光ラベル・りぼんは「自動カット」を「しない」で印刷し、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm（りぼんの場合は10mm）程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。
  参照☞P.126「「自動カット」を設定する」
  参照☞P.139「テープカートリッジを使いわける」
- ラベルの内容が複雑な場合、印刷までの処理時間が長いことがあります。
- テープ出口には指を入れないでください。
- 印刷が終わるまで絶対にテープを引っ張らないでください。
- ネガ文字は印刷されません。
- 印刷中に上カバーを開けると、保護回路のはたらきで電源が切れ、印刷が中断します。印刷中には上カバーを開けないでください。
- テープ出口付近に印刷したラベルがたまらないように注意してください。
- テープカートリッジをセットしていないとき、または正しい位置にセットしていないときには、「テープ無し！」と表示され、印刷できません。
- 行数が多く、セットされたテープに印刷できないときは「行数オーバー」と表示され、印刷できません。行数を減らすか、より広い幅のテープをセットしてください。
- QRコードが大きい場合、「QRコード大！」と表示され、印刷できません。
  参照☞P.118「QRコードを印刷する」
- 印刷時に表示されるラベルの長さは目安です。誤差が生じることがあります。
- 16mを超える印刷はできません。

7. ラベルを貼る

印刷されたラベルの裏紙をはがして貼ります。

❶ 裏紙をはがす



❷ しっかりとこすって貼り付ける

!! 注意 !!

- ラベルの種類によっては、裏紙がはがれにくいものがあります。
- ラベルにシンナーなどの溶剤をかけたり、とがったもので激しくこすると、ラベルが破れたり、はがれたり、文字がカスレたりすることがあります。
- 白インクラベルの文字の部分を金属でこすると文字が黒くなりますが、消しゴムなどで軽くこするともとに戻ります。
- 凹凸のあるところに貼ると、はがれやすくなります。
- ぬれていたり、油やホコリで汚れているところには、貼れなかったりはがれやすくなります。
- ペンなどで書き込まれた上にラベルを貼ると、ペンのインクがラベルに浸透し、表示がそこなわれることがあります。
- 雨、日光が直接あたる場所など、使用環境によってはラベルの劣化を早めるおそれがあります。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにはラベルを貼らないでください。
- **「テプラ」で得られるラベルについて**
  塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これらによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

MEMO

- 印刷したラベルのカドを丸くすることができます。
  参照☞P.48「カドを丸く仕上げる」
- 「テプラ」PROテープには、接着ラベル以外にも、用途に合わせてさまざまなラベルが用意されています。
  参照☞P.139「テープカートリッジを使いわける」

8. 使い終わったら〈電源を切る〉

❶ (ON/OFF)（ON/OFF）を押す

電源が入っている状態で(ON/OFF)（ON/OFF）を押すと、終了のメッセージが表示されたあと、電源が切れます。電源を切っても、入力した文章やファイル、外字などのデータは保存されています。再度電源を入れると、入力した文章が表示されます。

❷ ACアダプタ（AC1116J）をはずす

ACアダプタをコンセントから抜き、本機からプラグを抜いてください。コードは巻いておいてください。

!! 注意 !!

- 電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、ACアダプタを抜かないでください。
- 長期間使わないときは、ACアダプタ、テープカートリッジ、乾電池を本機から取りはずしてください。

続いて

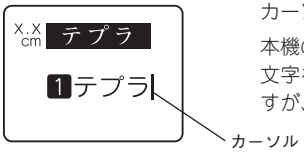
以上で基本的な操作は終了です。続いて複数行、複数段落のラベルを作りましょう。また、「機能編」では、さらにいろいろな機能が利用できるようになるので、楽しいラベルが作れます。

文章を作る

文章を入力し、文字を挿入、削除したり、全消去するなどの編集方法を説明します。

カーソルボタンの使いかた

画面に表示される縦線「▎」をカーソルと呼びます。カーソルは文字を挿入、削除する位置を表します。



カーソルの移動にはカーソルボタン←↑↓→を使います。

本機のディスプレイには最大6文字×4行まで表示できます。これ以上の文字を入力すると、はじめに入力した行や文字は隠れて見えなくなりますが、カーソルを移動すれば確認できます。

カーソルボタン	カーソルの移動方向
←	左方向に1文字移動します。押し続けると高速で移動します。
→	右方向に1文字移動します。押し続けると高速で移動します。
↑	前（上）の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
↓	次（下）の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
シフト＋←	行頭へ移動します。 繰り返すと、前の行の行頭、さらに前の行頭……と移動します。
シフト＋→	行末へ移動します。繰り返すと、次の行の行末、さらに次の行末……と移動します。
シフト＋↑	段落の先頭へ移動します。繰り返すと、前の段落の先頭へと移動します。
シフト＋↓	段落の終わりへ移動します。繰り返すと、次の段落の終わりへと移動します。

シフト＋◌となっている表記は、シフトを押しながらそのボタンを押す操作です。

文章を入力する

文字はキーボードの文字ボタンで入力し、変換スペースを押して漢字などに変換します。

参照☞P.30「手順どおりに作ってみよう」

文字を削除/挿入する

文字の後ろ（右側）にカーソルを合わせ(削除取消)を押すと文字が削除されます。
文字を挿入するときは、挿入したいところにカーソルを合わせます。
例:「定期点検実施中」の「定期」を削除し、「特別」を入れて「特別点検実施中」にする

1 (←)(→)で「期」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

1定期点検実施

2 (削除取消)を2回押して「定期」を削除する

1定期点検実施

↓ (削除取消)×2回

1点検実施

カーソル位置は行頭になります。

3 「特別」を入力する

1特別点検

!! 注意 !!

挿入によって文字数が入力可能文字数（約175文字）をオーバーしたときは、文末にフルメモリーマーク（◀）が表示され、文末の文字からオーバーした分だけ自動的に削除されます。

MEMO

間違って削除した場合は、削除した直後なら(復活)を押すと復活できます。ただし、削除直後に(←)(↑)(↓)(→)、(シフト)、(入力切換)、(みえ²)以外のボタンを押した場合は、復活できません。

文字をコピーする

すでに入力した文字をコピーすることができます。
例:「定期点検実施中、特別点検実施中」で2回目の「点検実施中」をコピーで挿入する

1 1行目に「定期点検実施中」、2行目に「特別」を入力する

2 (←)(↑)(↓)(→)で「点」の前（左側）にカーソルを合わせる

1定期点検
2特別

3 (コピー)を押す

コピー範囲を指定する画面になります。

4 (←)(→)で範囲を指定し、(選択改行)を押す

範囲指定して
選択ボタン
1点検実施中
2

指定した範囲がネガ表示になり、(選択改行)を押すと一時的に記憶されます。

このあとの貼付け操作で文字を貼り付けます。

MEMO

- 一度にコピーできる文字は30文字までです。
- バーコードの数値入力時や、あて名の郵便番号、カスタマバーコード入力時には、コピーやペースト（貼付け）はできません。

文字を貼り付ける（ペースト）

コピーした文字は、次にコピーするまで何度でも貼り付ける（ペーストする）ことができます。

1 ←↑↓→で貼付け先にカーソルを合わせる

```
1定期点検実施
2特別
```

2 シフトを押しながらコピーを（＝ペースト）を押す

```
1点検実施中
2点検実施中
```

コピーされた文字が挿入されます。

MEMO

- 一度にコピーできる文字は30文字までです。
- バーコードの数値入力時や、あて名の郵便番号、カスタマバーコード入力時には、コピーやペースト（貼付け）はできません。

すべての文章を消去する

入力した文章は電源を切っても消去されません。入力した文章をすべて消去したいときは「全文消去」をおこないます。

1 シフトを押しながら削除取消（＝消去）を押す

「消去」メニューが表示されます。

2 「全文消去」を選び、選択改行を押す

```
全文消去
段落消去
```

全文消去され、テキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

全文消去は、入力したすべての文章が消去されます。文章の書体や外枠など各機能の指定内容も消去されます。消去をおこなう前に、充分に確認してください。

MEMO

- 全文消去では、以下の内容は消去されません。
  ファイル・あて名・辞書・外字データ、保存値、漢字や記号などの学習内容、文字の入力状態、「みえ²」の状態
- すべてを購入時の設定に戻したいときは、本機を初期化してください。
  参照☞P.132「本機を初期化する」
- カーソルのある段落のみを消去したいときは「段落消去」を選びます。
  参照☞P.47「特定の段落を消去する」
- 操作を途中でやめるときは、削除取消を押し、操作を戻します。
- 削除した直後なら復活を押すと復活できます。

行を増やす（改行）

2行以上の文章を入力するときは「改行」をおこないます（選択改行を押します）。

■テープ幅と印刷できる行数

本機では4mmから24mmまでの幅のテープを使うことができます。
セットされたテープカートリッジ幅によって、印刷できる文章の行数に制限があります。

テープ幅	4mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm
印刷可能な行数	1行まで	2行まで	3行まで	4行まで	6行まで	8行まで

MEMO

- 表示されている文章が何行目にあるかは行頭マークで確認できます。行頭マークには空白行頭マーク1 2…☒、1 2…☒と、実質行頭マーク1 2…☒、1 2…☒の2種類があります。空白行頭マークは文字が何も入力されていないことを表し、その行は印刷されません。
- ☒ ☒はこれ以上行数を増やせないことを表示しています。☒の表示があるときに印刷を押しても「行数オーバー」が表示されます。☒のある行を削除してから印刷をおこなってください。
参照☞P.150「エラーメッセージが表示されたときは－行数オーバー」

新しい行を作る

行の終わりで選択改行を押すと、新しい行に入力することができます（改行）。

例：3 行の文章を入力する

営業1課
営業2課
営業3課

❶「営業１課」を入力し、選択改行を押す

1営業１課

↓ 選択改行

1営業１課
2

2行目に行頭マークが表示されます。

❷「営業２課」を入力し、選択改行を押す

1営業１課
2営業２課

↓ 選択改行

1営業１課
2営業２課
3

3行目に行頭マークが表示されます。3行目を入力します。

MEMO

ネガ文字があるときは、選択改行を押しても改行できず、文字が確定します。

文字を次行に移動する

行の途中で改行すると、カーソルより後ろ（右側）の文字は次の行に移ります。

例：「営業1課田中慶介」を2行にする

営業1課田中慶介

↓ 途中で改行すると

営業1課
田中慶介

1 ←→で「課」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

X.X cm 営業1課田中
1 1 課田中慶介

2 選択改行を押す

X.X cm 営業1課 田中慶介
1 営業 1 課
2 田中慶介

2行目に行頭マークが表示され、「田中慶介」は2行目に移動します。

MEMO

ネガ文字があるときは、選択改行を押しても改行できず、文字が確定します。

改行を取り消す

行頭マークにカーソルを合わせて削除取消を押すと、その行の文章は前の行に移動し、連結されます。

例：2行目での改行を取り消す

株式会社 ○×商事
営業部
営業1課
田中慶介

↓ 途中の改行を取り消すと

株式会社 ○×商事
営業部営業1課
田中慶介

1 3行目の行頭マーク3の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

1 株式会社
2 営業部
3 営業 1 課
4 田中慶介

2 削除取消を押す

1 株式会社
2 営業部営
3 田中慶介

3行目の「営業1課」が2行目に連結されます。

4行目の「田中慶介」が3行目になります。

MEMO

- 最終行の先頭にカーソルを合わせ、削除取消を押すと4行目の文章が3行目に連結され、4行目は自動的に削除されます。
- 第1段落の1行目の行頭マーク1 1は削除できません。

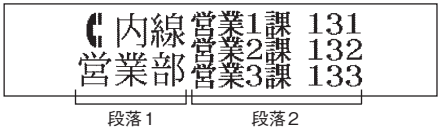
段落を増やす（改段落）

左下のラベルは2つのブロックからできています。本機ではこのブロックを「段落」と呼びます。段落とはブロックで印刷される「行の集まり（または1行）」のことです。1つのラベルの中に2つの段落を設けることで、いろいろな行数を混在させたり、デザインを段落ごとに変えたりすることができます。
本機では、段落は1つのラベル（文章）の中に10段落まで作ることができます。

■段落が2つのラベル

印刷すると各段落は横につながって印刷されますが、画面上では各段落が縦に並んだ形になります。

【ラベルは】



【画面上では】

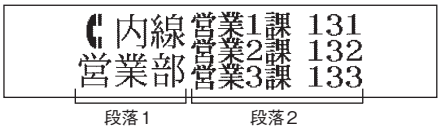
段落1
1 内線
2 営業部

段落2
1 営業1課␣131
2 営業2課␣132
3 営業3課␣133

新しい段落を作る

シフトを押しながら選択改行（＝改段落）を押すと、新しい段落ができます。

例：2段落の文章を入力する



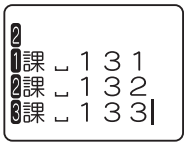
❶ 段落1を入力する

1行目「内線」
2行目「営業部」
と入力します。

❷ 文末にカーソルを合わせ、シフトを押しながら選択改行（＝改段落）を押す

新しい段落が発生し、1が表示されます。

❸ 段落2を入力する



1行目
「営業1課␣131」
2行目
「営業2課␣132」
3行目
「営業3課␣133」
と入力します。

MEMO

- ネガ文字があるときは、改段落できず、文字が確定します。
- すでに10段落目があるときは、改段落できません。

段落を分割する

段落の途中で改段落すると、カーソル位置より後ろ（右側）の文字は新しい段落に移ります。

例：新しい段落を増やす

段落1の「¶」の後ろ（右側）で改段落すると

1 1行目「¶」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

2 シフトを押しながら選択改行（＝改段落）を押す

カーソルより後ろ（右側）が改段落され新しい段落になります。

MEMO

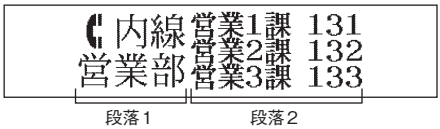
- ネガ文字があるときは、改段落できず、文字が確定します。
- すでに10段落目があるときは、改段落できません。
- 段落分割によって新しくできた段落の段落スタイルの内容は、もとの段落と同じです。
- 段落スタイルの文字サイズが行数で指定されている場合は、段落分割によって各段落の行数が変わり、指定した行数と一致しなくなります。このとき、文字サイズは「均等」で印刷されます。

参照☞P.68「段落スタイル」

特定の段落を消去する

不要な段落を消去します。

例：段落1を消去する



段落1を消去すると

1 消去する段落1にカーソルを合わせる

カーソルは消去する段落内ならどこでもかまいません。

2 シフトを押しながら削除取消（＝消去）を押す

「消去」メニューが表示されます。

3 ↑ ↓で「段落消去」を選び、選択改行を押す

段落が消去され、テキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

- 「全文消去」を選択すると、入力したすべての文章が消去されます。
- 段落消去は、カーソル位置の段落内容がすべて消去されます。段落の書体や外枠など各機能の指定内容も消去されます。消去をおこなう前に、充分に確認してください。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、削除取消を押し、操作を戻します。
- 削除した直後なら復活を押すと復活できます。

カドを丸く仕上げる

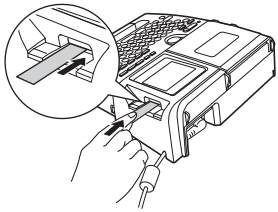
ラベルをトリマー差込み口に挿入すると、ラベルのカドを丸く仕上げることができます。「カド丸仕上げ」にすると、見栄えがよいばかりでなく、ラベルがカドからはがれにくくなります。

お得なセット！
初回限定版Box

9mm、12mm、18mm幅テープのとき

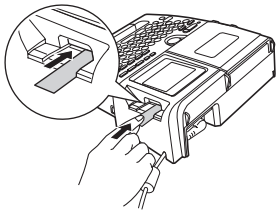
ラベルのカドを片側ずつ仕上げます。

1 ラベルの片側をトリマー差込み口の左右どちらかのガイドに沿わせ、つきあたるまで差し込む



2 数回カット音がしたら、ラベルを抜く

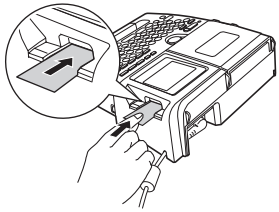
3 ラベルの反対側をガイドに沿わせ、同様にカットする



24mm幅テープのとき

左右のカドが同時にカットされます。

1 ラベルの左右をトリマー差込み口のガイドに沿わせ、つきあたるまで差し込む



2 数回カット音がしたら、ラベルを抜く

MEMO

- ラベルはトリマーガイドに沿わせてまっすぐ差し込んでください。
- ラベルはつきあたるまでしっかりと差し込んでください。
- 4mm、6mm幅ラベルは、オートトリマーを使用できません。トリマー（RT36W）を使ってカットしてください。
  参照☞P.11「別売品のご案内」

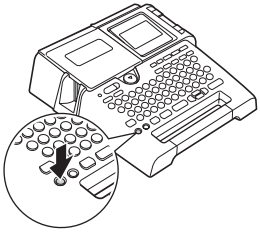
!! 注意 !!

- 印刷中および上カバーが開いているときはオートトリマーが作動しません。
- オートトリマーにラベルを差し込んだままラベルを左右に動かさないでください。途中で引っかかり、カドがきれいにカットされないことがあります。
- トリマー差込み口には、シャープペンシルやクリップなどラベル以外のものを入れないでください。オートトリマーが故障する原因となります。
- 耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・熱収縮チューブ・上質紙ラベル・マスキングテープ「mt」ラベル・蓄光ラベル・りぼんはカットできませんので、トリマーに差し込まないでください。
  参照☞P.139「テープカートリッジを使いわける」
- 別売品のハーフカッター（RH24）でハーフカットしたラベルのスリット部分を折り曲げた状態でオートトリマーに差し込まないでください。

オートトリマーのお手入れ

「トリマーカバー」にはオートトリマーの切りクズがたまります。ときどき「トリマーカバー」をはずして掃除してください。

❶ ON/OFFを押して電源を切る

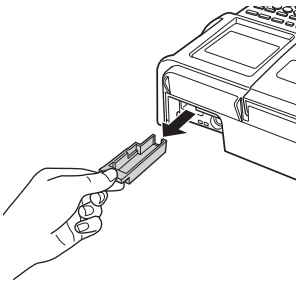


⚠警告

「トリマーカバー」をはずすときは、必ず電源を切ってください。「トリマーカバー」をはずしたまま作動させると刃で指を切ったりするなど、大変危険です。
また、オートトリマーを掃除するときにはオートトリマー内部に絶対、指を入れないでください。指を切るおそれがあります。

❷「トリマーカバー」をはずす

「トリマーカバー」の下側に指を入れ手前に引きます。

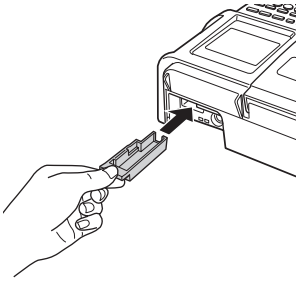


❸ 切りクズを取り除く

「トリマーカバー」内にたまった切りクズを市販の綿棒などで取り除きます。

❹「トリマーカバー」をはめる

「トリマーカバー」をもとのように取り付けます。



MEMO

- ご購入時、「トリマーカバー」に製造工程での切断検査の切りクズが残っていることがあります。
- オートトリマーは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し、切れにくくなります。オートトリマーの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照☞巻末「アフターサービスについて」

機能編

～「テプラ」の機能を使いこなそう～

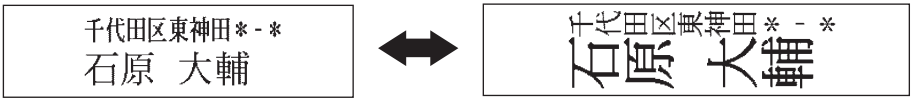
「ラベルの向きを変えたい」
「ラベルを見栄えよくしたい」
こんなときは各機能のボタンでレイアウトの変更や各種指定をおこないます。

ラベルの向きを変える（縦・横）

縦・横ボタンを使う

縦・横ボタンを使うと、ラベルの向きを「縦」または「横」に切り換えられます。

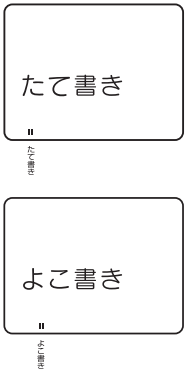
よこ書きラベル　　たて書きラベル



1 縦・横を押す

「たて書き」と表示された場合は、たて書きになります。
「よこ書き」と表示された場合は、よこ書きになります。
ディスプレイの「たて書き」「よこ書き」インジケーターも点灯します。

参照☞P.20「ディスプレイ（画面）の見かた」

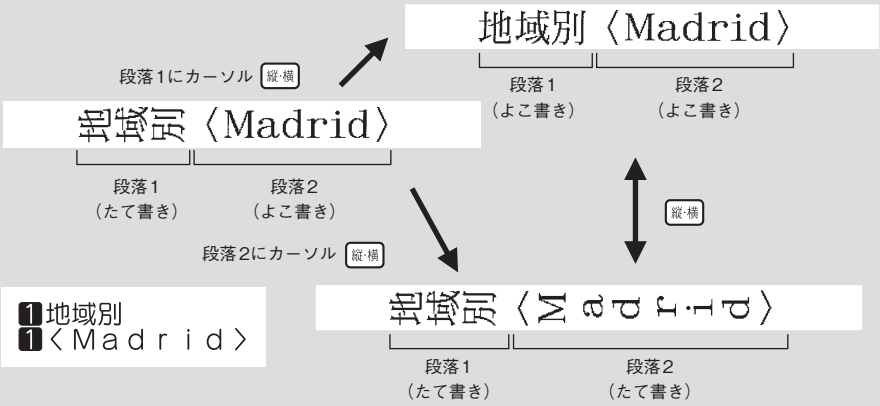


MEMO

- ネガ文字があるときは、「たて書き」「よこ書き」を変更できません。
- 段落スタイル機能の「縦・横」では文章単位または段落単位で指定できます。
  参照☞P.55「指定範囲とカーソルの位置について」
- 横長のイラストは縦書きには対応していません。
  参照☞P.167「記号一覧表ーイラスト」

!! 注意 !!

縦・横ボタンは文章全体のラベルの向きを変えます。「たて書き」と「よこ書き」の段落が混在している文章の場合は、カーソルのある段落に対する変更が、文章全体に反映されます。



参考

たて書きで2桁の数字を印刷する

「2桁数字」は2桁の数字を1文字として扱うものです。たて書きのラベルで日付や住所の番地などに「2桁数字」を使うと、きれいに揃えて印刷できます。

例：「14回大会記録」を入力する

1 縦・横を押して、「たて書き」を指定する

たて書き

2 記号を押す

記号　記述

「記号」メニューが表示されます。

3 ←↑↓→で「2桁数字」を選び、選択改行を押す

記号 2桁数字

2桁数字の候補が表示されます。

4 選択肢から「10」を選び選択改行を押す

記号 2桁数字
10

ここでは「十の位」は10番台なので「10」を選びます。

記号　10番台
10

10番台の選択肢が表示されます。

5 10番台の選択肢から「14」を選び、選択改行を押す

記号　10番台
10 11 12 13 14 15

X.X cm 14
1 14

カーソル位置に「14」が表示されます。

6 続けて文章を入力する

MEMO

- 操作を途中でやめるときは削除取消または記号を押し、操作を戻します。
- 2桁の数字は、記号を押して「2桁数字」を選んで入力します。文字ボタンでの入力では2桁数字にはなりません。
- ネガ文字があるときは、記号ボタンで2桁数字は入力できません。

ラベルの長さを整える(らく²)

らく²ボタンを使うと、文字サイズを「均等」または「らく²」に切り換えられます。

「らく²」を選ぶと、すべての行ができるだけ同じ長さになるように文字サイズを自動調整します。1行の場合でも、文字数が多い場合は全体が長くなりすぎないように文字サイズを調整します。
「均等」を選ぶとすべての行を同じ文字サイズにします。

2行で「均等」を指定

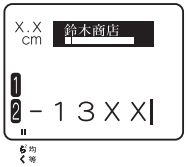
2行で「らく²」を指定

❶ ラベルの文章を入力する

参照☞P.31「1. 文字を入力する」

❷ らく²を押す

「均等」または「らく²」は、ディスプレイのインジケーターで確認できます。
「らく²」の場合は、文字サイズを自動調整します。「均等」の場合は、すべての行を同じ文字サイズにします。



MEMO

- ネガ文字があるときは、「均等」「らく²」を変更できません。
- 「均等」、「らく²」は段落スタイル機能の「文字サイズ」でも指定できます。
  参照☞P.68「文字サイズ」
- らく²ボタンは段落スタイル機能の「文字サイズ」が「均等」または「らく²」に指定されているときのみ有効です。「おまかせフォーマット」で文字サイズを行ごとに指定している場合は、変更できません。
  参照☞P.68「文字サイズ」

ラベルの見栄えをよくする～装飾機能を使おう～

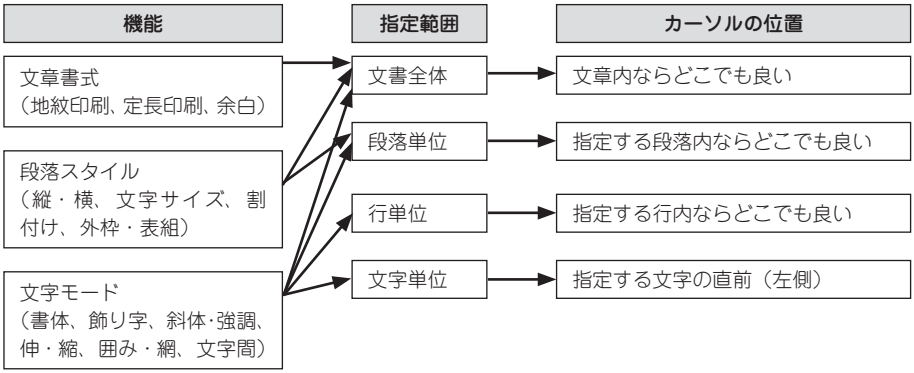
文字の書体や大きさを変えて、見栄えの良いラベルにすることができます。
ラベルの見た目を変えるには、書式や スタイル、モード を押して表示されるメニューから機能を選択します。機能は、指定可能な範囲の違いによって、「文章書式」・「段落スタイル」・「文字モード」にボタン別に分類されています。

各ボタンの機能

機能の分類	指定範囲	機能	内容
書式	文章全体	地紋印刷	背景全体に地紋を入れます。
		定長印刷	できあがるラベルの長さを指定します。
		余白	ラベル前後の余白の長さを指定します。
スタイル	段落単位 文章全体	縦・横	たて書きや、よこ書きにします。
		文字サイズ	行ごとの文字サイズを指定します。
		割付け	各行の割り付け位置を指定できます。
		外枠・表組	飾り枠、表組みを指定します。
モード	文字単位 行単位 段落単位 文章全体	書体	漢字、かな、英数字の書体を指定します。
		飾り字	白抜き、影文字、白抜影の装飾をします。
		斜体・強調	斜体、強調、斜強調の装飾をします。
		伸・縮	文字を伸縮して変形します。
		囲み・網	訂正線、下線、網かけ、囲みの装飾をします。
		文字間	文字の間隔を変更します。

指定範囲とカーソルの位置について

機能を選択する場合、機能のボタンを押す前に、指定範囲に合わせてカーソルの位置を移動しておく必要があります。このカーソル位置を基準にして、メニュー操作の途中で有効範囲の指定をおこないます。カーソル位置は、指定する機能や範囲によって異なります。次の図を参考にカーソルの位置を確認してください。



機能を指定する

機能は以下の流れで指定します。

❶ カーソルを合わせる

文字に指定するときは、指定する文字の直前（左側）にカーソルを合わせます。
行全体に指定するときはその行に、段落に指定するときはその段落内にカーソルを合わせます。
文章全体に指定するときは、カーソル位置はどこでもかまいません。
参照☞P.55「指定範囲とカーソルの位置について」

❷ 機能のボタン（書式または スタイル、モード）を押す

!! 注意 !!

ネガ文字があるときは、機能を指定できません。

❸ 機能を選ぶ

↑ ↓で目的の機能を選び、選択改行を押します。

書式

文章書式
地紋印刷
定長印刷
余白

スタイル

段落スタイル
縦・横
文字サイズ
割付け

モード

文字モード
書体
飾り字

❹ 各機能の選択肢を指定する

↑ ↓で目的の選択肢を選び、選択改行を押します。

例 **：文字モードの「書体」の選択肢**

漢字書体
明朝体
ゴシック

❺「終わり？」を選ぶ

1つの機能の指定が終わると、同じ分類の次の機能が表示されます。

同じ分類の機能（この場合「文字モード」）であれば、続けて指定することができます。↑ ↓で目的の機能を選び、選択改行を押します。
以降の手順は❹ ❺と同様です。

文字モード
文字間
終わり？

指定を終了する場合は、「終わり？」を選び、選択改行を押します。
手順❻へ進みます。

MEMO

他の機能（この場合「段落スタイル」「文章書式」）を指定したい場合は、手順❻のあと、テキスト画面に戻ってから他の各機能のボタンを押します。

❻ 指定した機能の有効範囲を決める

指定した機能の有効範囲を指定します。
下表を参考に、[↑][↓]で指定する範囲を選び、[選択改行]を押します。
指定が終了し、テキスト画面に戻ります。
（「文章書式」の機能を選択した場合は、有効範囲の画面は表示されず、手順❺でテキスト画面に戻ります。）

●「文字モード」の機能を指定した場合

この文章	文章全体に、指定した文字モードを反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。
この字から	カーソルを合わせた位置に「▶（文字モード指定マーク）」が表示され、「▶」直後の文字から行末（または、次の「▶」）まで、指定した文字モードを反映します。
この行	カーソルを合わせた行の行頭に「▶（文字モード指定マーク）」が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した文字モードを反映します。
この段落	カーソルを合わせた段落の行の先頭すべてに「▶（文字モード指定マーク）」が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した文字モードを反映します。

●「段落スタイル」の機能を指定した場合

この文章	文章全体に、指定した段落スタイルを反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。
この段落	カーソルを合わせた段落に、指定した段落スタイルを反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。

●「文章書式」の機能を指定した場合

有効範囲の画面は表示されません。
手順❺で「終わり？」を選択した時点で、文章全体に指定した文章書式を反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。

MEMO

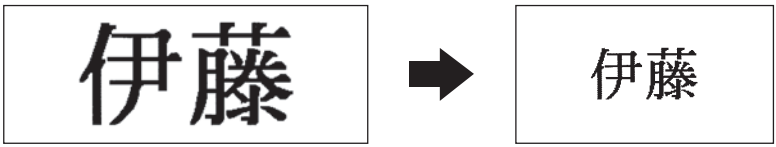
- 「▶（文字モード指定マーク）」は印刷されません。
- 「▶」は削除できます。「▶」を削除すると、その前にある「▶」の指定を反映します。「▶」がない場合は、「この文章」で指定した内容、または保存値を反映します。
- 各機能のご購入時の状態（初期設定値）はP.59「メニュー一覧」で確認できます。また、この設定はP.130「各種の初期値（保存値）を設定する」で変更することもできます。
- 操作を途中でやめるときは、指定の途中で[削除取消]または各機能のボタンを押し、操作を戻します。
- 一部の指定内容は、インジケーターの点灯で確認できます。
  参照☞P.20「ディスプレイ（画面）の見かた」
  また、各機能のボタンを押して、機能の選択肢を表示させても確認できます。ネガ表示になっている選択肢が現在の指定内容です。
- 装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がツブレることがあります。

参考

■操作例：文字サイズを変更する

段落スタイル－文字サイズの場合、具体的な操作は次のようになります。

例：1行の文字サイズを小さくする



❶ スタイルを押す

「段落スタイル」メニューが表示されます。

❷ 機能を選び、選択改行を押す

ここでは「文字サイズ」を選択します。

機能の選択は↑↓ボタンを使います。

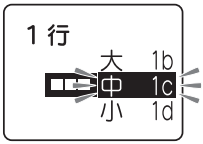
❸ 最初の選択肢を選び、選択改行を押す

ここではラベルの行数として「1行」を選択します。

MEMO

入力した文章の行数を指定してください。指定した行数と実際に入力された行数が異なる場合は、「均等」の指定で印刷されます。

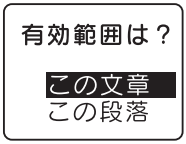
❹ 2階層目の選択肢（設定値）を選び、選択改行を押す



ここでは文字サイズとして「中1c」を選択します。

❺「終わり？」を選び、選択改行を押す

❻ 設定範囲を選び、選択改行を押す



ここではラベル全体に指定するので「この文章」を選択します。

文字の大きさが変更されます。

メニュー一覧

文章書式

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
文章書式		
地紋印刷 ▶	なし00 海波01 菱形02 桜 03 カード 04 唐草05 点網06 切抜07	
地紋印刷 定型地紋の入ったラベルを作ります。ピクトグラフを参考に地紋の柄を選びます。 参照 P.65		
定長印刷 ▶	音楽テープ　MD ▶ ミニDV　8mmビデオ VHS　FD・MO CDケース　B5ファイル A4ファイル　しない 1.0cm～50cm	前寄せ 中寄せ 割付け 後寄せ
定長印刷 決まった長さのラベルを作ります。 参照 P.65		
余白 ▶	極少　少なめ ふつう　多め 自動少なめ　自動多め	
余白 ラベルの前後の余白を調整します。 参照 P.67		
終わり？		
終わり？ 参照 P.56		

段落スタイル

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
段落スタイル		
縦・横 ▶	よこ書き たて書き	
文字サイズ ▶	自動 ▶	らく[2] 均等
	1行 ▶	（おまかせフォーマット） 1行 特大1a　大 1b 中 1c　小 1d
	2行 ▶	2行 大大2a　中中2b 大細2c　大小2d 中小2e　小中2f 小大2g　細大2h
	3行 ▶	3行 同大3a　同小3b 1大3c　1中3d 3小3e　2大3f 2中3g　1小3h 3大3i　3中3j 2小3k
	4行 ▶	4行 均等4a　1大4b 2大4c　3大4d 4大4e
	5-8行	

縦・横
文字の向きを指定します。
参照 P.68

均等
各行を同じ文字サイズにします。

らく[2]
入力文字数に応じて文字サイズを自動調整します。

おまかせフォーマット
各行の文字サイズを、ピクトグラフで表示される組み合わせのように指定します。
参照 P.68

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
段落スタイル		
割付け ▶	前揃え / 中揃え / 割付け / 後揃え	
割付け 各行の文字の配置を指定します。 参照 P.69		
外枠・表組 ▶	表組み ▶	01 02 03 04
	なし	
	外枠 ▶	01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85
表組み 図のような表組みのラベルを作ります。 参照 P.70		
外枠 図のような飾り枠がつけられます。 参照 P.70		

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
段落スタイル		
	お店 ▶	01 02 03 04 05 06 07
	学校 ▶	01 02 03 04 05 06 07 08 09 10
	建設 ▶	01 02 03 04 05 06 07 08 09 10
	病院 ▶	01 02 03 04 05 06 07 08
終わり？ ▶	**有効範囲は？**	
終わり？	この文章	
参照 P.56	この段落	

文字モード

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
文字モード			
書体 ▶	**漢字書体** ▶ 明朝体 ゴシック 太ゴシック 行書体 隷書体	**かな書体** ▶ 自動 明朝体 ゴシック 太ゴシック 行書体 隷書体 えれん ハッピ あしび てまり	**英数書体** 自動 明朝体 ゴシック 太ゴシック 行書体 隷書体 HV体 CR体 BR体 PL体 ST体 CB体
書体 漢字書体とかな書体、英数書体をそれぞれ選択します。 参照 P.71			
飾り字 ▶	A 白抜き A ふつう A 影文字 A 白抜影		
飾り字 文字の装飾を指定します。 参照 P.72			
斜体・強調 ▶	A 斜体 A 正体 A 強調 A 斜強調		
斜体・強調 文字を斜体または強調します。 参照 P.72			
伸・縮 ▶	A 細かく A ふつう A 小さく A 伸ばす A 縮める		
伸・縮 行中の基本文字サイズに対し、どれだけ大きく（小さく）するかを指定します。 参照 P.72			
囲み・網 ▶	A 訂正線 A 角囲み A 角囲網 A 下線 A 丸囲み A 丸囲網 A なし A 網掛け		
囲み・網 下線や文字囲み、網かけなどを指定します。 参照 P.73			

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
文字モード		
文字間 ▶	密着 ▶	**ピッチ**
	狭い	ピッチ自動
	ふつう	ピッチ固定
	広い	
終わり？ ▶	**有効範囲は？**	
	この文章	
	この字から	
	この行	
	この段落	

文字間
文字間隔を調整します。「ピッチ自動」は英数字にプロポーショナルがかかり、「ピッチ固定」は英数字も全角扱いになります。
参照 P.73

終わり？
参照 P.56

機能の説明

文章書式

●地紋印刷

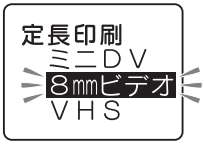
ラベルの背景全体に地紋をつけます。表示されるピクトグラフで地紋の柄を確認できます。

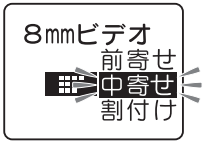
MEMO

地紋を指定した場合、プレビューで地紋が判読できない、文字が表示されないことがありますが、印刷に影響はありません。

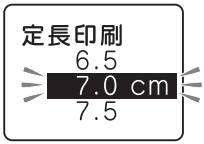
●定長印刷

印刷するラベルの長さを指定します。
長さを指定したあと、ラベル全体に対する文字の印刷位置を選びます。表示されるピクトグラフで位置のイメージを確認できます。





1.0cm～50cmは、ラベルの長さを数値で指定できます。



用途別の定長を選ぶとラベルの長さが自動的に指定されます。お使いになるテープは、下表の「推奨テープ幅」をおすすめします。

用途	長さ	推奨テープ幅
音楽テープ	9.5cm	9mm
MD	5.5cm	4mm
ミニDV	4.0cm	9mm
8mmビデオ	7.0cm	9mm
VHS	14cm	18mm

用途	長さ	推奨テープ幅
FD・MO	7.0cm	18mm、24mm
CDケース	11cm	4mm
B5ファイル	15cm	12mm
A4ファイル	20cm	12mm

MEMO

- 文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは、「定長→字余り」と表示され、定長印刷できません。文字数を減らしたり、文字サイズの指定で文字の大きさを小さくしてください。
- 定長印刷で指定するラベルの長さは一応の目安です。実際のできあがり長さと完全には一致しません。

参考

定長内に文字をおさめる「つめ²」機能

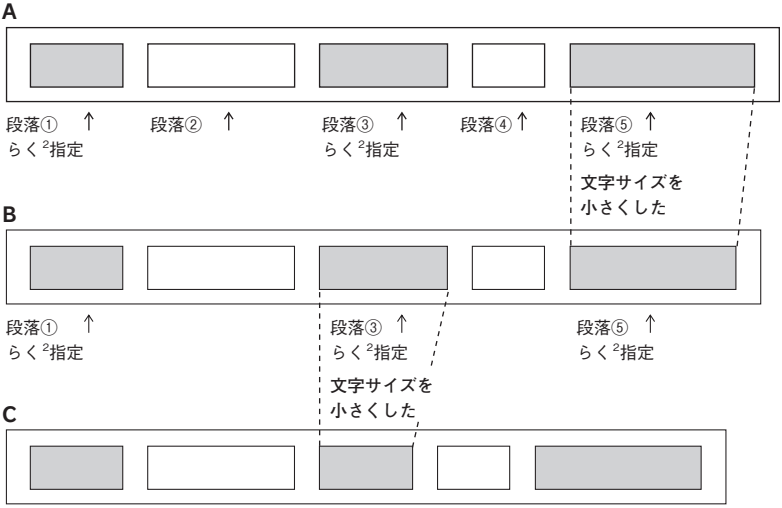
「文字サイズ」で「らく²」を指定すると、入力文字数に応じて自動的に文字サイズを調整します。この「らく²」と「定長」を指定し、定長内に段落をいくつか作って文字を入力した場合、定長で指定した長さに文字がおさまらない場合があります。
そんなとき本機では、定長で指定した長さにおさまるよう文字サイズを自動的に計算し、「らく²」を指定した段落の中で、後ろから順に段落単位で文字サイズを小さくする「つめ²」機能がはたらきます。

❶ 最後の段落の文字を小さくする（図A→B）

定長に入らない場合はまず、「らく²」を指定した段落の中で最後の段落（⑤）の文字サイズを1段階小さいサイズに置き換えます。これで定長におさまれば自動計算は終わります。

❷ 最後から2番目の段落の文字を小さくする（図B→C）

これでも定長内に入らない場合は、「らく²」を指定した段落の中で最後から2番目の段落（③）の文字サイズを1段階小さくします。
定長で指定した長さにおさまるまで、上記の処理をおこないます。
この処理を繰り返しても定長で指定した長さにおさまらない場合は「入力した文章が長すぎます」と表示されます。定長を指定しなおすか、文字を少なくするなどの操作をおこなってください。



※ 段落②、④が「らく²」を指定していない段落です。

MEMO

- 「らく²」を指定していない段落は「つめ²」機能ははたらきません。
- 「らく²」以外の指定をしても実際の行数が指定と合わず結果的に「均等」になった段落については、「つめ²」機能による処理はおこなわれません。

●余白

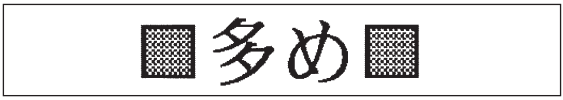
ラベルの前後の余白の長さを指定します。

極少（余白：前後約1mm）

少なめ（余白：前後約3mm）

ふつう（余白：前後約10mm）

多め（余白：前後約18mm）



自動少なめ

テープ幅に応じて余白の長さが自動的に少なめに調整されます。印刷するテープの幅の約1/3が前後の余白になります（12mm幅テープであれば余白は前後約4mm）。

自動多め

テープ幅に応じて余白の長さが自動的に多めに調整されます。印刷するテープの幅相当が前後の余白になります（12mm幅テープであれば余白は前後約12mm）

MEMO

「極少」「少なめ」「自動少なめ」（全テープ幅）、「自動多め」（4mm、6mm幅テープ）を指定すると、印刷前にテープがカットされます。

段落スタイル

●縦・横

文字をたて書きにするか、よこ書きにするかを指定します。
たて書き/よこ書きの変更は縦・横ボタンでも指定できます。
参照☞ P.52「ラベルの向きを変える（縦・横）」

よこ書き（ご購入時の初期設定値）

よこ書き

たて書き

たて書き

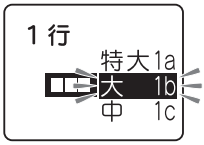
●文字サイズ

文字サイズの指定は「均等」「らく²」「おまかせフォーマット」で指定してください。
「均等」、「らく²」の変更はらく²ボタンでも指定できます。

らく²（購入時の初期設定値）	入力文字数に応じて、文字サイズを自動調整します（フルオート）。 1行のとき：文字数が多くなると自動的に文字サイズを小さくします。 「テプラ」PRO 簡単・綺麗なラベルが作れる「テプラ」PRO 2行以上のとき:各行の長さがバランスよくなるように文字サイズを自動調整します。 堀之内 0X0-20XX-20XX　HORINOUCHI 0X0-20XX-20XX テープ幅や行数、文字数の割合に応じて、各行のできあがりの長さができるだけ揃うようにします。また、文字数が多くなってもラベル全体が長くなりすぎないように、文字サイズを自動調整します。
均等	各行を同じ文字サイズにします。 12mm幅テープ：2nd アルバム発売中! 18mm幅テープ：封入特典 インストアイベント招待券 日時:9月18日 19:00～ 詳しくは店員まで
おまかせフォーマット	各行の文字サイズ（行の大小）を、あらかじめ用意された組み合わせの中から選びます（セミオート）。 参照☞P.69「おまかせフォーマット」

おまかせフォーマット（1行～8行）

選択肢から文字サイズ（行の大小）を選びます。表示されるピクトグラフで各行の文字のバランスなど、レイアウトを確認できます。



おまかせフォーマット 1行の文字サイズ

特大1a・大1b・中1c・小1dと選んだ場合、テープ幅により次のような文字の大きさで印刷されます。

印刷サンプル	美	美	美	美	美	美	美
文字サイズ [pt] / テープ幅	H [48]	U [38]	G [26]	L [19]	M [13]	S [10]	P [6]
24mm	特大	大	中	小	―	―	―
18mm	―	特大	大	中	小	―	―
12mm	―	―	特大	大	中	小	―
9mm	―	―	―	特大	大	中	小
6mm	―	―	―	―	特大	大	中、小
4mm	―	―	―	―	―	―	特大、大、中、小

!! 注意 !!

テープに印刷できる文字の大きさに制限があるため、テープ幅や印刷する行数によっては、おまかせフォーマットの一部が機能しないことがあります。

MEMO

- おまかせフォーマットは、ピクトグラフで表現しています。
- 各行の文字サイズはテープ幅によって異なり、文字サイズインジケーターで確認できます。
- 指定した行数と実際に入力された行数が異なる場合は、「均等」で印刷されます。

●割付け

複数行のとき、各行の「揃え」を指定します。

前揃え（購入時の初期設定値）	行頭を揃えます。
中揃え	各行の中心を揃えます。
割付け	一番長い行の長さに揃えて他の行を均等に割り付けます。
後揃え	行末を揃えます。

MEMO

文字間「密着」が指定されている場合、割付け「割付け」を指定しても、文字間「密着」が優先されます。

●外枠・表組

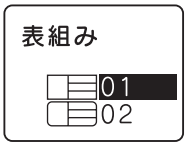
文章（段落）のまわりに外枠や表組みをつけます。

なし（ご購入時の初期設定値）

外枠・表組みをつけません。

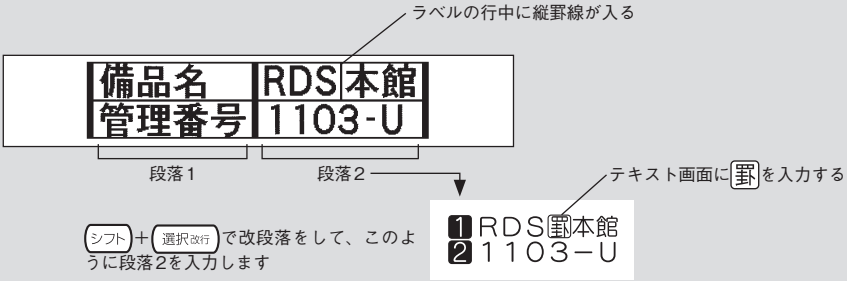
表組み

文章（段落）を枠で囲み、行間に横罫線を引きます。
複数の段落に同じ表組みを指定すると、前後に区切られた表ができます。
表示されるピクトグラフで表組みの種類を確認できます。
参照☞P.46「段落を増やす（改段落）」



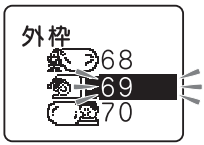
MEMO

表組みのラベルの行中にさらに縦罫線を入れたいときは、記号を押して表示される記号メニューから「編集」を選択し、その中の罫を入力します。



外枠

文章（段落）のまわりに外枠をつけます。
表示される図で外枠の種類を確認できます。



MEMO

表組み・外枠の種類は、番号を数字ボタンで指定することもできます。
参照☞P.61「メニュー一覧ー段落スタイル」

文字モード

●書体

文字の書体を選びます。かな書体と英数書体で「自動」を選ぶと、漢字書体と同じ書体が選択されます。

明朝体（購入時の初期設定値）	ゴシック
美しい文字	美しい文字
太ゴシック	行書体
美しい文字	美しい文字
隷書体	
美しい文字	
えれん	ハッピ
うつくシイ	うつくシイ
あしび	てまり
うつくシイ	うつくシイ
HV体	CR体
Beautiful	Beautiful
BR体	PL体
Beautiful	Beautiful
ST体	CB体
Beautiful	Beautiful

●飾り字

文字の装飾を選択します。

白抜き	ふつう（購入時の初期設定値）	影文字	白抜影
白抜き	ふつう	影文字	白抜影

MEMO

文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がツブレることがあります。

●斜体・強調

文字の斜体、強調を選択します。

斜体	正体（購入時の初期設定値）	強調	斜強調
斜体	正体	強調	斜強調

MEMO

文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がツブレることがあります。

●伸・縮

各行の基本文字サイズ（行の大小）は、テープ幅・入力行数・文字サイズの段落スタイル指定によって決まります。伸・縮はこの基本文字サイズに対して相対的な大きさを指定します。

細かく	基本サイズより、2段階小さい文字になります。
小さく	基本サイズより、1段階小さい文字になります。
縮める	横の長さを基本サイズの約0.75倍にします。
ふつう（購入時の初期設定値）	これを選ぶと、基本文字サイズになります。
伸ばす	横の長さを基本サイズの約1.5倍にします。

MEMO

- 基本文字に対して、よこ書きのラベルでは「下並び」（文字のベースライン揃え）、たて書きのラベルでは「中並び」（センター揃え）となります。
- 英数専用書体（HV体・CR体・BR体・PL体・ST体・CB体）はベースラインが漢字書体や、かな書体と異なるため、かな書体とベースラインが揃いません。
- 基本文字サイズがすでに小さい場合は、「小さく」「細かく」を指定しても、文字の大きさが変わらない場合があります。
- 各行の基本文字サイズは段落スタイルの指定で変えられます。
  参照☞P.68「文字サイズ」
- 装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がツブレることがあります。
- 細いテープを使っている場合など大きな文字サイズを使えないときに「伸ばす」を指定すると、文字の大きさが少し大きく見え、より目立つラベルになります。

●囲み・網

文字につける囲みや下線、網などを選びます。
表示されるピクトグラフの画面に「囲み･網」の種類を確認できます。

●文字間

文字の間隔を選びます。

密着	ふつう（購入時の初期設定値）
□□密着	□□ふつう
狭い	広い
□□狭い	□□ひろい

さらに文字間「ピッチ自動」、「ピッチ固定」を選びます。

ピッチ自動	世界選抜　1-1　キングFC UEHA選抜　0-2　キングFC
ピッチ固定	世界選抜　１－１　キングＦＣ ＵＥＨＡ選抜　０－２　キングＦＣ

「ピッチ自動」にすると、英数字にプロポーショナルがかかり、文字間を美しく調整して並べます。プロポーショナルとは英数字が美しく見えるように文字間を自動的に調整する機能です。

「ピッチ固定」にすると、プロポーショナル機能が解除され、英数字（半角スペースを含む）をすべて全角文字として扱います。複数行で上下の文字の並びをきちんと揃えたいときは、「ピッチ固定」を選んでください。

MEMO

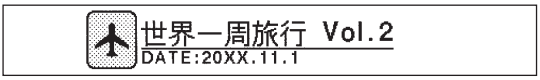
文字間の指定について

- あらかじめ小さくデザインされている文字に「密着」を指定しても、密着しているように見えないことがあります。
- 複数個の外字をつなげたロゴを作るときは、「密着」を指定すると完全につながったロゴが印刷できます。
  参照☞P.104「外字を使う」
- 大きい文字では文字間を狭く、小さい文字では文字間を広くとると、美しいラベルになります。

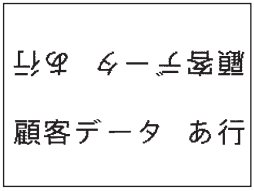
デザインされたラベルを呼び出す（フォーム）

本機には名前ラベルやビデオラベルなどデザインされたフォームが登録されています。また特殊フォームとして通常の文章書式や段落スタイル、文字モードの指定では作ることのできない、特殊なデザインのラベルも用意されています。

例：「8mm ビデオ」のラベル
（デザインフォーム）



例：「見出し（横）」
長さ3.2cm のラベル
（特殊フォーム）



ラベルの作りかた

フォームを使ったラベルは以下の流れで作成します。

❶ 使用するフォームを決める

使いたいフォームを選んでください。

❷ シフトを押しながらファイル（＝フォーム）を押す

「フォーム」メニューが表示されます。

❸「フォーム」または「特殊フォーム」を選ぶ

↑ ↓で目的のフォームが含まれる項目（「フォーム」または「特殊フォーム」）を選び、選択改行を押します。
それぞれのメニューが選択され、選択肢を指定する画面になります。

❹ 使用するフォームを指定する

↑ ↓で目的のフォーム名を選び、選択改行を押します。
特殊フォームの見出し（縦）、見出し（横）、ケーブル用の場合は、ここでラベルの長さを選択します。

!!注意!!

フォームを呼び出すと、テキスト画面に入力した文章は消えてしまいます。フォームを呼び出す前に、必要な文章はファイルに登録してください。

参照☞P.89「ファイルを登録する」

MEMO

操作を途中でやめるときは、[削除取消]または[ファイル]を押し、操作を戻します。

❺ 文字を入力する

フォームの場合は、テキスト画面にデザインされたフォームの内容が表示されます。次のようにはじめから入力されていますので、文字や記号を削除して内容を変更します。

例：
1 ▶✈
1 ▶世界一周旅行␣Vol.2
2 ＤＡＴＥ：20XX.11.1

特殊フォームの場合は、入力画面になります。入力ガイドの後ろ（右側）にカーソルを合わせ、通常のテキスト画面と同じように文字を入力します。

複数行の特殊フォームのときは、[↓]を押すと次の行にカーソルが移ります。
見出し（縦）と見出し（横）では、「おもて」の行で[選択改行]を押すと、「おもて」の行に入力した内容が「うら」の行に自動的にコピーされます。
複数ラベルでは、1枚目入力後に[選択改行]を押すと2枚目の行が表示されます。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、[削除取消]または[ファイル]を押し、操作を戻します。
- 文章書式、段落スタイル、文字モードの指定内容は、インジケーターで確認できます。
- デザインフォームで指定されている文章書式、段落スタイル、文字モードの指定は変更できますが、特殊フォームで指定できる機能には制限があります。
  参照☞P.83「特殊フォーム」

❻ 印刷する

参照☞P.38「6.印刷する」

MEMO

特殊フォームの印刷をしたあとは、特殊フォームの画面に戻ります。テキスト画面に戻るときは[ファイル]を押して1画面ずつ操作を戻します。

フォーム/特殊フォーム メニュー一覧

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
文章書式		
フォーム ▶	**A4ファイル**	
	B5ファイル	
	フォルダー山	
	回覧の捺印	
	税込値札	
	備品管理票	
	CDケース	
	FD・MO	
	VHS（縦）	
	VHS（横）	
	8mmビデオ	
	ミニDV	
	MD	
	音楽テープ	
	DAT	
	ケーブル	
	注意！	
	禁止！	
	メッセージ	
	誕生祝い	
	住所＆氏名	
	なまえ（縦）	
	なまえ（横）	
	学校持ち物	
	お祝い	
	銘板	
	QR携帯1	
	QR携帯2	
	QR携帯3	
	QR備品管理	
特殊フォーム	**見出し（縦）** ▶	**見出し（縦/横）長さ**
	見出し（横）	1.8cm
		3.2cm
		6.0cm
		8.0cm
		11cm
	ケーブル用 ▶	**ケーブル用**
		2.6cm
		5.0cm
	複数ラベル	

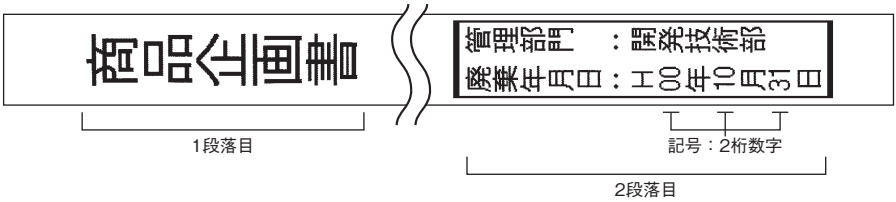
フォーム
あらかじめ作られたフォームに文字や記号を入力するだけで、いろいろなデザインのラベルを簡単に作ることができます。
参照 P.77

特殊フォーム
通常のテキスト画面からでは作ることのできない特殊なデザインのラベルを作ることができます
参照 P.83

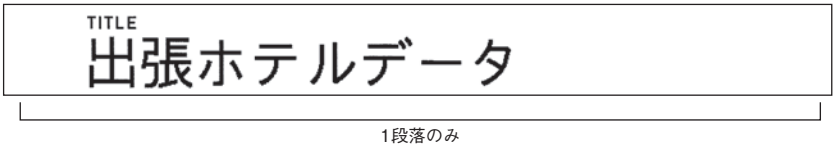
フォーム見本

●デザインフォーム

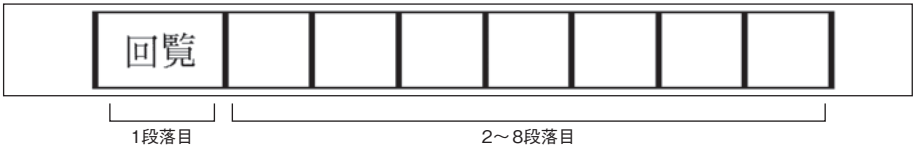
■ A4ファイル/B5ファイル..... A4判/B5判ファイルの背見出しラベルとして最適です。
（推奨テープ幅：12mm）



■ **フォルダー山**... フォルダーの山の部分に最適です。（推奨テープ幅：12mm）



■ **回覧の捺印**..... 回覧文書に最適です。（推奨テープ幅：12～24mm）



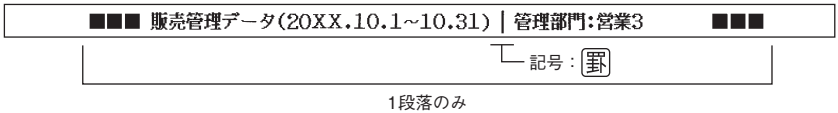
MEMO

段落を増やすと捺印の枠が増えます。捺印の枠は9枠（合計10段落）まで増やせます。

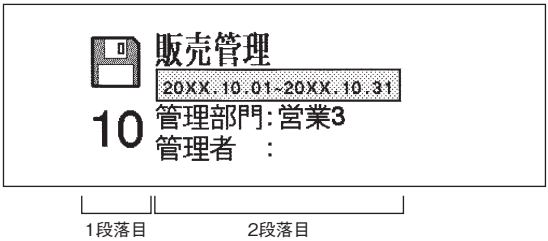
■ **税込値札**..... 値札に最適です。（推奨テープ幅：18～24mm）

■ **備品管理票**..... 備品管理の表示に最適です。（推奨テープ幅：18～24mm）

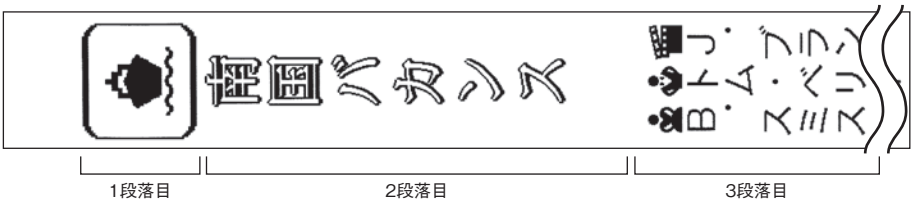
■ **CDケース**..... CDケースの背ラベルに最適です。（推奨テープ幅：4mm）



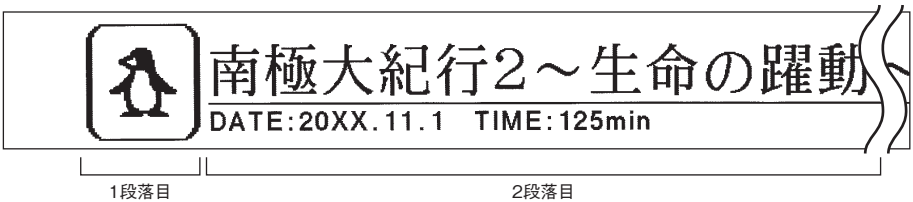
■ **FD・MO** ..... FDやMOのラベルに最適です。（推奨テープ幅：18～24mm）



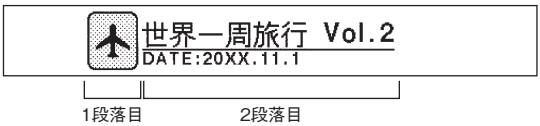
■ **VHS（縦）**..... VHSビデオテープのたて書きラベルに最適です。（推奨テープ幅：18mm）



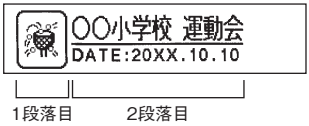
■ **VHS（横）**..... VHSビデオテープのよこ書きラベルに最適です。（推奨テープ幅：18mm）



■ **8mmビデオ**..... 8mmビデオのラベルに最適です。（推奨テープ幅：9mm）

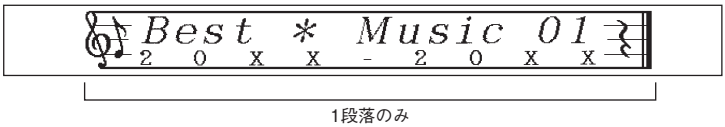


■ **ミニDV** ..... ミニDV（デジタルビデオ）のラベルに最適です。（推奨テープ幅：9mm）

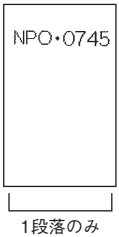


■ **MD** ..... MDのタイトルラベルに最適です。（推奨テープ幅：4mm）

■ **音楽テープ/DAT** ..... 音楽テープやDATのタイトルラベルに最適です。（推奨テープ幅：9mm）



■ **ケーブル** ..... 24mm幅ケーブル表示ラベル専用のフォームです。（推奨テープ幅：24mm）



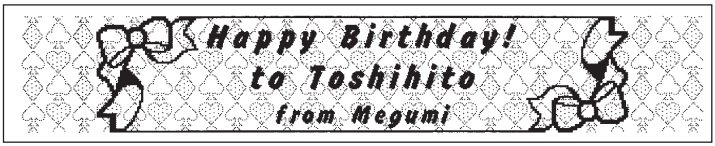
■ **注意！** ..... 注意喚起表示、警告表示に最適です。（推奨テープ幅：9～24mm）

■ **禁止！** ..... 禁止表示に最適です。（推奨テープ幅：9～24mm）

■ **メッセージ**..... インパクトのあるメッセージに最適です。（推奨テープ幅：9～24mm）

1段落目　2段落目

■ **誕生祝い**..... 誕生祝いの表示に最適です。（推奨テープ幅：9～24mm）



1段落のみ

■ **住所＆氏名**..... 住所、氏名の表示に最適です。（推奨テープ幅：12～24mm）

1段落目　2段落目

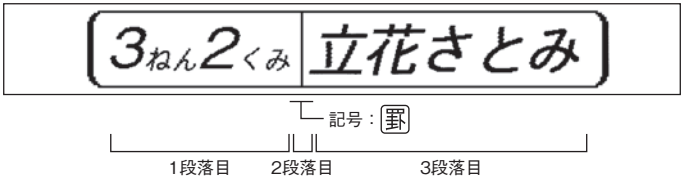
■ **なまえ（縦）**..... 名札や表札に最適です。（推奨テープ幅：6～24mm）

1段落目　2段落目

■ **なまえ（横）**..... 名札や表札に最適です。（推奨テープ幅：6～24mm）

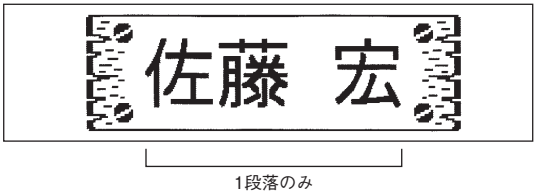
1段落目　2段落目

■ **学校持ち物**..... 持ち物表示に最適です。（推奨テープ幅：4～24mm）



■ **お祝い**..... お祝いのラベルに最適です。（推奨テープ幅：9～24mm）

■ **銘板**..... 名札や表札に最適です。（推奨テープ幅：4～24mm）



■ **QR携帯１** ..... 携帯電話で読取ると電話帳に登録できるＱＲコードです。（推奨テープ幅：24mm）

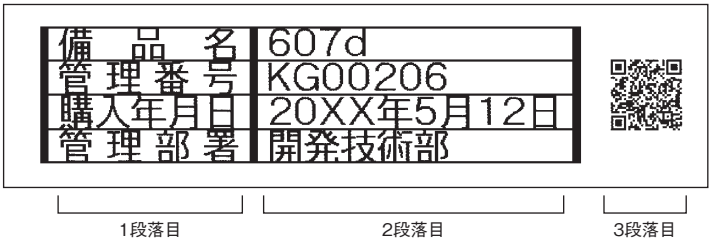
■ **QR携帯２** .....携帯電話で読取ると電話帳に登録できるＱＲコードです。（推奨テープ幅：24mm）

■ **QR携帯３** ..... 携帯電話で読取ると電話帳に登録できるＱＲコードです。（推奨テープ幅：24mm）

MEMO

- QRコードを含むフォームは、QRコードの内容も合わせて変更してください。
- 「QR携帯1」、「QR携帯2」、「QR携帯3」のQRコードは、それぞれDoCoMo、au、Vodafoneの携帯電話での読み取り、登録に対応しています（2006年7月現在）。QRコードの読み取り、登録については、携帯電話の取扱説明書などを参照してください。
- QRコードの内容や誤り訂正レベルを変更する場合は、QRコードマーク（▣）の直後（右側）にカーソルを合わせ、（シフト）を押しながら（らく²）（＝連番・QR・バーコード）を押してください。
参照☞P.118「QRコードを印刷する」

■ **QR備品管理**... 備品管理の表示に最適です。（推奨テープ幅：18～24mm）



●特殊フォーム

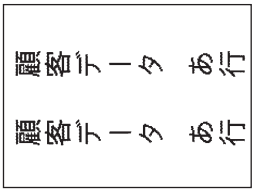
!! 注意 !!

- 特殊フォームを呼び出すと、テキスト画面に入力した文章は消えてしまいます。特殊フォームを呼び出す前に、必要な文章はファイルに登録してください。
  参照☞P.89「ファイルを登録する」
- 入力内容にある「おもて」「うら」や「入力」、「1枚目」、「2枚目」は入力の案内をするためのガイドであり、画面上に表示されるだけで印刷はされません。
- 特殊フォームで作成した文章は、ファイル登録できません。

MEMO

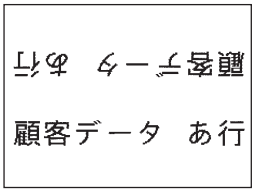
特殊フォームでも(シフト)を押しながら(削除取消)(＝消去)を押すと、入力した内容の全文消去ができます。

■ **見出し（縦）**...たて書きのインデックスに最適です。



24mm幅テープ（長さ3.2cm）の印刷見本

■ **見出し（横）**...よこ書きのインデックスに最適です。



24mm幅テープ（長さ3.2cm）の印刷見本

入力内容

おもて［ 顧客データ␣あ行
　うら［ 顧客データ␣あ行

指定可能な機能		文字モードのすべての機能	
入力条件	入力可能な行数	2行（おもて1行、うら1行）	
	入力可能な文字数	各行27文字	
印刷可能な文字数		長さ1.8cm	各行4文字
		長さ3.2cm	各行8文字
		長さ6.0cm	各行17文字
		長さ8.0cm	各行23文字
		長さ11cm	各行27文字

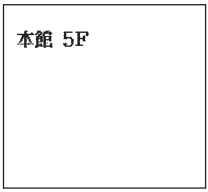
!! 注意 !!

- 印刷可能な文字数は、文字モードを指定しない状態での文字数です。「飾り字」や「伸・縮」などを指定すると、印刷可能な文字数は変わります。また英数字のプロポーショナル対応文字を含む場合も印刷可能な文字数は変わります。ただし、入力可能な文字数は27文字までです。
- 文字間で「密着」を選ぶと「中寄せ」の状態で印刷されます。
- 文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは「定長→字余り」が表示されます。(選択改行)または(印刷)以外のボタンを押して印刷を中止し、文字数を減らすか、「伸・縮」で文字を小さくしてください。そのまま(選択改行)または(印刷)を押すと、定長を解除して印刷します。
- 4mm幅、6mm幅のテープには印刷できません。

MEMO

「おもて」の行で(選択改行)を押すと、「おもて」の行に入力した内容が「うら」の行に自動的にコピーされます。

■ **ケーブル用**.....ケーブル表示ラベル用の特殊フォームです。24mm幅テープに対応しています。



24mm幅テープ
（長さ2.6cm）1行
の印刷見本

入力内容
入力［ 本館␣5F

指定可能な機能		文字モードのすべての機能	
入力条件	入力可能な行数	1行	
	入力可能な文字数	20文字	
印刷条件	印刷可能な行数	1行（24mm幅テープ時）	
	印刷可能な文字数	長さ2.6cm	10文字
		長さ5.0cm	20文字

!! 注意 !!

印刷可能な文字数は、文字モードを指定しない状態での文字数です。「飾り字」や「伸・縮」などを指定すると、印刷可能な文字数は変わります。また、英数字のプロポーショナル対応文字を含む場合も、印刷可能な文字数が変わります。ただし、入力可能な文字数は20文字までです。

MEMO

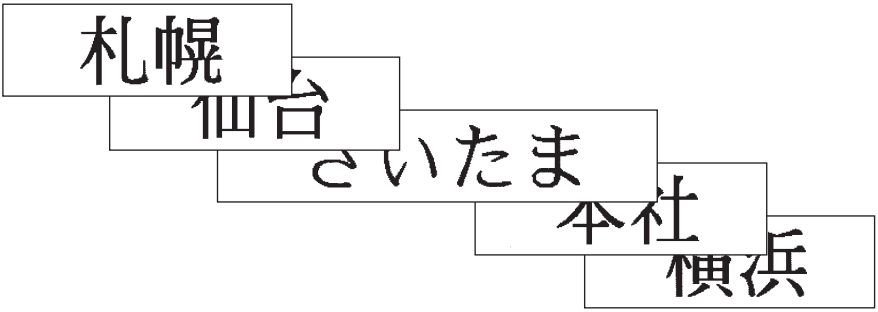
文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは「定長→字余り」が表示されます。
選択改行 または 印刷 以外のボタンを押して印刷を中止し、文字数を減らすか、「伸・縮」で文字を小さくしてください。そのまま 選択改行 または 印刷 を押すと、定長を解除して印刷します。

参考

「ケーブル用」には、ケーブル表示ラベル
印刷部分を汚れなどから保護する「セルフラミネート」タイプ。
白エリアに印刷し、透明エリアを巻きつけることによりラミネートできます。
SV24K: 24mm幅（ケーブル径　φ2.1mm～φ5.4mm用）

「見出し（縦/横）」には、インデックスラベル
キングファイルのインデックス表示に最適。
ミシン目入りラベルなので、折りやすくキレイに貼れます。
STY24KM：インデックス山に貼り付けるタイプです（24mm幅　透明つや消し）。
SSY24K・SCY24R・SCY24Y・SCY24G・SCY24B：
書類などに直接貼り付けるタイプです（24mm幅　白、赤、黄、緑、青）。

■ 複数ラベル..... 1行のラベルを複数枚同時に印刷します。



12mm幅テープの印刷見本

入力内容
1枚目［ 札幌
2枚目［ 仙台
3枚目［ さいたま
4枚目［ 本社
5枚目［ 横浜

指定可能な機能		文字モードのすべての機能
入力・印刷条件	ラベル数	最大10枚
	行数	1行
	文字数	文章全体で約175文字

MEMO

- 入力した各行が、それぞれ印刷するラベルに対応しています。行の終わりで［選択改行］を押すと、新しいラベルに入力できます。
- 段落スタイルと文章書式、文字モードは保存値の設定で印刷します。

活用編

～「テプラ」をさらに活用しよう～

「入力した文章を保存しておきたい」
「あて名や名前のラベルを作りたい」
「外字を登録したい」
こんなときは、ファイル機能や外字機能を活用します。

文章を呼び出す・登録する（ファイル）

作成した文章をファイルとして登録しておけば、必要に応じて呼び出し、変更や印刷ができます。ファイルには、文字とレイアウトなどラベルの状態がそのまま登録されます。

ファイル メニュー

ファイルボタンのメニュー一覧（太字は購入時の初期設定値です。）

メニュー	最初の選択肢	機能	参照ページ
ファイル ▶	**登録**	作成した文章を保存します	P.89
	呼出	登録した文章を呼び出します	P.90
	消去	登録した文章を消去します	P.91
	複写	登録した文章を別のファイルに複写します	P.91
印刷履歴 ▶	**呼出**	最近印刷した文章を呼び出します	P.92
	消去	印刷履歴を消去します	P.92
あて名 ▶	**登録**	あて名を登録します	P.94
	修正	登録したあて名を修正します	P.95
	消去	登録したあて名を消去します	P.95
	複写	登録したあて名を複写します	P.96
	印刷	登録したあて名ラベルを印刷します	P.96
名前 ▶	**登録**	名前を登録します	P.99
	修正	登録した名前を修正します	P.100
	消去	登録した名前を消去します	P.100
	印刷	登録した名前ラベルを印刷します	P.101
辞書 ▶	**登録**	辞書を登録します	P.102
	消去	登録した辞書を消去します	P.103

MEMO

- ファイルとあて名、名前は、同じエリアに保管されています。本機には、約5,000文字（最大で99個のファイル、ファイル名を含む）を登録することができますが、たくさんの文章をファイルしていたり、あて名を登録していると、登録できるファイルの件数が少なくなります。
- データがいっぱいで登録できない場合は「メモリー満員」と表示されます。不要なファイルやあて名、名前を削除してください。

ファイルを登録する

❶ ファイル を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

❷

ファイル
ファイル
印刷履歴

「ファイル」を選び、選択改行 を押す

❸

ファイル
登録
呼出

「登録」を選び、選択改行 を押す

❹

ファイル登録
ファイル０２

← ↑ ↓ → で登録番号を選び、選択改行 を押す

❺

ファイル名登録
ファイル名［

ファイル名を入力し、選択改行 を押す

15文字まで入力できます。入力しなくても登録できます。

❻

登録確認０２
1ラベルライタ
2「 テプラ 」P

内容を確認し、選択改行 を押す

「登録実行」と表示されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- ファイル番号は数字ボタンでも選択できます（手順❹）。
- 操作を途中でやめるときは、削除取消 または ファイル を押し、操作を戻します。
- ファイルは99件まで登録できます。
- データがいっぱいで登録できない場合は「メモリー満員」と表示されます。不要なファイルやあて名、名前を削除してください。
- 本機には、約5,000文字（最大で99個のファイル、ファイル名を含む）を登録することができますが、ファイル、あて名、名前は登録エリアが共有のため、たくさんのあて名や名前を登録していると、登録できるファイルの件数が少なくなります。
- 特殊フォームの文章は登録できません。

ファイルを呼び出す

現在のテキスト画面の文章を置き換える「上書き呼出」と、現在の文章に別段落で挿入する「連結呼出」があります。
「上書き呼出」を選ぶと、テキスト画面の文章は全消去され、呼び出したファイルの文章と置き換わります。「連結呼出」を選ぶと、カーソルのある段落の直後に新しい段落として呼び出したファイルの文章が挿入されます。ただし、カーソルが段落1の1行目の行頭マークにある場合は、カーソルのある段落の前に、新しい段落として呼び出したファイルの文章が挿入されます。

❶ **ファイルを押す**

「ファイル」メニューが表示されます。

❷

ファイル
ファイル
印刷履歴

「ファイル」を選び、選択改行を押す

❸

ファイル
登録
呼出
消去

「呼出」を選び、選択改行を押す

❹

呼出し？02
1ラベルライタ
2「テプラ」P

で番号を選び、選択改行を押す

❺

呼出確認02
1ラベルライタ
2「テプラ」P

内容を確認し、選択改行を押す

❻

上書き／連結
上書き呼出
連結呼出

「上書き呼出」「連結呼出」のいずれかを選び、選択改行を押す

文章が呼び出され、テキスト画面に表示されます。

!! 注意 !!

- 「上書き呼出」を選ぶと、テキスト画面で作成していた文章は失われ、復活できません。必要な文章は先にファイルに登録してください。
- 「連結呼出」の場合は、連結によって入力できる文章の制限をオーバーしても、そのまま呼び出します。オーバーした部分は自動的に文末から削除されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- ファイル番号は数字ボタンでも選択できます（手順❹）。
- 操作を途中でやめるときは、削除取消または ファイル を押し、操作を戻します。
- テキスト画面に文章がない状態で呼び出した場合は、手順❺で文章が呼び出されます。

ファイルを消去する

❶ ファイル を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

❷ ファイル
ファイル
印刷履歴

「ファイル」を選び、選択改行 を押す

❸ ファイル
呼出
消去
複写

「消去」を選び、選択改行 を押す

❹ 消去？ ０２
1ラベルライタ
2「 テプラ 」P

← ↑ ↓ → で番号を選び、選択改行 を押す

❺ 消去確認 ０２
1ラベルライタ
2「 テプラ 」P

内容を確認し、選択改行 を押す

← ↑ ↓ → で文章を確認できます。

❻ 消去？ ０２

選択改行 を押す

ファイルが消去されます。

!! 注意 !!

消去したファイルは復活できません。

ファイルを複写する

❶ ファイル を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

❷ ファイル
ファイル
印刷履歴

「ファイル」を選び、選択改行 を押す

❸ ファイル
消去
複写

「複写」を選び、選択改行 を押す

❹ 複写元？ ０２
1ラベルライタ
2「 テプラ 」P

← ↑ ↓ → で複写元の番号を選び、選択改行 を押す

❺ 複写確認 ０２
1ラベルライタ
2「 テプラ 」P

内容を確認し、選択改行 を押す

← ↑ ↓ → で文章を確認できます。

❻ 複写先？
ファイル０３

← ↑ ↓ → で複写先の番号を選び、選択改行 を押す

❼ 複写実行？
０２→０３

内容を確認し、選択改行 を押す

文章とファイル名が複写されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- ファイル番号は数字ボタンでも選択できます（手順❹、複写操作の手順❻）。
- 操作を途中でやめるときは、削除取消 または ファイル を押し、操作を戻します。

最近印刷した文章を呼び出す

本機は、最近印刷した文章を最大5つまで記憶しており、ファイル登録をし忘れた場合でも呼び出せます。

印刷履歴を呼び出す

❶ ファイル を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

❷

ファイル
ファイル
印刷履歴
あて名

「印刷履歴」を選び、選択改行 を押す

❸

印刷履歴
呼出
消去

「呼出」を選び、選択改行 を押す

❹

呼出し？ 2
1ラベルライタ
2「 テプラ 」P

← ↑ ↓ → で文章を選び、選択改行 を押す

❺

呼出確認 2
1ラベルライタ
2「 テプラ 」P

内容を確認し、選択改行 を押す

文章が呼び出され、テキスト画面に表示されます。

!! 注意 !!

- 印刷履歴を呼び出すと、直前まで作成していた文章は失われ、復活できません。必要な文章は先にファイルに登録してください。
- 特殊印刷や特殊フォーム印刷などは印刷履歴の対象になりません。
- 文字数の多い文章の場合、履歴件数が5件にならないことがあります。また、QRコードを含むなど、ラベルの情報量によっては印刷履歴に記録されないことがあります。

印刷履歴を消去する

❶ ファイル を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

❷

ファイル
ファイル
印刷履歴
あて名

「印刷履歴」を選び、選択改行 を押す

❸

印刷履歴
呼出
消去

「消去」を選び、選択改行 を押す

❹

消去？ 2
1ラベルライタ
2「 テプラ 」P

← ↑ ↓ → で文章番号を選び、選択改行 を押す

❺

消去確認 2
1ラベルライタ
2「 テプラ 」P

内容を確認し、選択改行 を押す

❻

消去？ 2

選択改行 を押す

印刷履歴が消去されます。

!! 注意 !!

消去した印刷履歴は復活できません。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- ファイル番号は数字ボタンでも選択できます（手順❹）。
- 操作を途中でやめるときは、削除取消 または ファイル を押し、操作を戻します。

名前や語句を登録する（あて名/名前/辞書）

あて名ラベルを作る

あて名として郵便番号や住所、名前などを登録しておくと、あて名ラベルをまとめて印刷できます。

■登録できる項目とあて名ラベル

101－0031
東京都千代田区東神田二丁目10番18号
株式会社キングジム 開発部
山岸 正樹 様

項目	入力内容	入力可能文字
〒番号（郵便番号）	［101-0031	8文字
住所1	［東京都千代田区東神田二丁目10番18号	20文字
住所2	［	20文字
会社	［株式会社キングジム	20文字
部署	［開発部	20文字
氏名	［山岸　正樹	20文字
〒▮（カスタマバーコード）	［10100312-10-18	20文字

バーコードに入力した内容は、カスタマバーコードとして印刷されます。
参照 P.97「カスタマバーコードについて」
本機内に登録できるあて名は約5,000文字（最大99件のあて名）です。

!! 注意 !!

- あて名ラベルは24mm幅テープに対応しています。
- 郵便番号に入力した先頭の5桁に対応する住所を、「住所1」に自動的に入力できます。郵便番号変換は、2006年3月時点のデータをもとにおこなっています。そのため、お客様が入力したい住所が候補として表示されない場合もありますのであらかじめご了承ください。

MEMO

あて名印刷時は、「御中」または「様」が自動的に付きます。あて名登録時に氏名を入力しないと、会社名または部署名の後ろに「御中」、氏名まで入力すると氏名の後ろに「様」が付きます。

氏名入力あり：「様」が付きます

101－0031
東京都千代田区2

株式会社キングジム
開発部
山岸 正樹 様

氏名入力なし：「御中」が付きます

101－0031
東京都千代田区2

株式会社キングジム
開発部 御中

あて名を登録する

❶ ファイル を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

❷

ファイル
印刷履歴
あて名
名前

「あて名」を選び、選択改行 を押す

❸

あて名
登録
修正

「登録」を選び、選択改行 を押す

❹

あて名登録０１
〒番号［
住所１［

← ↑ ↓ → で登録番号を選び、選択改行 を押す

❺

あて名登録０１
号［１０１
１［

郵便番号を入力する

4桁目を入力すると、自動的にハイフン（－）が挿入されます。

❻ 変換スペース を押す

郵便番号に対応する都道府県と市区町村名の候補が表示されます。

❼

あて名登録０１
京都千代田区
１０１－００

地名が正しいときは、選択改行 を押す

地名が違うときは、← ↑ ↓ → で適切な地名を選びます。

❽ 住所1を入力し、選択改行 を押す

❾ 住所2、会社名、部署名、氏名を入力し、選択改行 を押す

❿

あて名登録０１
１０－１８

必要に応じてカスタマバーコードを入力する

カスタマバーコードの項目で 変換スペース を押すと、郵便番号が自動的に入力されます。続けて住所部分を入力します。

参照☞P.97「カスタマバーコードについて」

⓫ 全項目入力後、選択改行 を押す

「登録実行」と表示されます。

MEMO

- 未入力の項目があっても登録できます。
- ネガ文字があるときは操作できません。
- 登録番号は数字ボタンでも選択できます（手順❹）。
- 項目入力中に 選択改行 を押すと、カーソルが次の項目へ移動します。カスタマバーコードの項目で 選択改行 を押すと、あて名を登録できます。
- 操作を途中でやめるときは 削除取消 または ファイル を押し、操作を戻します。
- たくさんの文章をファイルしていたり、あて名を登録していると、登録できるあて名の件数が少なくなります。データがいっぱいで登録できない場合は「メモリー満員」と表示されます。不要なファイルやあて名、名前を削除してください。

あて名を修正する

❶ ファイル を押す

❷「あて名」を選び 選択改行 を押す

❸

あて名
　登録
　修正
　消去

「修正」を選び、
選択改行 を押す

❹

あて名修正０１
　株式会社キ
　山岸␣正樹
　東京都千代

← ↑ ↓ → で番号を選び、
選択改行 を押す

❺

あて名登録０１
１０－１８

内容を修正し
選択改行 を押す

カスタマバーコードの項目で 選択改行 「修正実行」と表示されます。

MEMO

項目入力中に 選択改行 を押すと、カーソルが次の項目へ移動します。カスタマバーコードの項目で 選択改行 を押すと、あて名を登録できます。

あて名を消去する

❶ ファイル を押す

❷「あて名」を選び 選択改行 を押す

❸

あて名
　修正
　消去
　複写

「消去」を選び、
選択改行 を押す

❹

消去？　０１
　株式会社キ
　山岸␣正樹
　東京都千代

← ↑ ↓ → で番号を選び、
選択改行 を押す

❺

消去確認０１
　株式会社キ
　山岸␣正樹
　東京都千代

内容を確認し、
選択改行 を押す

← → で文章を確認できます。

❻

消去？　０１

選択改行 を押す

あて名が消去されます。

!! 注意 !!

消去したあて名は復活できません。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 登録番号は数字ボタンでも選択できます（手順❹）。
- 操作を途中でやめるときは、削除取消 または ファイル を押し、操作を戻します。

あて名を複写する

❶ ファイル を押す

❷「あて名」を選び、選択改行 を押す

❸
あて名
消去
複写
印刷

「複写」を選び、選択改行 を押す

❹
複写元？01
株式会社キ
山岸 正樹
東京都千代

で複写元の番号を選び、選択改行 を押す

❺
複写確認 01
株式会社キ
山岸 正樹
東京都千代

内容を確認し、選択改行 を押す

で文章を確認できます。

❻
複写先？02

で複写先の番号を選び、選択改行 を押す

❼
複写実行？
01→02

内容を確認し、選択改行 を押す

あて名が複写されます。

あて名ラベルを印刷する

❶ ファイル を押す

❷「あて名」を選び、選択改行 を押す

❸
あて名
複写
印刷

「印刷」を選び、選択改行 を押す

❹
あて名印刷
一部
全部

印刷する範囲を選び、選択改行 を押す

一部：1件のみ印刷

全部：すべてを印刷

「全部」を選んだ場合は、印刷がはじまります。

「一部」の場合は次の手順であて名を選びます。

❺
印刷？ 01
株式会社キ
山岸 正樹
東京都千代

で番号を選び

選択改行 を押す

あて名が印刷されます。

!! 注意 !!

- あて名ラベルは24mm幅テープに対応しています。
- カスタマバーコード付きのあて名ラベルを印刷するときは、バーコードリーダーで読み取りやすい白ラベルに黒文字のテープで作成することをおすすめします。

MEMO

あて名印刷時は、「御中」または「様」が自動的に付きます。あて名登録時に氏名を入力しないと、会社名または部署名の後ろに「御中」が、氏名まで入力すると氏名の後ろに「様」が付きます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 登録番号は数字ボタンでも選択できます（手順❹）。
- 操作を途中でやめるときは 削除取消 または ファイル を押し、操作を戻します。

カスタマバーコードについて

郵便局では、郵便番号とあて名を合わせた情報からバーコードを作成し、処理していますが、差出し側があらかじめバーコードを印刷することもできます。このバーコードを「カスタマバーコード」といいます。
本機では、郵便番号と住所表示番号を入力するだけで、「カスタマバーコード」を印刷することができます。

MEMO

- 「カスタマバーコード」は印刷する義務はありません。
- 「カスタマバーコード」は7桁郵便番号時のみご利用いただけます。
- 「カスタマバーコード」、「カスタマバーコード割引き制度」などの利用についての詳細は、お客様の配達を受け持つ郵便局におたずねください。

カスタマバーコード指定の基本ルール

カスタマバーコードを印刷する場合、「あて名登録」の「カスタマバーコード（〒▮▮▮▮▮）」欄に「郵便番号」+「住所表示番号」を入力します。基本ルールを以下に示します。

例：**千葉県鎌ヶ谷市右京塚**
東3 丁目20-5　鈴木・A&b コーポB604 号

❶ **住所データを次のAとBの部分に分割する**
住所A：「郵便番号」で指定される町域名まで
住所B：町域名以降の住所

❷ **住所Aを郵便番号に置き換える**
（「-」（ハイフン）は省略）

❸ **住所Bにあるアルファベットの小文字は大文字に置き換える**

❹ **データ内にある以下の文字は取り除き、後ろのデータを詰める**
「＆」（アンパサンド）「／」（スラッシュ）「･」（中黒）「.」（ピリオド）

❺ **❸および❹で処理したデータから、算用数字、ハイフンおよび連続していないアルファベットを抜き出す**

❻ **抜き出された文字の前にある下記の文字等は、ハイフン1文字に置き換える**
「漢字」、「かな文字」、「カナ文字」、「漢数字」、「空白」、「2文字以上連続したアルファベット文字」

❼ **❻の置き換えで、ハイフンが連続する場合は1つにまとめる**

❽ **先頭がハイフンの場合は取り除く**

❾ **アルファベットの前後にある（－）を取り除く**

❿ **❷で処理したデータに❾で処理したデータをつなげる**

	郵便番号	住所B
	XXX-XXXX	東3丁目−20−5 鈴木・A&bコーポB604号
（❷の処理）	XXXXXXX	
（❸の処理）		東3丁目−20−5 鈴木・A&Bコーポ B604号
（❹の処理）		東3丁目−20−5 鈴木ABコーポB604号
（❺の処理）		3　−20−5　B604
（❻の処理）		東 丁目　鈴木ABコーポ
「−」に置き換え		
（❻の処理後）		−3−−20−5−B604
（❼の処理）		−3−20−5−B604
（❽の処理）		3−20−5−B604
（❾の処理）		3−20−5B604
（❿の処理）	XXXXXXX3−20−5B604	

カスタマバーコードの記入例

- **漢数字が「丁目」「丁」「番地」「号」「地割」「線」「の」「ノ」の前にある場合は、住所Bとし、算用数字に変換して指定します。**

例： 東京都青梅市河辺町十一丁目六番地一号
永井タワー601
郵便番号：xxx-xxxx
住所B：十一丁目六番地一号永井タワー601
バーコード［xxxxxxx11-6-1-601

例： 北海道帯広市稲田町南七線西28
郵便番号：xxx-xxxx
住所B：七線西28
バーコード［xxxxxxx7-28

- **連続していないアルファベットは指定しますが、算用数字に続くアルファベット1文字「F」（ビル等の階数表示の略）については指定しません。**
もし、「F」以降に指定対象となるデータがある場合は、「F」はハイフンに置き換えます。

例： 茨城県日立市宮田町6丁目7-14
ABCビル2F
郵便番号：xxx-xxxx
住所B：6丁目7-14ABCビル2F
バーコード［xxxxxxx6-7-14-2

例： 茨城県日立市宮田町6丁目7-14
ABCビル2F201号室
郵便番号：xxx-xxxx
住所B：6丁目7-14ABCビル2F201号室
バーコード［xxxxxxx6-7-14-2-201

- アルファベットの前後にあるハイフンは取り除きます。また、アルファベットの前後にあるハイフンを取り除いた結果、アルファベットが2文字以上連続してもアルファベットは取り除きません。

例： 神戸市中央区港島中町9丁目7-6
南シティA棟1F1号
郵便番号：xxx-xxxx
住所B：9丁目7-6南シティA棟1F1号
バーコード［xxxxxxx9-7-6A1-1

例： 京都府綾部市青野町綾部6-7
LプラザB106
郵便番号：xxx-xxxx
住所B：6-7 LプラザB106
バーコード［xxxxxxx6-7LB106

- **バーコードの合計桁数が20文字を超えた場合、以降の文字については切り捨てます。**

例： 札幌市中央区南四条西29丁目1524-23
第2山瀬ハウス501
郵便番号：xxx-xxxx
住 所B：29丁 目1524-23第2山 瀬 ハ ウ ス
501
バーコード［xxxxxxx29-1524-23-2-

MEMO
本機ではバーコードは20文字まで入力できます。

名前を登録する

名前データを登録します。名前は名前番号01～40（40件）の番号に順に登録します。
名前は、グループに登録し、1件だけで印刷することも、グループでまとめて印刷することもできます。

わたなべのりひろ
渡辺了洋

❶ ファイル を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

❷
ファイル
あて名
名前
辞書

「名前」を選び、選択改行 を押す

❸
名前
登録
修正

「登録」を選び、選択改行 を押す

❹
名前登録01
氏［渡辺
名［了洋

名前（氏と名）を入力し、選択改行 を押す

各7文字まで入力できます。

❺
ふりがな修正
［わたなべ
［のりひろ

ふりがなを確認し、選択改行 を押す

必要に応じてふりがなを修正します。

❻
グループ登録
グループ無
グループ1

登録するグループを選び、選択改行 を押す

グループに登録しない場合は「グループ無」を選びます。

❼
登録確認01
渡辺了洋
わたなべのり
グループ無

内容を確認し、選択改行 を押す

「名前登録実行」と表示されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、削除取消 または ファイル を押し、操作を戻します。
- たくさんの文章をファイルに登録していたり、あて名を登録していると、登録できる名前の件数が少なくなります。データがいっぱいで登録できない場合は「メモリー満員」と表示されます。不要なファイルやあて名、名前を削除してください。

名前を修正する

❶ ファイルを押す

❷「名前」を選び、選択改行を押す

❸
名前
登録
修正
消去

「修正」を選び、選択改行を押す

❹
ふりがな
はまやらわ英

名前の1文字目の行（あ行～わ行）を選び、選択改行を押す

先頭文字がアルファベットのときは「英」、かな･英数以外の場合は「他」を選択します。

❺
ふりがな
さわだけん
わたなべの
わたらいさ

で名前を選び、選択改行を押す

❻
確認？
渡辺了洋
わたなべのり
グループ無

内容を確認し、選択改行を押す

で文章を確認できます。

❼
名前修正
氏［渡
名［了

内容を修正する

名前、ふりがな、グループをそれぞれ修正します。

名前を消去する

❶ ファイルを押す

❷「名前」を選び、選択改行を押す

❸
名前
修正
消去
印刷

「消去」を選び、選択改行を押す

❹
ふりがな
はまやらわ英

名前の1文字目の行（あ行～わ行）を選び、選択改行を押す

先頭文字がアルファベットのときは「英」、かな･英数以外の場合は「他」を選択します。

❺
ふりがな
さわだけん
わたなべの
わたらいさ

で名前を選び、選択改行を押す

❻
確認？
渡辺了洋
わたなべのり
グループ無

内容を確認し、選択改行を押す

で文章を確認できます。

❼
消去確認
渡辺了洋
わたなべのり
グループ無

消去を確認し、選択改行を押す

❽
消去？

選択改行を押す

名前が消去されます。

!! 注意 !!

消去した名前は復活できません。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、削除取消または ファイル を押し、操作を戻します。

名前ラベルを印刷する

名前は、1件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて印刷できます。
また、印刷時に「おこのみ印刷」を選ぶと、書体やラベルの長さ（定長）などを指定できます。

❶ **ファイルを押す**

❷ **「名前」を選び、選択改行を押す**

❸

名前
消去
印刷

「印刷」を選び、選択改行を押す

❹

名前印刷
一部
全部

印刷する範囲を選び、選択改行を押す

一部：1件のみ印刷
全部：すべての名前を印刷
グループ1/2：選択したグループ内のすべての名前を印刷
「全部」または「グループ」を選んだ場合は、ラベル指定の画面になります（手順❽）。
「一部」の場合は次の手順で名前を選びます。

❺

ふりがな
はまやらわ英

名前の1文字目の行（あ行～わ行）を選び、選択改行を押す

先頭文字がアルファベットのときは「英」、かな･英数以外の場合は「他」を選択します。

❻

ふりがな
さわだけん
わたなべの
わたらいさ

←↑↓→で名前を選び、選択改行を押す

名前のふりがなが5文字まで表示されます。

❼

確認？
渡辺了洋
わたなべのり
グループ無

内容を確認し、選択改行を押す

←→で文章を確認できます。

❽

ラベル指定
おまかせ
おこのみ

そのまま印刷する場合は「おまかせ」を選び、選択改行を押す

「おこのみ」を選ぶと、定長印刷、書体、飾り字、ふりがなの有無が指定できます。

❾

おまかせ印刷
印刷実行？

「印刷実行？」を選び、選択改行を押す

名前ラベルが印刷されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、削除取消または ファイル を押し、操作を戻します。

!! 注意 !!

4mm幅テープでは「ふりがな」が入力されていても、名前1行のラベルが印刷されます。

9mm幅テープ（「ふりがな」あり）

わたなべのりひろ
渡辺了洋

9mm幅テープ（「ふりがな」なし）

渡辺了洋

4mm幅テープ

渡辺了洋

変換できない語句を登録する（辞書の登録）

難しい人名や熟語など一度に漢字変換することが難しい「語句」を辞書登録しておくと、通常の漢字変換と同じ操作で、簡単に変換できます。辞書には、最大30個登録できます。

例：「特許出願書（とっきょしゅつ）」を登録する

❶ ファイル を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

❷

「辞書」を選び、選択改行 を押す

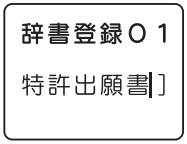
❸

「登録」を選び、選択改行 を押す

❹

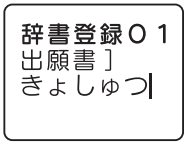
← ↑ ↓ → で登録番号を選び、選択改行 を押す

❺



語句を入力し、選択改行 を押す

❻



読みをひらがなで入力し、選択改行 を押す

「読み」はひらがなのみ入力できます。
語句が登録されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、削除取消 または ファイル を押し、操作を戻します。
- 登録できる「語句」の文字数は5文字以内、「読み」の文字数は16文字以内です（濁音、半濁音は2文字分）。入力できる文字数を超えると、超えた分は自動的に文末から削除されます。
- 登録済みの辞書と同じ「語句・読み」で登録しようとすると、「辞書にあり！」と表示され、登録できません。違う「語句・読み」を入力してください。
- 辞書登録では文章書式・段落スタイル・文字モード・連番・バーコードの登録はできません。
- 辞書には漢字だけでなく、記号・外字・英数字・英記号も登録できます。

語句を呼び出す

登録した語句は、通常の漢字変換と同じように呼び出すことができます。

❶

「とっきょしゅつ」を入力し、変換スペース を押す

辞書登録した語句が変換候補として表示されます。

❷

「特許出願書」になっている状態で、選択改行 を押す

「特許出願書」が確定されます。

辞書の語句を修正する

例:「読み」の「とっきょしゅつ」を「とくしゅつ」に変える

❶ ファイル を押す

❷「辞書」を選び、選択改行 を押す

❸
辞書
登録
消去

「登録」を選び 選択改行 を押す

❹
辞書登録０１
特許出願書
とっきょし

← ↑ ↓ → で番号を選び、選択改行 を押す

登録した語句が表示されます。

❺
辞書登録０１
特許出願書]
とくしゅつ

内容を修正し、選択改行 を押す

修正した辞書が登録されます。

辞書の語句を消去する

❶ ファイル を押す

❷「辞書」を選び、選択改行 を押す

❸
辞書
登録
消去

「消去」を選び、選択改行 を押す

❹
消去？ ０１
特許出願書
とくしゅつ

← ↑ ↓ → で番号を選び、選択改行 を押す

❺
消去確認０１
語句 [特
読み [と

内容を確認し、選択改行 を押す

← → で文章を確認できます。

❻
消去実行？

選択改行 を押す

辞書が消去されます。

!! 注意 !!

消去した辞書の語句は復活できません。

MEMO

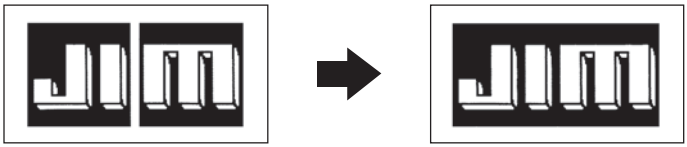
- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、削除取消 または ファイル を押し、操作を戻します。

外字を使う

自分でデザインしたマークや会社のロゴ、対応していない漢字や内蔵されていない文字、記号は、外字として登録すると、文中に入力し印刷できます。

外字は正方形です。横長のロゴタイプなどは複数の外字に切り分けて登録し、「文字モード」で文字間を「密着」に指定すると、つながったロゴとして印刷できます。

外字2つに分けて登録（文字間「ふつう」）　　文字間「密着」



MEMO

外字は4文字まで登録できます。

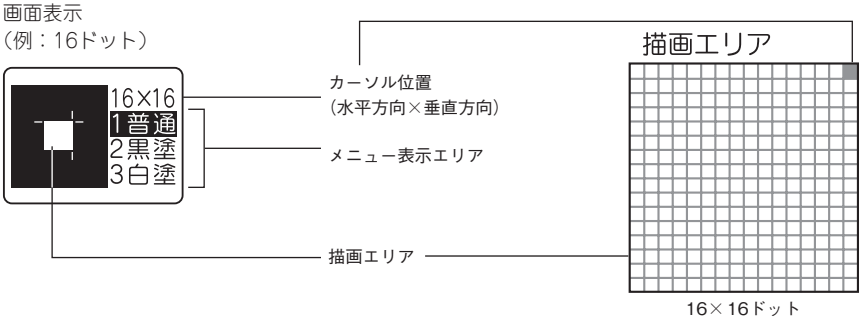
概要

外字を登録するときは、1つの外字について、16・24・32・48ドットの4段階の大きさの字形データを作成します。これは、複数の文字サイズを美しく印刷するためです。
ただし、4段階すべての外字を始めから作る手間をなくすため、最初に16ドットのデータを入力すると、これをもとに自動的に拡大して24・32・48ドットの字形データを作り、あとから細部を補正して作るしくみになっています。

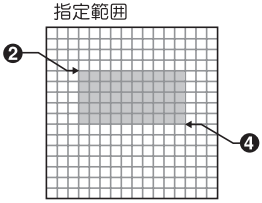
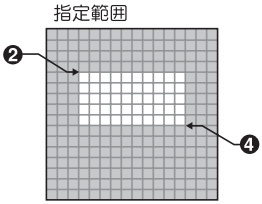
画面表示と描画方法

外字の作成は、方眼紙のマス目を埋めていくような作業です。画面に表示された描画エリアを方眼紙に見立て、点（ドット）を塗りつぶしていきます。

画面表示
（例：16ドット）



描画方法（メニュー表示エリアで選択）
描画方法（メニュー）には、1ドットずつ塗りつぶす「普通」のほか、ブロックで黒く塗りつぶす「黒塗」、ブロックで白く塗りつぶす「白塗（＝消去）」があり、それぞれ数字ボタン1/2/3で選択します。

メニュー	描画方法	手順
普通	1つ1つの点（ドット）ずつ塗りつぶす	❶ 1を押す。 メニュー「1普通」がネガ表示されます。 ❷ ←↑↓→で塗りつぶすドットにカーソルを移動する。 ❸ シフトを押す。 カーソル位置が黒く塗りつぶされます。もう一度押すと、白く塗りつぶされます。
黒塗	広い範囲のブロックを黒く塗りつぶす 指定範囲  	❶ 2を押す。 メニュー「2黒塗」がネガ表示されます。 ❷ ←↑↓→で塗りつぶす範囲の一方の頂点にカーソルを移動する。 ❸ シフトを押す。 ❹ ←↑↓→で対角線上のもう一方の頂点にカーソルを移動する。 ❺ シフトを押す。手順❷と❹で指定した範囲全体が黒く塗りつぶされます。
白塗	広い範囲のブロックを白くする（消す） 指定範囲  	❶ 3を押す。 メニュー「3白塗」がネガ表示されます。 ❷ ←↑↓→塗りつぶす範囲の一方の頂点にカーソルを移動する。 ❸ シフトを押す。 ❹ ←↑↓→で対角線上のもう一方の頂点にカーソルを移動する。 ❺ シフトを押す。手順❷と❹で指定した範囲全体が白く塗りつぶされます。

外字を作成し、登録する

例：外字番号「2」に「」を登録する

❶ 記号 を押す

「記号」メニューが表示されます。

❷ 記号 外字

「外字」を選び、選択改行 を押す

❸ 記号 外字 登録

「登録」を選び、選択改行 を押す

❹ 登録 2

← ↑ ↓ → で登録番号を選び、選択改行 を押す

❺ 16×16 1普通 2黒塗 3白塗

16ドットのデータを描画する

シフト と ← ↑ ↓ → で描画します。

参照 P.105「画面表示と描画方法」

❻ 16ドットの描画が終わったら、選択改行 を押す

16ドットのデータをもとに、24･32･48ドットのデータが自動的に拡大作成されます。

❼ 24×24 1普通 2黒塗 3白塗

24・32・48ドットのデータを補正する

手順❺と同様の操作で、拡大されたデータを補正します。選択改行 を押すと、次のサイズの描画に移ります。

!! 注意 !!

24～48ドットすべてのデータを補正しないと、きれいに印刷されません。

❽ 48ドットの描画が終わったら、選択改行 を押す

「外字登録完了」と表示されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、削除取消 または 記号 を押し、操作を戻します。

外字を修正する

例：外字番号「2」の48ドットデータを修正する

❶ 記号 を押す

❷「外字」を選び、選択改行 を押す

❸

「修正」を選び、選択改行 を押す

❹

← ↑ ↓ → で番号を選び、選択改行 を押す

16ドットの描画画面が表示されます。

❺

48ドットの描画画面が表示されるまで選択改行 を押す

❻ 48ドットのデータを修正する

参照☞P.105「画面表示と描画方法」

❼ 選択改行 を押す

外字が修正されます。

外字を呼び出す

❶ 記号 を押す

❷「外字」を選び、選択改行 を押す

❸

「呼出」を選び、選択改行 を押す

❹

← ↑ ↓ → で番号を選び、選択改行 を押す

カーソル位置に外字が入力されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 登録番号は数字ボタンでも選択できます（手順❹）。
- 操作を途中でやめるときは、削除取消 または 記号 を押し、操作を戻します。

外字を複写する

❶ 記号 を押す

❷「外字」を選び、選択改行 を押す

❸ 記号　外字
　　複写

「複写」を選び、選択改行 を押す

❹ 複写元2

← ↑ ↓ → で複写元の番号を選び、選択改行 を押す

❺ 複写先3

← ↑ ↓ → で複写先の番号を選び、選択改行 を押す

❻ 複写元2↓先3

内容を確認し、選択改行 を押す

外字が複写されます。

外字を消去する

❶ 記号 を押す

❷「外字」を選び、選択改行 を押す

❸ 記号　外字
　　消去

「消去」を選び、選択改行 を押す

❹ 消去2

← ↑ ↓ → で番号を選び、選択改行 を押す

❺ 消去2

内容を確認し、選択改行 を押す

外字が消去されます。

!! 注意 !!

消去した外字は復活できません。消去された外字が文章などに使われていた場合、その外字は空白として印刷されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 登録番号は数字ボタンでも選択できます（手順❹）。
- 操作を途中でやめるときは、削除取消 または 記号 を押し、操作を戻します。

外字を参照作成し、登録する

参照登録・参照修正は、本機で入力できる文字や記号のデータから外字を作成します。

●参照登録 テキストの文字（記号）を呼び出し、16ドットを修正します。修正された16ドットの文字（記号）を自動拡大（24→32→48ドット）しながら外字を作成します。	●参照修正 テキストの文字（記号）を呼び出し、16・24・32・48ドットの各サイズでテキストの文字（記号）を呼び出しそれぞれ修正し、外字を作成します。

基本の操作は外字の登録、修正と同じように操作しますが、参照登録・参照修正の場合は、はじめにテキスト画面に参照したい文字（記号）を入力しておきます。

例：「記号」の「生き物」の「🐭」にヒゲをつけて「🐭」にする

❶

参照する文字（記号）を入力し、カーソルをその後ろ（右側）に合わせる

MEMO

- 連番、バーコード、編集記号、半角スペース、外字、イラストは参照できません。
- 参照できる文字は、テキスト画面でカーソルの左側にある1文字だけです。

❷ **記号を押す**

❸ **「外字」を選び、選択改行を押す**

❹

「参照登録」または「参照修正」を選び、選択改行を押す

❺

←↑↓→で登録番号を選び、選択改行を押す

❻

データを修正する

参照文字が16ドットで表示されるので、これをもとに修正します。

参照 P.105「画面表示と描画方法」

❼ **16ドットの描画が終わったら、選択改行を押す**

自動的に拡大作成されます。

❽ **24・32・48ドットのデータを補正する**

選択改行を押すと、次のサイズの描画に移ります。

❾ **48ドットの描画が終わったら、選択改行を押す**

「参照登録完了」と表示されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、削除取消または記号を押し、操作を戻します。

読みのわからない漢字を入力する

「読み」のわからない漢字は、漢字検索機能で部首の読み・画数による検索や、コードによる入力ができます。入力できるコードの種類は区点コード、JISコード、シフトJISコードです。

MEMO

本書には区点コード表を掲載しております。部首、JISコード、シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書もしくはコード表をご参照ください。

参照☞P.159「漢字変換表」

漢字検索メニュー一覧

シフトを押しながら記号（＝漢字検索）を押すと以下のメニューが表示されます（太字は購入時の初期設定値です）。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
漢字検索			
コード ▶ 句点コードを入力して漢字を呼び出します。参照☞P.111	**コード検索** ▶ コード	漢字検索	
部首読み ▶ 部首の読みで漢字を検索します。参照☞P.112	**部首読み** ▶ 読み	**部首選択** ▶	漢字検索
部首画数 ▶ 部首の画数で漢字を検索します。参照☞P.112	**部首画数** ▶ 画数	**部首選択** ▶	漢字検索

コードで入力する

「読み」のわからない漢字を、コードで入力できます。
入力できるコードの種類は区点コード、JISコード、シフトJISコードです。

MEMO

本書には区点コード表を掲載しております。JISコード、シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。
参照☞P.159「漢字変換表」

例：「お休み處」と入力する

❶ 1お休み

ネガ文字がないことを確認する

❷ 入力したい漢字「處」のコードを調べる

コードの種類は区点コード、JISコード、シフトJISコードのいずれでもかまいません。
處…4961（区点コード）
参照☞P.159「漢字変換表」

❸ シフトを押しながら記号（＝漢字検索）を押す

「漢字検索」メニューが表示されます。

❹

漢字検索
コード
部首読み

「コード」を選び、選択改行を押す

❺

處
コード 4961
處 普

コードを押す

4、9、6、1を押します。

最後の数字を押すと、コードに対応した漢字の候補が表示されます。
コードを入力すると、目的の文字以外の文字も表示されることがあります。例えば4961は区点コードでは「處」ですが、JISコードでは「普」です。このように異なるコードにも対応した漢字があるときは、候補が複数表示されます。

❻ 1お休み處

「處」を選び、選択改行を押す

カーソル位置に「處」が入力されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、削除取消または記号を押し、操作を戻します。
- コードの入力を間違えたときは削除取消を押して入力しなおしてください。

部首による漢字検索

漢字を部首の読みや画数で検索し、入力できます。

例：「榎（えのき）」（部首：木）を入力する

部首の読みで検索する

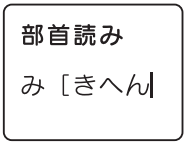
1 **シフトを押しながら記号（＝漢字検索）を押す**

「漢字検索」メニューが表示されます。

2

「部首読み」を選び、選択改行を押す

3



検索する部首の読みをひらがなで入力し、選択改行を押す

「きへん」を入力します。

4

←↑↓→で部首を選び、選択改行を押す

「木」を選択します。
選択した部首の漢字が表示されます。

5

目的の漢字を選び、選択改行を押す

「榎」が入力されます。これで入力完了です。

部首の画数で検索する

1 **シフトを押しながら記号（＝漢字検索）を押す**

「漢字検索」メニューが表示されます。

2

「部首画数」を選び、選択改行を押す

3

検索する部首の画数を入力し、選択改行を押す

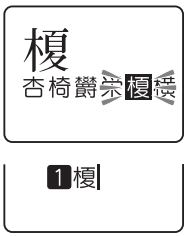
画数は4を押します。

4

←↑↓→で部首を選び、選択改行を押す

「木」を選択します。
選択した部首の漢字が表示されます。

5



目的の漢字を選び、選択改行を押す

「榎」が入力されます。これで入力完了です。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、削除取消または記号を押し、操作を戻します。
- 部首読みで入力できる読みは16文字までです。
- 部首画数で入力できる数字は1～23です。0もしくは24以上は入力できません。

連番やバーコードを印刷する

シフトを押しながららく²（＝連番･QR･バーコード）を押すと、連続番号やバーコードが入力できます。

連番・バーコードメニュー一覧

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
連番・バーコード				
連続番号 ▶	**1桁** ▶	**×桁連番** ▶	**繰返し回数**	
連続番号 連番の入ったラベルを作ります。 参照 P.114	2桁 ▶	初期値	**1回** 2回 3回 4回 5回 10回	
バーコード ▶	JAN-8 ▶	**全体の幅** ▶		
バーコード バーコードの入ったラベルを作ります。 参照 P.116	JAN-13 ▶	小さめ **ふつう** 大きめ		
	QRコード ▶	**用途** ▶	**セルサイズ** ▶	**誤り訂正率** ▶
		一般 URL	大 **中** 小	**7%** 15% 25% 30%
	ITF ▶	**全体の幅** ▶	**細・太の比率** ▶	**C／D** ▶
	NW-7 ▶	小さめ **ふつう** 大きめ	2.0 **2.5** 3.0	あり **なし**
	UPC-A ▶	**全体の幅** ▶		
	UPC-E ▶	小さめ **ふつう** 大きめ		

連番を印刷する

数字または英字の部分だけが異なる複数のラベルを作る場合、連続番号を指定すると、1枚印刷するたびに、自動的に加算して印刷します。
連続番号には「1桁」「2桁」があります。連続番号を印刷するときは、初期値と繰り返し回数（1、2、3、4、5、10回）を指定します。繰り返し回数では同じ数字を何回繰り返すかを指定します。

例：2桁連番で4、5、6…の入ったラベルを2 枚ずつ作る

❶ **連番を入れる位置にカーソルを合わせる**

❷ **シフトを押しながららく²（＝連番・QR・バーコード）を押す**

「連番･バーコード」メニューが表示されます。

❸

「連続番号」を選び、選択改行を押す

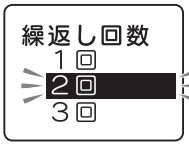
❹

「2桁」を選び、選択改行を押す

❺

初期値に「4」を入力し、選択改行を押す

❻



繰り返し回数「2回」を選び、選択改行を押す

連番（連番マーク²N+数値エリア「4」）が入力されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、削除取消または らく²を押し、操作を戻します。
- 初期値には、「1桁」の場合は英数字1桁、「2桁」の場合は数字を2桁まで入力できます。
  テキスト画面での連番マークは、「1桁」が ¹N、「2桁」が ²Nになります。

❼ 印刷 を押す

「4」の1枚目のラベルが印刷されます。

顧客リスト　4

❽ 印刷 を押す

繰り返し回数「2回」を指定しているので、2枚目の「4」のラベルが印刷されます。

顧客リスト　4

印刷後、数値入力エリアの番号が加算され「5」になります。

❾ 印刷 を押す

「5」の1枚目のラベルが印刷されます。

顧客リスト　5

以降、同様に繰り返します。

MEMO

- 連番の初期値に指定できるのは、「1桁」の場合は、数字の0～9とアルファベットのA～Z、a～zです。「2桁」の場合は、数字の0～9または00～99です。小数点やマイナスは指定できません。
- 「1桁」の場合、1、2、3、4…と9まで数字が1つずつ繰りあがります。英字の場合、A(a)、B(b)、C(c)、D(d) とアルファベット順に1つずつ繰りあがります。

  「1桁」で数字の場合

  1、2、3、… 8、9、0、1、…

  「1桁」で英字の場合

  A、B、C、… X、Y、Z、A、…
- 「2桁」の場合、1、2、3、4…と99(または、01、02、03、04…と99) まで数字が1つずつ繰りあがります。

  「2桁」で初期値が1桁の場合

  1、2、3、… 9、10、… 98、99、0、1、…

  「2桁」で初期値が2桁の場合

  01、02、03、… 09、10、… 98、99、00、01、…
- 1つの文章に入力できる連番は、バーコードと合わせて3個までです。
- 連番の初期値や繰り返し回数を変更する場合は、連番の直後（右側）にカーソルを合わせ、シフト＋らく2（＝連番・QR・バーコード）を押してください。「連番・バーコード」メニューが表示されます。以降の指定方法は、入力手順と同じです。
- 連番を削除するときは、連番の直後（右側）にカーソルを合わせ、削除取消を押します。
- 連番（連番マーク1N、2N＋数値エリア）にも、通常の文字と同様に、文字モード、段落スタイルの編集機能を指定できます。
- 連番指定された文章を連続印刷すると、連続番号の入ったラベルを枚数分印刷することができます。

参照☞P.121「同じラベルを連続して印刷する（ぞく2）」

バーコードを印刷する

各種規格に準じたバーコードを印刷することができます。

印刷できるバーコードの規格と指定できる項目

規格	全体の幅 小さめ/ふつう/大きめ	細・太の比率 2.0/2.5/3.0	C/D あり/なし
JAN-13・JAN-8 UPC-A・UPC-E	○	−	−
NW-7・ITF	○	○	○

太字は購入時の初期設定値です。

○：指定可能
−：指定不要
全体の幅：バーコード全体の幅
細・太の比率：細いバーと太いバーの太さの比率
C/D：チェックデジットの有無

!! 注意 !!

バーコードを作成する際は、そのバーコードの規則に従って入力してください。

例：「ITF」のバーコード（全体の幅大きめ、細・太の比率3.0、C/Dあり）を印刷する

❶ シフト を押しながら らく² （＝連番・QR・バーコード）を押す

「連番･バーコード」メニューが表示されます。

❷

「バーコード」を選び、選択改行 を押す

❸

「ITF」を選び 選択改行 を押す

❹

「大きめ」を選び、選択改行 を押す

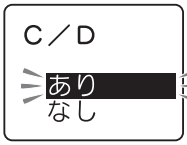
「細・太の比率」が表示されます。

❺

「3.0」を選び、選択改行 を押す

「C/D」が表示されます。

❻



「あり」を選び、選択改行 を押す

バーコードの数値入力画面になります。

❼

数値ボタンでバーコードの数値を入力する

数値が表示されます。右上の網かけ部にはチェックデジットが自動的に発生します。入力できる桁数は規格によって異なります。

❽

選択改行を押す

テキスト画面に戻ります。カーソル位置にバーコードマーク（▥）が表示されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、削除取消または らく² を押し、操作を戻します。
- 1つの文章に入力できるバーコードは、連番と合わせて3個までです。
- バーコードはデータ量が多いため、ファイルに保存するとたくさんのメモリーを使用します。
- バーコードの数値を変更したり、規格などを変更する場合は、バーコードマーク（▥）の直後（右側）にカーソルを合わせ、シフト＋らく²（＝連番・QR・バーコード）を押してください。「連番・バーコード」メニューが表示されます。以降の指定方法は、入力手順と同じです。
- バーコードの数値を修正するときは、数値入力画面で、前の数字を削除してから新しい数字を入力してください。
- バーコードを削除するときは、バーコードマーク（▥）の直後（右側）にカーソルを合わせ、削除取消を押します。
- バーコードマークにも、通常の文字と同様に、段落スタイル、文字モードの機能を指定できますが、反映されるものは以下のとおりです。
  バーコードマークに反映される機能

書式	地紋印刷、定長印刷、余白
段落スタイル	外枠・表組、割付け
文字モード	囲み・網

- 印刷したバーコードは、ご使用になっているお手持ちのバーコードリーダーで読み取りの確認をしてからご使用ください。お手持ちのバーコードリーダーで読み取れない場合は、「全体の幅」や「細・太の比率」を調整し、再度確認してください。
- バーコードの印刷は、バーコードリーダーで読み取りやすい白地に黒文字のテープカートリッジをおすすめします。
- 規格によって入力できる桁数が異なります。ITFとNW-7は1～19桁です。
- ITFは偶数桁数のみの規格です。チェックデジットを「あり」に指定して偶数桁を入力した場合、または「なし」に指定して奇数桁を入力した場合は、1桁目にスペアコード（0）が自動的に発生します。
- UPC-Eのチェックデジットは数値入力画面やバーコードの数字には表示されません。
- NW-7は始めと終わりに「A、B、C、D」のいずれかを入力しなければ、作成したラベルをバーコードリーダーで読み取ることができません。
- バーコードのバーの長さ（線の部分）と数字の長さが一致しないことがありますが、ご使用上問題はありません。

QRコードを印刷する

QRコードは2次元コードの一種で、漢字など通常のバーコードよりも多くの情報を入力できます。

例：携帯電話用の電話帳データ（名前、読み、電話番号など）

入力例「MECARD:N:山岸,正樹;SOUND:ヤマギシ,マサキ;TEL:0301234567;;」
（英数、記号は半角文字です。入力に必要な情報はお使いの携帯電話によって異なります。デザインフォームの「QR携帯1」～「QR携帯3」を参考にしてください。）

❶ シフトを押しながららく²（＝連番・QR・バーコード）を押す

❷「バーコード」を選び、選択改行を押す

❸

バーコード
JAN-13
QRコード
ITF

「QRコード」を選び、選択改行を押す

❹

用途
一般
URL

用途を選び、選択改行を押す

❺

セルサイズ
大
中
小

セルサイズを選び、選択改行を押す

❻

誤り訂正率
7%
15%

誤り訂正率を選び、選択改行を押す

❼ 1行目の内容を入力する

QRコード
1行目 [

一般：複数行が入力できます。

QRコード
URL [h

URL:「ABC入力【半角】」で1行のみ入力できます。あらかじめ「http://www.」が入力されています。

文字の上に線が付いて表示される英数字が半角文字です。

❽ 選択改行を押す

「一般」の場合は「改行」または「終わり？」の選択画面が表示されます。
「URL」の場合は入力完了です。

❾

QRコード
終わり？
改行

次の行を入力する場合は「改行」を、終了する場合は「終わり？」を選び、選択改行を押す

QRコードマーク（）が入力されます。

MEMO

- 誤り訂正率とは、QRコードのよごれ、破損で読み取れなくなったデータを復元する能力です。誤り訂正率を上げると復元能力は向上しますが、QRコードのサイズが大きくなることがあります。
- QRコードでは、半角英数字が入力できます。入力切換を押して入力状態を「ABC入力【半角】」にしてください。用途が「URL」の場合は「ABC入力【半角】」のみとなります。文字の上に線が付いて表示される英数字が半角文字です。
- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、削除取消またはらく²を押し、操作を戻します。
- QRコードには一部記号も入力できます。入力画面で記号を押すことで呼び出せます。
- QRコードが大きい場合、「QRコード大」と表示され、印刷できません。幅の広いテープにする、通常テキストの行数を減らす、セルサイズを小さくする、QRコードの誤り訂正率を低くする、QRコードの文字数を減らす、などの変更をしてください。

MEMO

- QRコードの場合、テープ幅や設定項目により入力可能文字数が異なります。
  QRコードの最大入力可能文字数：

文字サイズ	セルサイズ	誤り訂正率(%)	半角数字(1234…)	半角文字(abcd…)	全角 (あいうえ…)
G	大	7	-	-	-
		15	-	-	-
		25	-	-	-
		30	-	-	-
	中	7	-	-	-
		15	-	-	-
		25	-	-	-
		30	-	-	-
	小	7	41	17	10
		15	34	14	8
		25	27	11	7
		30	17	7	4
U	大	7	-	-	-
		15	-	-	-
		25	-	-	-
		30	-	-	-
	中	7	41	17	10
		15	34	14	8
		25	27	11	7
		30	17	7	4
	小	7	230	106	65
		15	202	84	52
		25	144	60	37
		30	106	44	27
H	大	7	41	17	10
		15	34	14	8
		25	27	11	7
		30	17	7	4
	中	7	127	53	32
		15	101	42	26
		25	77	32	20
		30	58	24	15
	小	7	-	192	118
		15	230	152	93
		25	230	108	66
		30	202	84	52

- 4mm、6mm、9mm幅テープにはQRコードを印刷できません。
- 1つの文章に入力できるQRコードは2個までです。また、1つの文章に入力できるバーコード（QRコードを含む）は、連番と合わせて3個までです。
- 文字サイズインジケーターのG～H部分が点滅している場合、「QRコード大」が表示され、印刷できません。以下の操作をおこなってください。
  ・QRコードの誤り訂正率を低くする。　・QRコードの文字数を減らす。
- コードの内容やセルサイズ、誤り訂正率を変更する場合は、QRコードマーク（▣）の直後（右側）にカーソルを合わせ、シフトを押しながららく²（＝連番・QR・バーコード）を押してください。「連番・バーコード」メニューが表示されます。以降の指定方法は作成操作と同じですが、「用途」やバーコードの規格を変更すると、入力されていたコードの内容は失われます。
- QRコードの情報量によっては、印刷履歴に記録されないことがあります。

特殊な印刷（ぞく2、でか2）

ぞく2でか2を押すと、連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷などの特殊な印刷を指定できます。

特殊印刷メニュー一覧

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
特殊印刷		
連続印刷 ▶	止めるまで **しない** 2枚ぞく2 3枚ぞく2 ： ： 100枚ぞく2	
拡大印刷 ▶	**しない**	
	2倍でか2 ▶	**2/2** 1/2 1/2
	3倍でか3 ▶	**3/3** 1/3 1/3 1/3
	4倍でか4 ▶	**4/4** 1/4 1/4 1/4 1/4
鏡文字印刷 ▶	する **しない**	
印刷実行？		

連続印刷
同じラベルを連続して印刷します。
参照 P.121

拡大印刷
拡大して印刷します。
参照 P.122

鏡文字印刷
鏡像反転して印刷します。
参照 P.124

同じラベルを連続して印刷する（ぞく^2）

同じラベルを指定した枚数分だけ続けて印刷します。

例：**同じラベルを3枚連続して印刷する**

❶ 文章を入力し、ぞく²でか²を押す

「特殊印刷」メニューが表示されます。

❷

特殊印刷
連続印刷
拡大印刷

「連続印刷」を選び、選択改行を押す

❸

連続印刷
2枚ぞく²
3枚ぞく²
4枚ぞく²

「3枚ぞく²」を選び、選択改行を押す

「特殊印刷」メニューに戻ります。

❹

特殊印刷
鏡文字印刷
印刷実行？

「印刷実行？」を選び、選択改行を押す

印刷が開始されます。

1枚目の印刷が終了するとテープがカットされ、同様に2枚目、3枚目が印刷されます。

!! 注意 !!

- 特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。印刷ボタンでは通常の印刷がおこなわれます。
- 連続印刷をするときは、テープ出口付近にラベルがたまらないように注意し、こまめにラベルを取り除いてください。テープ出口付近にラベルをためておくと、同じラベルを再度カットするおそれがあります。
- 印刷途中でテープが終了しても、指定した枚数分の印刷カットをおこないます。刃の磨耗を防ぐため、印刷途中でテープが終了した場合は、削除取消を押して印刷を中止してください。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、削除取消または ぞく²でか²を押し、操作を戻します。
- 「連続印刷」メニューの「止めるまで」を選択した場合、最大100枚まで印刷を続けます。印刷を停止したいときは、いずれかのボタンを押してください。
- 指定した枚数のラベルの全長が16mを超える場合は印刷できません。枚数を減らすか、文字数を減らすなどしてラベルの長さを短くしてください。
- 連番指定された文章を連続印刷すると、連続番号の入ったラベルが枚数分印刷されます。
  例えば、初期値「1」繰り返し回数1回の連番を3枚連続して印刷すると、「1」「2」「3」というラベルが連続して印刷されます。
  参照☞P.114「連番を印刷する」

テープ幅より大きなラベルを作る（でか^2）

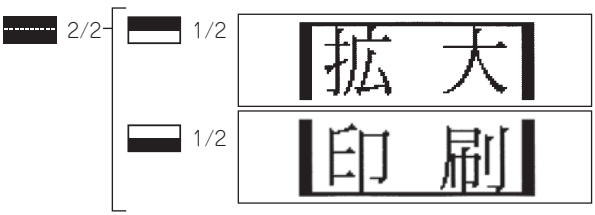
印刷内容を2倍、3倍、4倍に拡大し、部分ごとに分けて印刷することでテープ幅より大きなラベルが作れます。できあがったラベルは貼り合わせて使用してください。

「2倍でか^2」なら上下2枚で1組、「3倍でか^3」なら上中下3枚で1組のラベルになります。
大きさを指定したあとに、「1/2」「1/3」などを選ぶと、1組のうちの該当する部分の1枚だけを印刷できます。

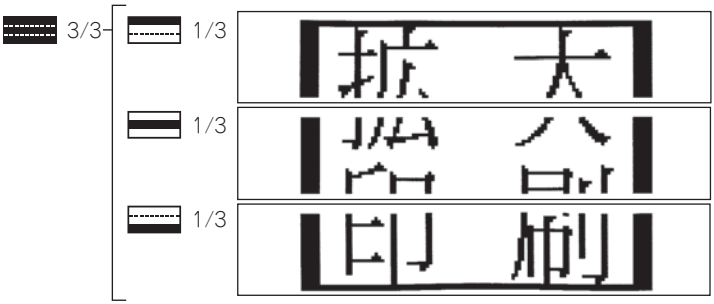
●拡大印刷の種類（サンプルは12mm幅のラベルです）

印刷ボタンによる通常の印刷

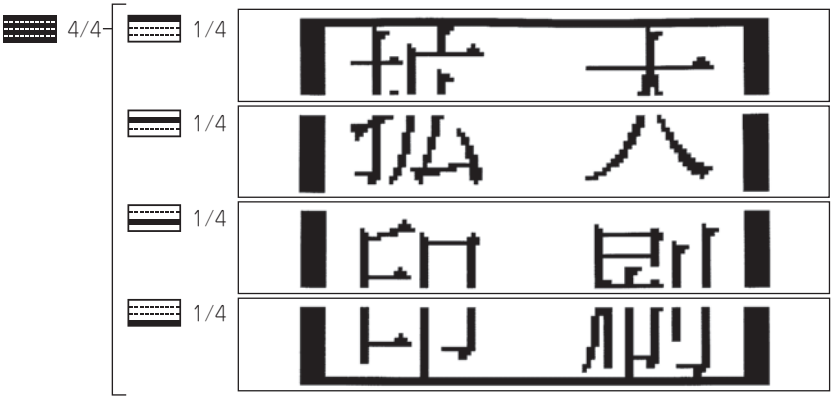
2倍でか^2　2倍拡大



3倍でか^3　3倍拡大



4倍でか^4　4倍拡大



例：3 倍に拡大して印刷をする

❶ 文章を入力し、そく²でか²を押す

「特殊印刷」メニューが表示されます。

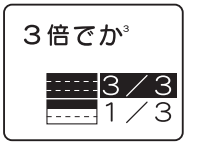
❷

「拡大印刷」を選び、選択改行を押す

❸

「3倍でか³」を選び、選択改行を押す

❹



「3/3」を選び、選択改行を押す

「3/3」が指定され、「特殊印刷」メニューに戻ります。

❺

「印刷実行？」を選び、選択改行を押す

3枚1組のラベルが1枚ずつ印刷されます。

❻ テープを貼り合わせる

上下の余白をカッターなどで切り、貼り合わせてください。

!! 注意 !!

特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。印刷ボタンでは通常の印刷がおこなわれます。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、削除取消または そく²でか²を押し、操作を戻します。
- 「拡大印刷」で作ったラベルを貼り合わせたとき、多少のズレが生じることがあります。
- 長い文章を「拡大印刷」で印刷しようとすると全長が16mを超えて印刷できないことがあります。ラベルの文字数を減らすか、文章の内容を2組に分けるなど指定をしなおしてください。
- 「拡大印刷」は通常の印刷内容を2倍、3倍、4倍にする機能です。そのため、定長印刷を指定した場合に「拡大印刷」をおこなうと、指定した長さの2倍、3倍、4倍のラベルが印刷されます。
- 画面に表示されるテープの長さは、通常の印刷時の長さです。「拡大印刷」で印刷すると、表示される長さの2倍、3倍、4倍の長さのラベルが印刷されます。

拡大印刷	テープ幅	テープ長さ	使用するテープ量
2倍でか²	約2倍	約2倍	約4倍
3倍でか³	約3倍	約3倍	約9倍
4倍でか⁴	約4倍	約4倍	約16倍

例えば「3倍でか²」で印刷をおこなうと、印刷ボタンによる通常の印刷に比べて、幅が約3倍、長さが約3倍のラベルになるので、使用するテープ量は約9倍になります。

参考

カラフルな3倍でか³

「3倍でか³」の上中下をそれぞれ違う色の同じ幅のテープに印刷してカラフルなラベルを作ってみましょう。ただし違う色のテープで印刷をおこなうと、長さが若干異なる場合があります。また、テープカートリッジを入れ換える際にはテープをセットしたあとに、必ずテープ送りをおこなってください。

鏡文字を印刷する

入力した文字を鏡像反転させて印刷します。

●鏡文字印刷

する（鏡像）

しない（正像）

❶ 文章を入力し、そくでか²を押す

「特殊印刷」メニューが表示されます。

❷

特殊印刷
拡大印刷
鏡文字印刷
印刷実行？

「鏡文字印刷」を選び、選択改行を押す

❸

鏡文字印刷
する
しない

「する」を選び、選択改行を押す

「特殊印刷」メニューに戻ります。

❹

特殊印刷
鏡文字印刷
印刷実行？

「印刷実行？」を選び、選択改行を押す

鏡文字ラベルが印刷されます。

!! 注意 !!

特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。印刷ボタンでは通常の印刷がおこなわれます。

MEMO

操作を途中でやめるときは、削除取消または そくでか²を押し、操作を戻します。

印刷設定

シフトを押しながらそくでか（＝印刷設定）を押すと、自動カットの設定や印刷濃度を変更できます。

印刷設定メニュー一覧

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢
印刷設定	
自動カット ▶	**する** しない
自動カット 印刷時の自動カットの有無を設定します。 参照 P.126	
印刷濃度 ▶	-3 : **ふつう** : +3
印刷濃度 印刷の濃さを設定します。 参照 P.127	
リセット ▶	**実行？**
リセット 自動カットと印刷濃度を初期設定値にします。 参照 P.127	

「自動カット」を設定する

本機は、印刷時にラベルを自動的にカットしますが「自動カット/しない」にも設定できます。

!! 注意 !!

本機のカッターでカットできない耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・蓄光ラベル・りぼんを使う場合は、「自動カット/しない」にして印刷してください。

参照☞P.139「テープカートリッジを使いわける」

❶ シフトを押しながらそぐでか（＝印刷設定）を押す

「印刷設定」メニューが表示されます。

❷

印刷設定
自動カット
印刷濃度

「自動カット」を選び、選択改行を押す

❸

自動カット
する
しない

「しない」を選び、選択改行を押す

自動カットが無効に設定され、テキスト画面に戻ります。

以降の印刷は、すべて自動カットされません。カートリッジを取り出してハサミなどでカットしてください。
自動カットを有効にする場合は、手順❸で「する」を選びます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、削除取消または そぐでか を押し、操作を戻します。
- 「自動カット/しない」で印刷したラベルは、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm（りぼんの場合は10mm）程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。
- 「自動カット/しない」の設定でも、「テープ送り」メニューの「送りカット」ではテープをカットすることができます。カット可能なテープに入れ替えた場合など、そのラベルのみ自動でカットしたいときは「送りカット」をおこなってください。
  参照☞P.28「5.テープ送りをする」
- カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
  参照☞巻末「アフターサービスについて」
- 自動カットは全文消去や電源OFFでは初期値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、印刷設定のリセット、本機の初期化をおこなってください。
  参照☞P.127「印刷設定をリセットする」
  参照☞P.132「本機を初期化する」

印刷濃度を調整する

印刷濃度は「-3～ふつう～＋3」の7段階で設定できます。印刷が薄いときや濃いときに調整してください。通常は「ふつう」でご使用ください。

❶ **シフトを押しながらそくでかを押す**

「印刷設定」メニューが表示されます。

❷

「印刷濃度」を選び、選択改行を押す

❸

濃度を調整し、選択改行を押す

印刷濃度が設定されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、削除取消または そくでかを押し、操作を戻します。
- 本機は温度センサーを内蔵しており、印刷ヘッドの温度に合わせて印刷濃度が一定になるように自動調整されます。
- 印刷濃度を「ふつう」以外に設定すると、電池の消耗が激しくなったり、印字がツブレたりカスレたりすることがあります。また、まれにラベルの文字がはがれやすくなることがありますのでご注意ください。
- 耐熱ラベルを使う場合や、上質紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベル・蓄光ラベル・ギフトシールで印字がカスレた場合は「＋3」に設定してください。
  参照 P.139「テープカートリッジを使いわける」
- 印刷濃度は全文消去や電源OFFでは初期値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、印刷設定のリセット、本機の初期化をおこなってください。
  参照 P.127「印刷設定をリセットする」
  参照 P.132「本機を初期化する」

印刷設定をリセットする

自動カットと印刷濃度の設定をご購入時の状態（初期設定値）に戻します。

❶ **シフトを押しながらそくでかを押す**

「印刷設定」メニューが表示されます。

❷

「リセット」を選び、選択改行を押す

❸

「実行？」を選び、選択改行を押す

自動カットと印刷濃度の設定が初期設定値になります。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、削除取消または そくでかを押し、操作を戻します。

環境設定を変更する

環境設定メニュー一覧

シフトを押しながら復活（＝環境設定）を押すと、画面の表示濃度や機能の保存値の設定を変更できます。
（太字は購入時の初期設定値です。）

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
環境設定		
表示濃度 ▶	-5 ： **ふつう** ： +5	
表示濃度 画面表示の濃さを設定します。 参照 P.129		
保存値設定 ▶	地紋印刷 **定長印刷** ▶ 余白 縦・横 文字サイズ 割付け 外枠・表組 書体 飾り字 斜体・強調 伸・縮 囲み・網 文字間 終わり？	詳細な項目を設定できます。設定方法は、通常の文章書式や文字モードなどと同じです。
保存値設定 保存値を設定します。 参照 P.131		
保存値復元 ▶	**実行？**	
保存値復元 保存値を初期設定に戻します。 参照 P.131		

ディスプレイの濃度を調整する

ディスプレイの表示濃度は「-5～ふつう～＋5」の11段階で設定できます。ディスプレイの表示が見にくい場合は、次の手順で調整します。

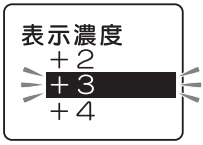
❶ シフトを押しながら復活（＝環境設定）を押す

「環境設定」メニューが表示されます。

❷

「表示濃度」を選び、選択改行を押す

❸



↑ ↓で濃度を調整し、選択改行を押す

初期設定値は「ふつう」に設定されています。

表示濃度が設定され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、削除取消または復活を押し、操作を戻します。
- 表示濃度は、全文消去や電源OFFでは初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。
参照 P.132「本機を初期化する」

各種の初期値（保存値）を設定する

「書体」や「余白」などの保存値を変更することができます。
本機では書式、スタイル、モードボタンを使って、次のような機能を指定することができます。

ボタンの機能

ボタン	指定できる機能
書式	地紋印刷、定長印刷、余白
スタイル	縦・横、文字サイズ、割付け、外枠・表組
モード	書体、飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間

各機能を選ぶと、選択肢が表示されます。表示されたときに選ばれている選択肢が保存値です。よく使う「書体」や「余白」などが、ご購入時の保存値（「初期設定値」と呼びます）とは異なる場合、保存値を変更しておくと、文章を作るたびに書式、スタイル、モードボタンで変更する必要がなくなります。
ラベルには保存値の内容が自動的に反映されるので、例えば、「縦・横」の保存値を「たて書き」に指定しておくと、通常（全文消去直後）は「たて書き」のラベルになります。

なお、変更した保存値は、保存値の復元によって、いつでも初期設定値に戻すことができます。

MEMO
- 各機能の初期設定値についてはP.59「メニュー一覧」を参照してください。
- 書式、スタイル、モードボタンでの指定内容は、全文消去をおこなうと保存値に戻ります。
- ファイルに登録された内容は、ファイル登録時の指定が反映されます。「印刷履歴」で呼び出した内容は、印刷時の指定が反映されます。

!! 注意 !!
保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。
参照☞P.43「すべての文章を消去する」

保存値を変更する

❶ **シフトを押しながら削除取消（＝消去）を押し、全文消去をおこなう**

保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。

参照☞P.43「すべての文章を消去する」

❷ **シフトを押しながら復活（＝環境設定）を押す**

「環境設定」メニューが表示されます。

❸

環境設定
表示濃度
保存値設定
保存値復元

「保存値設定」を選び、選択改行を押す

❹

保存値設定
外枠・表組
書体
飾り字

変更したい項目を選び、選択改行を押す

❺

漢字書体
明朝体
ゴシック
太ゴシック

保存値に設定したい選択肢を選び、選択改行を押す

各項目の設定方法は、通常の文章書式や文字モードなどと同じです。

参照☞P.55「ラベルの見栄えをよくする」

❻

保存値設定
文字間
終わり？

変更したいすべての項目の設定が終わったら、「終わり？」を選び、選択改行を押す

保存値が変更され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、削除取消または復活を押し、操作を戻します。
- 手順❸で「保存値復元」を選択すると、変更した保存値の設定を、ご購入時の保存値（初期設定値）に戻します。

本機を初期化する

!! 注意 !!

- 本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の要因で不具合を起こすことがあります。
- 不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなった場合は、「本機の初期化」をおこなってください。
- 初期化をすれば正常に使えるようになりますが、万一、初期化をおこなっても正常に動作しない場合には、お買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店に修理を依頼してください。
  なお、初期化や、修理、検査をおこなうと、ファイルのデータなど、すべての登録内容や学習内容が失われ、復元はできません。あらかじめご了承ください。

初期化とは

初期化の操作により、本機の設定がすべてご購入時の状態に戻ります。
初期化をおこなう前に、充分に確認してください。

内容 ＼ 機能		初期化	保存値復元（P.131）	全文消去（P.43）	特殊フォームでの全文消去
入力	テキスト画面の文章	●	－*1	●	●
	特殊フォームの文章	●	－	●	●
	入力状態と小文字ロック	●	－	－	－
	「みえ²」の設定	●	－	－	－
データ	ファイルデータ	●	－	－	－
	あて名データ	●	－	－	－
	名前データ	●	－	－	－
	辞書データ	●	－	－	－
	外字データ	●	－	－	－
	印刷履歴	●	－	－	－
設定	自動カットの設定値	●	－	－	－
	印刷濃度の設定値	●	－	－	－
	表示濃度の設定値	●	－	－	－
	各種の保存値	●	●	－	－

● ： ご購入時の状態に戻ります。
－ ： 保持されます。
*1 初期設定値に戻す「保存値復元」をおこなうときには、全文消去をする必要があります。

初期化する

❶ ON/OFFを押して電源を切る

!! 注意 !!

ON/OFFを押しても電源が切れないときには、ACアダプタを抜いて電池も抜きます。次にもう一度ACアダプタを接続、または電池をセットし、再度ON/OFFを押して電源を入れます。
以降は手順❶からの操作で初期化してください。

❷

選択改行と削除取消を押しながらON/OFFを押す

「本体初期化？」が点滅します。

!! 注意 !!

- 初期化をやめるときは選択改行以外のボタンを押してください。
- 本当に初期化しても大丈夫ですか？
  今まで登録したファイルなど、あらゆるデータや学習内容が消去されます。初期化をおこなう前に、充分に確認してください。

❸ 選択改行を押す

「初期化　実行」と表示され、本機の初期化がおこなわれたあと、タイトル画面、ローマ字入力モードが表示され、テキスト画面になります。

活用編

デモ印刷をする

本機が正しく動くかどうか、デモ印刷をして確認することができます。また、書体など本機の機能を参照することができます。

❶

消去
全文消去
段落消去

シフトを押しながら削除取消（＝消去）を押し、全文消去をおこなう

!! 注意 !!

デモ印刷をおこなう前には、全文消去をする必要があります。

参照☞P.43「すべての文章を消去する」

❷

1demo

「demo」と入力する

参照☞P.35「2.英数字を入力する」

❸ **シフトを押しながら変換スペースを押す**

デモ印刷がおこなわれます。

!! 注意 !!

- 4mm幅テープではデモ印刷できません。
- ご使用中に「故障かな？」と思ったときは、このデモ印刷をおこなってください。デモ印刷が見本どおりに印刷されないときは、お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照☞巻末「アフターサービスについて」

MEMO

印刷を途中でやめるときは、削除取消を押します。

見本

6mm幅テープ

ラベルライター「テプラ」PRO　特長　・かしこく変換ATOK搭載　・オートトリマー搭載・QRコードが印刷可能　書体　明朝・ゴシック・太ゴシック・行書・隷書・えれん・ハッピ　あしび・てまり・HV・CR・BR・DL・ST・心電

18mm幅テープ

ラベルライター「テプラ」PRO　特長　・かしこく変換ATOK搭載　・オートトリマー搭載　・QRコードが印刷可能　QR　書体　明朝・ゴシック・太ゴシック・行書・隷書　えれん・ハッピ・あしび・てまり　HV・CR・BR・DL・ST・心電

付録

メニュー一覧

各ボタンで表示される機能は、該当ページを参照してください。

ボタン機能名	表示される機能	参照ページ
シフト＋印刷	テープ送り	P.138
そくぐでか°	特殊印刷	P.120
シフト＋そくぐでか°	印刷設定	P.125
シフト＋らく²	連番・QR・バーコード	P.113
書式	文章書式	P.59
スタイル	段落スタイル	P.60
モード	文字モード	P.63
ファイル	ファイル・印刷履歴・あて名・名前・辞書	P.88
シフト＋ファイル	フォーム	P.76
記号	記号	P.136
シフト＋記号	漢字検索	P.110
シフト＋復活	環境設定	P.128
シフト＋削除取消	消去	P.138

記号メニュー一覧

記号を押すと、記号を入力できます（太字は購入時の初期設定値です）。
選択できる記号は、P.167「記号一覧表」を参照してください。

メニュー		選択肢
記号	**記述** ▶	記号選択
	省略 ▶	
	カッコ ▶	
	矢印 ▶	
	○△□☆ ▶	
	単位 ▶	
	算数 ▶	
	数字 ▶	

付録

メニュー		選択肢
記号	2桁数字 ▶	数値選択
2桁数字 2桁の数字を1文字として入力します。 参照☞P.53	公共表示 ▶ 環境 ▶ 荷物 ▶ 警告用 ▶ 仕事 ▶ スポーツ ▶ 遊び ▶ ビデオ ▶ 音楽 ▶ 生き物 ▶ 乗り物 ▶ 食べ物 ▶ 予定 ▶ 暮らし ▶ シーズン ▶ 家族 ▶ 干支 ▶ 星座 ▶ ギリシャ ▶ 欧州 ▶ 案内記号 ▶ 編集 ▶ 季節風景 ▶ お店 ▶ 学校 ▶ 建設 ▶ 病院 ▶	記号選択
編集 全角スペースや縦罫線を入力します。 参照☞P.36、70		
	イラスト ▶	POP 顔文字 お店 学校 建設 病院
	外字 ▶	登録 修正 呼出 複写 消去 参照登録 参照修正

付録

テープ送りメニュー一覧

シフトを押しながら印刷（＝テープ送り）を押すと、テープ送りや送りカットを実行できます（太字は購入時の初期設定値です）。

メニュー

テープ送り

テープ送り
テープ送りを実行します。
参照 P.28

テープ送り

送りカット

消去メニュー一覧

シフトを押しながら削除取消（＝消去）を押すと、文章全体または段落全体を消去できます（太字は購入時の初期設定値です）。

メニュー

消去

消去
文章または段落を消去します。
参照 P.43、47

全文消去

段落消去

付録

テープカートリッジを使いわける

使用するテープ種類に合わせて、下記の通り対応してください。

	テープ種類	設定方法
オートカッター使用禁止	耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・蓄光ラベル・りぼん	①カッターの刃の摩耗を防ぐため、「自動カット」無効で印刷する。②本機からテープカートリッジを取り出す。③カートリッジ側にテープを3mm（りぼんの場合は10mm）程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットする。 **参照☞P.126「「自動カット」を設定する」**
オートトリマー使用禁止	耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・熱収縮チューブ・上質紙ラベル・マスキングテープ「mt」ラベル・蓄光ラベル・りぼん	トリマーにラベルを差し込まない。
印刷濃度の調整が必要	耐熱ラベル	印刷濃度を「＋3」に設定して印刷する。
	上質紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベル・蓄光ラベル・ギフトシール	印刷がカスレた場合、印刷濃度を「＋3」に設定して印刷する。 **参照☞P.127「印刷濃度を調整する」**
鏡文字の設定が必要	アイロン転写テープ	鏡文字を「する」に設定して印刷する。 **参照☞P.124「鏡文字を印刷する」**

テープカートリッジの詳しい使用方法は、テープカートリッジのパッケージおよび同梱されている取扱説明書をご覧ください。

!! 注意 !!

テープを本機にセットしたら、必ず一度「テープ送り」をしてテープやインクリボンのたるみを取ってください。

参照☞P.28「5.テープ送りをする」

MEMO

- アイロンラベル・アイロン転写テープをご使用の際は、アイロンをご用意ください。
- 熱収縮チューブをご使用の際は、工業用ドライヤーをご用意ください。
- マスキングテープ「mt」ラベルは素材の性質上、一般的な「テプラ」テープに比べ、印刷がカスレやすくなっています。本体の印刷濃度を変えることによりカスレ具合の調整は可能ですが、細かな文字や白抜き文字、網掛け、地紋の印刷などには不向きです。
- マスキングテープ「mt」ラベルはヘッド接触部のインクがテープに転写しないよう、印刷時以外は、カートリッジを本体から取り外してください。
- 転写テープとカットラベルは、本機では使用できません。

パソコンに接続して使う

本機は、USBケーブルでパソコンと接続して、パソコンからラベルのレイアウト編集をおこなうことができます。
※パソコンとの接続には市販のUSBケーブルが必要です（USB2.0/1.1ケーブル A-Bタイプ）。

専用のラベルソフトはWindows向け「PCラベルソフト SPC10」に対応しています。

ラベルソフトは本製品に同梱しておりません。当社ホームページ（http://www.kingjim.co.jp/）からダウンロードいただけます。なお、ダウンロードの際はインターネット環境が必要となります。

本書では、テキストや画像を自由にレイアウトしたり、「流し込み印刷」などの便利な機能をもった「PCラベルソフト SPC10」のセットアップ手順を説明しています。

「PCラベルソフト SPC10」の使用方法についての詳細は、当社ホームページ（http://www.kingjim.co.jp/）をご覧ください。

アプリケーション、プリンタドライバをインストールする

以下のソフトをインストールします。

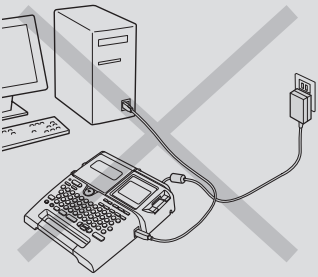
「PCラベルソフト SPC10」	パソコンを利用して画像やイラストを挿入したり「流し込み印刷」などができる、ラベル編集ソフトです。
プリンタドライバ	パソコンから「テプラ」本体で印刷するために必要なソフトです。

インストールできるパソコンの条件（動作環境）は、当社ホームページ（http://www.kingjim.co.jp/）でご確認ください。

!!注意!!

画面で指示されるまで「テプラ」本体をパソコンに接続しないでください。

USBケーブルで接続する場合、画面による指示があるまで「テプラ」本体をパソコンに接続して電源を入れないでください。



「テプラ」本体の接続を指示する画面

- ラベルソフトは本製品に同梱しておりません。当社ホームページ（http://www.kingjim.co.jp/）からダウンロードいただけます。なお、ダウンロードの際はインターネット環境が必要となります。
- 本機にはUSBケーブルは同梱されていません。市販のUSBケーブルをご使用ください（USB 2.0/1.1　ケーブルA-Bタイプ）。
- プリンタドライバをインストールしていない状態で「テプラ」本体をパソコンに接続して電源を入れると、[新しいハードウェアの追加] 画面が表示される場合があります。すぐに［キャンセル］をクリックし、パソコンから「テプラ」本体をはずしてください。
- 本項目は、「PCラベルソフト SPC10」とプリンタドライバのインストールについて説明する内容になっており、Windowsやパソコンの操作については詳しく説明しておりません。また、Windowsやパソコンについて、最低限の操作（マウス操作やファイルの扱いなど）を習得されていることを前提にしておりますので、必要な場合はWindowsやパソコンの説明書をお読みください。
- 本プログラムをご使用になったうえでの故障や不具合、データ損失などにつきましては責任を負いかねますのでご了承ください。
- 1台のパソコンに同じ機種の「テプラ」本体を複数接続する場合、接続する台数分のプリンタドライバが必要になります。2台目以降のプリンタドライバは、別の「テプラ」本体を接続すると自動的にプリンタドライバのコピーが作成されます。このとき新たにインストールされたプリンタドライバの名前には「コピー」がつきます。
- 複数ユーザーで使用する場合はインストール後、一度ログオフしてから「別ユーザー」としてご使用ください。
- インストールの際は、ウィルス対策ユーティリティなどのプログラムを終了してからおこなってください。ラベルソフトが正常にインストールされない場合があります。

❶ パソコンの電源を入れ、Windows を起動する

起動しているソフトウェアがあれば終了してください。ウィルス対策ユーティリティなどのプログラムも終了してください。

❷ 当社ホームページ（http://www.kingjim.co.jp/）から「PC ラベルソフト SPC10」ソフトウェアをダウンロードする

❸ ダウンロードしたファイルをデスクトップなどに保存し、ファイルを解凍したあと、表示されたフォルダ中の SetUp.exe ファイルを実行する

インストールプログラムが起動します。

［ユーザーアカウント制御］の画面が表示された場合は、［続行］または［はい］をクリックし継続してください。

MEMO

右の画面が表示されるときは、既にアプリケーションまたはプリンタドライバがインストールされています。インストール項目を追加する場合は、［機能の追加/変更］で変更できます。
古いバージョンのアプリケーションがインストールされているときは、表示に従いアンインストールしてから本ソフトをインストールしてください。

❹ ［アプリケーションとドライバのインストール］をクリックする

プリンタドライバのみをインストールすることもできますが、ここでは、アプリケーション、プリンタドライバの両方をインストールします。

MEMO

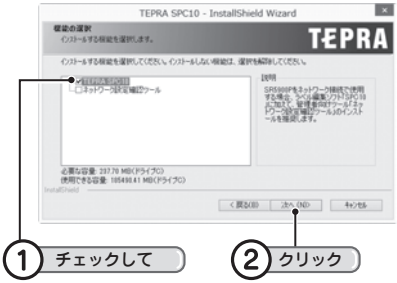
［ドライバのみのインストール］をクリックした場合は、手順❺のあと、手順❾に進みます。

❺ ソフトウェア使用許諾契約の内容を確認して同意する場合は［同意する］をクリックする

同意しない場合は［同意しない］をクリックしてください。インストールは中止されます。

6 「TEPRA SPC10」をチェックし［次へ］をクリックする

インストールが開始されます。



MEMO

「ネットワーク設定確認ツール」のインストールは、本機では不要です。

7 インストール先を確認し、［次へ］をクリックする

インストール先を変更する場合は［参照］をクリックすると変更できます。

8 必要な項目をチェックし［完了］をクリックする

アプリケーションのインストールが終了すると、インストールされたフォント一覧とショートカットの作成を確認する画面が表示されます。
続いてプリンタドライバのインストールに進みます。

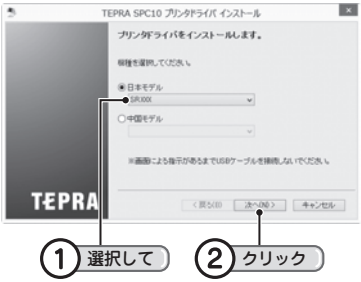
!! 注意 !!

お使いのパソコンの環境によって、プリンタドライバのインストール画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。表示されるまで、しばらくお待ちください。

次へ進みます

⑨ 機種を選択し、［次へ］をクリックする

右側の［▼］をクリックして表示されるリストから SR530 を選択します。



「Windows セキュリティ」の画面が表示された場合は、「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックし継続してください。

⑩ 画面に表示される指示に従って本機をパソコンに接続する

「新しいハードウェア」のインストールが実行されます。しばらくするとインストールが完了し、完了画面が表示されます。

参照 P.146「パソコンと「テプラ」本体を接続する」

MEMO

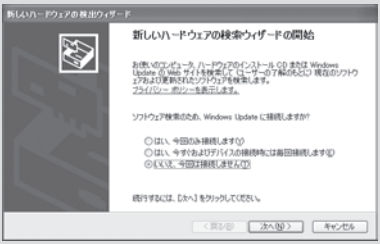
「新しいハードウェア」のインストールが実行されない場合

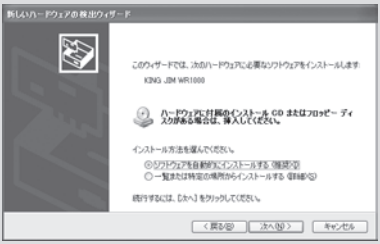
手順⑩の画面が表示されるより前に、USBケーブルを「テプラ」本体とパソコンに接続していると、インストールが正しくおこなわれません。

画面右下の「キャンセル」をクリックしてインストールプログラムを一旦終了したあと、USBケーブルをはずし、再びインストールプログラムを起動させてください。

ハードウェア検出ウィザードが表示された場合

インストール時に、まれに「ハードウェア検出ウィザード」が表示される場合があります。「Windows Updateの接続」では「いいえ、今回は接続しません」を選択します。「インストール方法」は「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択します。





付録

⑪ ［完了］をクリックする

インストールが終了します

!! 注意 !!

プリンタの削除は「プログラムのアンインストール」（または「プログラムの追加と削除」）かインストールプログラムで削除してください。

参照☞P.147「アプリケーション、プリンタドライバをアンインストールする」

付録

パソコンと「テプラ」本体を接続する

本機をパソコンと接続して使用する場合は、以下の手順で、PCリンク状態に切り換えて使用してください。
※パソコンとの接続には市販のUSBケーブルが必要です（USB2.0/1.1ケーブル A-Bタイプ）。

❶ 本機にACアダプタを接続する

❷ 本機にUSBケーブルを接続する

❸ 本機にテープカートリッジをセットする

❹ 本機の（ON/OFF）を押し、電源を入れる

❺ 本機を PC リンク状態にする

パソコンと USB ケーブルで接続した状態で、本機の（PCリンク）ボタンを押して PC リンク状態にします。

以降、「PC ラベルソフト SPC10」の使用方法についての詳細は、当社ホームページ（http://www.kingjim.co.jp/）をご覧ください。

!! 注意 !!

- パソコンにプリンタドライバをインストールしていない状態で本機をパソコンに接続して電源を入れ、（PCリンク）ボタンを押してPCリンク状態にすると、［新しいハードウェアの追加］画面が表示される場合があります。すぐに［キャンセル］をクリックしパソコンから本機をはずして、必ずプリンタドライバをインストールしてからご使用ください。
  参照 P.140「アプリケーション、プリンタドライバをインストールする」
- 1台のパソコンに同じ機種の「テプラ」本体をUSBケーブルで複数接続する場合、接続する台数分のプリンタドライバが必要になります。2台目以降のプリンタドライバは、別の「テプラ」本体を接続すると自動的にプリンタドライバのコピーが作成されます。このとき新たにインストールされたプリンタドライバの名前には「コピー」がつきます。
- USBハブを使用した場合の動作については、保証できません。

アプリケーション、プリンタドライバをアンインストールする

!! 注意 !!

- アプリケーション、プリンタドライバのアンインストールは、必ず下記に記載の手順でおこなってください。
- プリンタドライバをアンインストールするときは、パソコンと「テプラ」本体を接続しているUSBケーブルをはずしてからおこなってください。

❶ 当社ホームページ（http://www.kingjim.co.jp/）から「PCラベルソフト SPC10」ソフトウェアをダウンロードする

❷ ダウンロードしたファイルをデスクトップなどに保存し、ファイルを解凍したあと、表示されたフォルダ中のSetUp.exeファイルを実行する

❸ ［削除］をクリックする

アンインストールの準備が整うと、確認の画面が表示されます。

❹ ［はい］をクリックする

アンインストールが開始されます。

MEMO

ここで［いいえ］をクリックすると、アプリケーションのアンインストールを中止します。

❺ ［完了］をクリックする

SPC10 に関連してアンインストールされたフォント一覧が表示されます。
続いて、プリンタドライバのアンインストールに進みます。

次へ進みます

付録

❻ ［はい］をクリックする

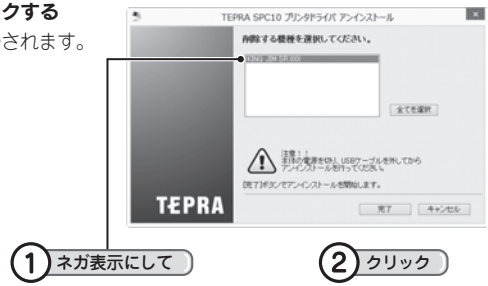
プリンタの選択画面に進みます。

MEMO

ここで［いいえ］をクリックすると、プリンタドライバのアンインストールを中止します。

❼ SR530 をネガ表示にし、［完了］をクリックする

プリンタドライバのアンインストールが開始されます。



❽ ［はい］をクリックする

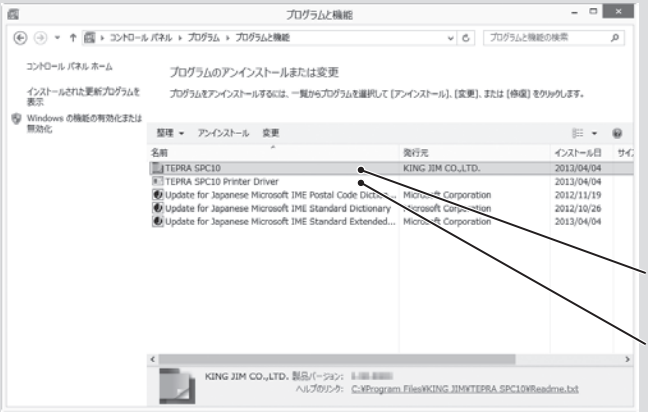
パソコンが再起動されます。

!! 注意 !!

- プリンタドライバをアンインストールした場合は、必ずパソコンを再起動してください。
- プリンタドライバの削除は「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」（または「プログラムの追加と削除」）もしくはインストールプログラムで削除してください。

MEMO

アプリケーションSPC10とプリンタドライバのアンインストールは、[コントロールパネル] ー [プログラムのアンインストール] からでも操作できます。ただし、当社ホームページ（http://www.kingjim.co.jp/）からダウンロードできるファイルからのアンインストールとは異なり、アプリケーション用（TEPRA SPC10）とプリンタドライバ用（PCラベルソフト SPC10プリンタドライバ）と分かれていますので、ご注意ください。



付録

こんな表示が出たときは

ディスプレイが消えたときは

操作を間違えると、ディスプレイが一瞬、消灯します。また、約5分間何も操作をしないと電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します（オート・パワーオフ）。

エラーメッセージが表示されたときは

エラーメッセージ	原因・対処
電池を交換！	電池が消耗しました。電源を切り、すべての電池を新しい単3形アルカリ乾電池に交換してください。または、電池の⊕⊖の向きが間違っている場合があります。電池の⊕⊖の向きを確認してください。また、できるだけ付属のACアダプタを使用してください。 **参照☞P.23「1. ACアダプタを接続する」** **参照☞P.23「2. 電池（別売）を入れて使用するときは」**
上カバーが開いています電源を切ります	電源が入っている状態で上カバーを開くと表示され、電源が切れます。上カバーを閉じ、再度電源を入れてください。
テープ無し！	テープカートリッジがセットされていません。電源を切ってテープカートリッジを正しくセットしてください。 **参照☞P.25「3.テープカートリッジをセットする」**
テープ幅を確認して！	本機で使用できないテープ幅のテープカートリッジをセットしているか、正しい位置にセットされていません。テープカートリッジを確認してください。 **参照☞P.25「3.テープカートリッジをセットする」**
ヘッド過熱！	印刷を連続しておこなったために印刷ヘッドが過熱しています。テープカートリッジを抜いて、印刷ヘッドを冷やすためにしばらく放置してください。
行数オーバー	文章の行数が多すぎて、セットされているテープカートリッジでは印刷や印刷プレビューの表示ができません。または、あて名印刷を24mm幅以外のテープで印刷しようとしました。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、幅の広いテープカートリッジをセットするか、☒の出ている行を削除するか、行数を減らしてください。 **参照☞P.44「テープ幅と印刷できる行数」**
定長→字余り	定長で指定した長さに文章がおさまりません。文字数を減らしたり、文字の大きさを小さくしてください。 **参照☞P.65「定長印刷」**

エラーメッセージ	原因・対処
定長→字余り 強行？	定長で指定した長さに文章がおさまらない状態で[シフト]+[みえ²]（＝プレビュー）や[印刷]を押しています。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字数を減らしたり、文字の大きさを小さくしてください。このまま[選択改行]を押すと、定長を解除してプレビューまたは印刷を強行します。 **参照☞P.65「定長印刷」**
メモリー満員	ファイル・あて名・名前を登録するメモリーがいっぱいで、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、不要なファイル・あて名・名前を消去してください。 **参照☞P.91「ファイルを消去する」**
ファイル無し	ファイルが登録されていない状態で、ファイルの呼び出し、消去、複写の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 **参照☞P.89「ファイルを登録する」**
履歴無し！	印刷履歴がない状態で、印刷履歴の呼び出し、消去の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。
連番・ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ は３個まで！	連番とバーコードは、合わせて3個までしか入力できません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 **参照☞P.113「連番やバーコードを印刷する」**
QRコード は2個まで！	QRコードは、2個までしか入力できません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 **参照☞P.113「連番やバーコードを印刷する」**
ＱＲコード大	QRコードが文字の高さを超える場合に表示されます。幅の広いテープにする、通常テキストの行数を減らす、セルサイズを小さくする、QRコードの誤り訂正率を低くする、QRコードの文字数を減らす、などの変更をしてください。
サイズが指定 されています	段落スタイルの文字サイズが指定されている段落を[らく²]ボタンで自動切り換えしようとしました。この場合は、らく²/均等切換はおこなわれません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 [らく²]ボタンは、文字サイズ「自動」に指定されているときにのみ有効です。
特殊印刷不能	指定した拡大印刷や連続印刷の内容では、長すぎて一度に印刷できるテープの長さ（16m）におさまりません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、拡大印刷や連続印刷の指定内容を変更してください。 **参照☞P.120「特殊な印刷（ぞく²、でか²）」**
あて名無し！	あて名が登録されていない状態で、あて名の修正、消去、複写、印刷の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 **参照☞P.94「あて名を登録する」**
辞書にあり！	辞書登録ですでに登録してある「語句・読み」を再度登録しようとしました。この場合は、その登録は行われずテキスト画面に戻ります。
登録辞書無し	辞書が登録されていない状態で、辞書の消去の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 **参照☞P.102「変換できない語句を登録する（辞書の登録）」**

エラーメッセージ	原因・対処
名前無し！	名前が登録されていない状態で、名前の修正、消去、印刷の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 **参照☞P.99「名前を登録する」**

MEMO

上記項目を確認しても解決しないときは、当社お客様相談室までご相談ください。
参照☞巻末「アフターサービスについて」

故障かな？と思ったら

MEMO
パソコンと接続しているときの問題は、PCラベルソフトの取扱説明書も参照してください。

正常な動作をしない

本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の原因で不具合を起こすことがあります。
不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなったときは、「本機の初期化」をしてください。
参照☞P.132「本機を初期化する」

ON/OFFを押してもディスプレイに何も表示されない

● **ACアダプタはしっかりと接続されていますか？**
本機のACアダプタ差込み口とコンセントにしっかりと接続してください。
参照☞P.23「1.ACアダプタを接続する」

● **電池は正しくセットされていますか？**
電池の向きが⊕⊖逆にセットされていると電源はONになりません。電池ケースの中に刻印されている向きに、全ての電池が正しくセットされているか確認してください。
参照☞P.23「2.電池（別売）を入れて使用するときは」

● **専用ACアダプタ以外のACアダプタを使用していませんか？**
同梱のACアダプタ（AC1116J）以外のACアダプタをご使用になると、本機の回路を損傷したり、過熱するなど大変に危険です。

● **電池が消耗していませんか？**
消耗した電池を使用していると、電源が入らないことがあります。新しい電池と交換してください。

● **ディスプレイの表示濃度は適切ですか？**
ディスプレイの表示濃度によっては表示が見えないときがあります。ディスプレイが見にくいときは、表示濃度を調整することができます。
参照☞P.129「ディスプレイの濃度を調整する」

キーボードが動作しない

● **ディスプレイに「PC通信可能」と表示されていませんか？**
「PC通信可能」のときは、パソコンからの操作が優先されます。「テプラ」本体でラベルを作るときは、PCリンクを押してPCリンクを解除してください。

ディスプレイが消える

● **オート・パワーオフ機能ではありませんか？**
本機では、5分間以上操作をしないと、電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します。（オート・パワーオフ）

● **上カバーが開いていませんか？**
本機では上カバーを開くと、保護回路のはたらきで電源が切れます。

● **操作を間違えませんでしたか？**
本機では、ボタン操作を間違えると、ディスプレイが一瞬、消灯します。

印刷を押しても何も印刷されない

● **文章が入力されていますか？**
テキスト画面に何も入力されていないと印刷はされません。

● **ディスプレイにメッセージが表示されていませんか？**
エラーメッセージが表示されていると印刷されません。
参照☞P.150「こんな表示が出たときは」
準備中と表示されているときは、しばらくお待ちください。

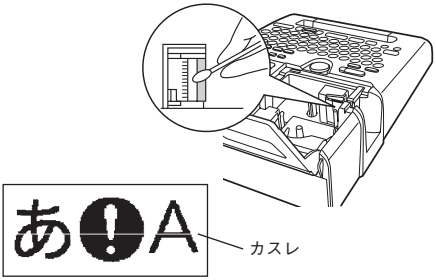
● **消耗していないテープカートリッジが正しくセットされていますか？**
テープカートリッジのテープがなくなっていたり、上カバーが正しく閉じていないと印刷できません。テープカートリッジを正しくセットし、上カバーをしっかり閉じてください。
参照☞P.25「3.テープカートリッジをセットする」

● **オートトリマーが動作中ではありませんか？**
オートトリマー使用中は、印刷できません。

文字がきちんと印刷されない

● **テープカートリッジは正しくセットされていますか？**
テープカートリッジを正しくセットしていないと、きちんと印刷できません。
テープカートリッジを取り出し、もう一度手順に従ってセットしてください。
参照☞P.25「3.テープカートリッジをセットする」

● **印刷ヘッドが汚れていませんか？**
印刷ヘッドにゴミ、ホコリなどが付着すると文字の一部がカスレることがあります。別売のヘッド・クリーニングテープ（SR24C）をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール（エチルアルコール）を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。
参照☞P.156「お手入れについて」



● **電池が消耗していませんか？**
電池が消耗すると「電池を交換！」と表示されます。速やかにすべての電池を新しい単3形アルカリ乾電池と交換するか、同梱のACアダプタ（AC1116J）を使用してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。

ラベルを印刷後、自動カットされない

● **自動カット/しないに設定していませんか？**
印刷設定の自動カット/しないに設定すると、印刷後の自動カットはおこなわれません。
参照☞P.126「「自動カット」を設定する」

● **カッターの刃が磨耗していませんか？**
カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し、切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照☞巻末「アフターサービスについて」

オートトリマーでうまくカットできない

● **印刷中ではありませんか？**
テープ印刷中はオートトリマーが作動しません。

● **ラベルをトリマー差込み口にきちんと差し込んでいますか？**
ラベルをガイドに合わせず差し込むときれいにカットできません。ガイドに沿ってラベルを差し込んでください。
参照☞P.48「カドを丸く仕上げる」

● **切りクズがつまっていませんか？**
トリマーカバーをはずし、トリマーの切りクズを取り除いてください。
参照☞P.49「オートトリマーのお手入れ」

● **4mm、6mm幅テープをカットしようとしていませんか？**
4mm、6mm幅テープはオートトリマーでカットすることはできません。トリマー（RT36W）を使ってカットしてください。
参照☞P.11「別売品のご案内」

● **オートトリマーでカットのできないラベルを使用していませんか？**
本機のオートトリマーでカットできないラベルはオートトリマーに差し込まないでください。
参照☞P.48「カドを丸く仕上げる」

● **オートトリマーの刃が磨耗していませんか？**
オートトリマーの刃は、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。オートトリマーの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照☞巻末「アフターサービスについて」

文章の途中までしか印刷されない

● **テープカートリッジにテープの残りがありますか？**
テープカートリッジのテープが終了している場合は、新品のテープカートリッジをセットしてください。
参照☞P.25「3.テープカートリッジをセットする」

● **電池が消耗していませんか？**
電池が消耗すると「電池を交換！」と表示されます。速やかにすべての電池を新しい単3形アルカリ乾電池と交換するか、同梱のACアダプタ（AC1116J）を使用してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。

ファイルの内容が消えてしまった

● **本機の初期化をしましたか？**
本機の初期化をおこなうと、登録したファイル・あて名・名前・外字・辞書などのデータがすべて失われます。
参照☞P.132「本機を初期化する」

● **電源が入った状態で電池を交換していませんか？**
電池交換は、必ず電源を切ってからおこなってください。電源が入った状態で電池交換をおこなうと、登録したファイル・あて名・名前・外字・辞書などのデータがすべて失われることがあります。

● **動作中にACアダプタや電池を抜きませんでしたか？**
ファイル登録時の「実行中」や印刷の「準備中」および「印刷中」、電源を切るときの「電源を切る準備中」が表示されているときにACアダプタや電池を抜くと登録したファイル・あて名・名前・外字・辞書などのデータがすべて失われることがあります。

ラベルを貼り付けることができない

● **裏紙をはがしていますか？**
粘着タイプのラベルは、裏紙をはがして貼ってください。
参照☞P.39「7.ラベルを貼る」

● **貼る場所が汚れていたり、凹凸がありませんか？**
表面がザラザラしている場所や、ホコリ、油のついている場所には貼り付けられません。また、特殊な加工がしてある面や、特殊な材質の面には貼り付けられない場合があります。

MEMO
上記以外のときや、上記項目を確認しても改善しないときは、お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照☞巻末「アフターサービスについて」

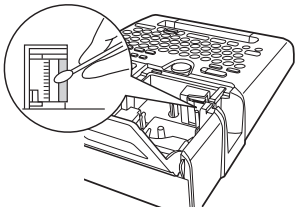
お手入れについて

■ 本機外側の汚れ・ホコリは

乾いたやわらかな布で拭き取ってください。とくに、汚れがひどい場合は、固く絞ったぬれブキンで拭き取ってください。ベンジン・シンナー・アルコールなどの溶剤・薬剤や化学ぞうきんの使用は絶対におやめください。

■ 印刷が欠けたりカスレたりする場合

印刷ヘッドにゴミがついていることがあります。別売のヘッド・クリーニングテープ（SR24C）をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール（エチルアルコール）を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。



ヘッド・クリーニングテープ（別売）を使う

❶ ヘッド・クリーニングテープを本機にセットする

❷ シフト を押しながら 印刷 （＝テープ送り）を押す

❸ 「テープ送り」を選び、選択改行 を押す

「テープ送り」の操作によりヘッド・クリーニングテープが送られ、印刷ヘッドがクリーニングされます。1～2回 おこなってください。

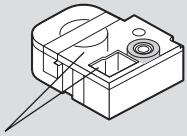
参照☞P.28「5.テープ送りをする」

!! 注意 !!

- 使用後はもとの箱に入れて清潔な場所に保管してください。ホコリ、砂などの多い場所に放置すると、クリーニング性が低下するばかりか、印刷ヘッドをいためる原因になります。

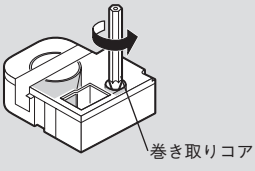
- ヘッド・クリーニングテープで印刷をおこなわないでください。印刷をおこなうとヘッドをいためる原因となります。

- 図の部分の白いテープがなくなるとテープがすべて巻き取られたことになり、そのヘッド・クリーニングテープは終了です。テープ終了後に使用するとヘッドをいためるおそれがありますので、ご使用にならないでください。



MEMO

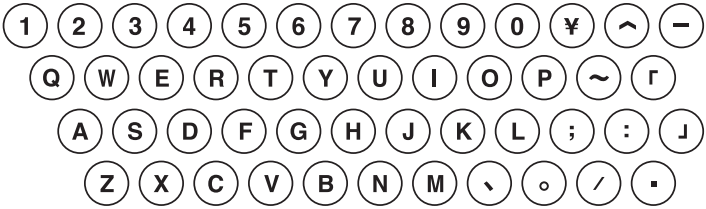
- 本機でご使用になるヘッド・クリーニングテープはSR24Cをお使いください。
- テープは巻き取り式になっていますので、「テープカット」は不要です。
- テープがたるんでいる場合、図のように「巻き取りコア」を矢印方向に回してたるみを取ってください。



- ヘッドクリーニングをおこなっても印刷が欠けたりカスレたりする場合、本機の故障が考えられます。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室にご相談ください。
- ヘッド・クリーニングテープは薄い材料で作られています。新品でも少なめに見えますが、約120回のクリーニングが可能です。

入力文字一覧表

文字ボタン配列



入力文字表

「大」は(シフト)を押していない状態、「小」は(シフト)を押した状態を表します。

ボタン	ローマ字		かな		ABC		ABC(半角)	
	大	小	大	小	大	小	大	小
1	1	!	ぬ	!	1	!	1	!
2	2	@	ふ	@	2	@	2	@
3	3	#	あ	ぁ	3	#	3	#
4	4	$	う	ぅ	4	$	4	$
5	5	%	え	ぇ	5	%	5	%
6	6	&	お	ぉ	6	&	6	&
7	7	’	や	ゃ	7	’	7	’
8	8	*	ゆ	ゅ	8	*	8	*
9	9	(	よ	ょ	9	(	9	(
0	0	)	わ	を	0	)	0	)
¥	¥	=	ほ	ほ	¥	=	¥	=
^	^	^	へ	へ	^	^	^	^
ー	ー	ー	ー	ー	-	ー	-	-
Q	Q	q	た	た	Q	q	Q	q
W	W	w	て	て	W	w	W	w
E	E	e	い	ぃ	E	e	E	e
R	R	r	す	す	R	r	R	r
T	T	t	か	か	T	t	T	t
Y	Y	y	ん	ん	Y	y	Y	y
U	U	u	な	な	U	u	U	u
I	I	i	に	に	I	i	I	i
O	O	o	ら	ら	O	o	O	o
P	P	p	せ	せ	P	p	P	p
～	～	÷	゛	～	～	÷	~	
「	「	{	゜	「	「	{	「	{

ボタン	ローマ字		かな		ABC		ABC(半角)	
	大	小	大	小	大	小	大	小
A	A	a	ち	ち	A	a	A	a
S	S	s	と	と	S	s	S	s
D	D	d	し	し	D	d	D	d
F	F	f	は	は	F	f	F	f
G	G	g	き	き	G	g	G	g
H	H	h	く	く	H	h	H	h
J	J	j	ま	ま	J	j	J	j
K	K	k	の	の	K	k	K	k
L	L	l	り	り	L	l	L	l
;	;	＋	れ	れ	;	＋	;	＋
:	:	×	け	け	:	×	:	
」	」	}	む	」	]	}	]	}
Z	Z	z	つ	っ	Z	z	Z	z
X	X	x	さ	さ	X	x	X	x
C	C	c	そ	そ	C	c	C	c
V	V	v	ひ	ひ	V	v	V	v
B	B	b	こ	こ	B	b	B	b
N	N	n	み	み	N	n	N	n
M	M	m	も	も	M	m	M	m
、	、	,	ね	、	,	,	,	,
。	。	.	る	。	.	.	.	.
／	／	?	め	?	／	?	／	?
・	・	・	ろ	・	・	・		

注1 ： ボタン(～)の「゛」とボタン(「)の「゜」は単独では入力できません。単独で入力した場合は「～」、「「」になります。

注2 ： ボタン(ー)で入力できる文字は次のとおりです。
ローマ字（大）、かな（大）：「ー」（長音）
ローマ字（小）、かな（小）、ABC（小）、ABC（半角）：「ー」（マイナス）
ABC（大）：「-」（ハイフン）

注3 ： ボタン(。)の「.」はピリオドです。

注4 ： 「ABC（半角）」はQRコード入力時のみ有効です。

漢字変換表

ここでは、区点コードを掲載しています。JISコード、シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。

参照☞P.110「読みのわからない漢字を入力する」

!!注意!!

- 漢字変換表はJISに基づき「音読み」で記載しています。本機の内蔵辞書は「音読み」もしくは「訓読み」だけを搭載している文字があり、「音読み」では変換できないことがあります。
- 表にあげた文字と印刷される文字の字形が異なるものがあります。

JIS第1水準

*の欄の数字は区点コードの下1桁を表します。

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ア	1601～1609		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
	1610～1619	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
	1620～1629	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
	1630～1639	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
	1640～1641	鞍	杏								
イ	1642～1649			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
	1650～1659	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
	1660～1669	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
	1670～1679	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
	1680～1689	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
	1690～1694	引	飲	淫	胤	蔭					
ウ	1701～1705		院	陰	隠	韻	吋				
	1706～1709							右	宇	烏	羽
	1710～1719	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
	1720～1729	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
	1730～1732	云	運	雲							
エ	1733～1739				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
	1740～1749	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
	1750～1759	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
	1760～1769	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
	1770～1779	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	1780～1786	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
オ	1787～1789							於	汚	甥	
	1790～1794	凹	央	奥	往	応					
	1801～1809		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
	1810～1819	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
	1820～1827	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
カ	1828～1829									下	化
	1830～1839	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
	1840～1849	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
	1850～1859	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
	1860～1869	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
	1870～1879	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
カ	1880～1889	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
	1890～1894	恢	懐	戒	拐	改					
	1901～1909		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
	1910～1919	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
	1920～1929	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
	1930～1939	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
	1940～1949	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
	1950～1959	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
	1960～1969	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
	1970～1979	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
	1980～1989	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竈	蒲	釜	鎌
	1990～1994	噛	鴨	栢	茅	萱					
	2001～2009		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
	2010～2019	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
	2020～2029	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
	2030～2039	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
	2040～2049	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
	2050～2059	諫	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
	2060～2069	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
	2070～2074	贋	雁	頑	顔	願					
キ	2075～2079						企	伎	危	喜	器
	2080～2089	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
	2090～2094	旗	既	期	棋	棄					
	2101～2109		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
	2110～2119	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
	2120～2129	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺
	2130～2139	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
	2140～2149	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
	2150～2159	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
	2160～2169	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
	2170～2179	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	2180～2189	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
	2190～2194	禦	魚	亨	享	京					
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
キ	2201～2209		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
	2210～2219	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
	2220～2229	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
	2230～2239	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
	2240～2249	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
	2250～2259	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
	2260～2268	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
ク	2269										九
	2270～2279	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
	2280～2289	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
	2290～2294	串	櫛	釧	屑	屈					
	2301～2309		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
	2310～2319	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
	2320	郡									
ケ	2321～2329		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
	2330～2339	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
	2340～2349	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
	2350～2359	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
	2360～2369	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
	2370～2379	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	2380～2389	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
	2390～2394	建	憲	懸	拳	捲					
	2401～2409		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
	2410～2419	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
	2420～2429	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
	2430～2434	絃	舷	言	諺	限					
コ	2435～2439						乎	個	古	呼	固
	2440～2449	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
	2450～2459	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
	2460～2469	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
	2470～2479	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
	2480～2489	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
	2490～2494	効	勾	厚	口	向					
	2501～2509		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
	2510～2519	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
	2520～2529	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
	2530～2539	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
	2540～2549	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
	2550～2559	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
	2560～2569	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
	2570～2579	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
	2580～2589	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
	2590～2594	忽	惚	骨	狛	込					
	2601～2609		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
	2610～2618	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
サ	2619										些
	2620～2629	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
	2630～2639	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
	2640～2649	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
	2650～2659	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
	2660～2669	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
サ	2670～2679	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	2680～2689	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
	2690～2694	鮭	笹	匙	冊	刷					
	2701～2709		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
	2710～2719	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
	2720～2729	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
	2730～2736	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
シ	2737～2739								仕	仔	伺
	2740～2749	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
	2750～2759	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
	2760～2769	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
	2770～2779	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	2780～2789	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
	2790～2794	字	寺	慈	持	時					
	2801～2809		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
	2810～2819	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鳴	竺
	2820～2829	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
	2830～2839	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
	2840～2849	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
	2850～2859	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
	2860～2869	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
	2870～2879	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	2880～2889	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
	2890～2894	綬	需	囚	収	周					
	2901～2909		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	2910～2919	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
	2920～2929	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
	2930～2939	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
	2940～2949	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
	2950～2959	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
	2960～2969	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
	2970～2979	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	2980～2989	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
	2990～2994	恕	鋤	除	傷	償					
	3001～3009		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
	3010～3019	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
	3020～3029	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
	3030～3039	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
	3040～3049	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
	3050～3059	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
	3060～3069	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
	3070～3079	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
	3080～3089	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
	3090～3094	醸	錠	嘱	埴	飾					
	3101～3109		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
	3110～3119	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
	3120～3129	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
	3130～3139	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
ス	3140～3149	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
	3150～3157	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	3158～3159									笥	諏
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ス	3160～3169	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
	3170～3179	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
	3180～3189	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
	3190～3194	椙	菅	頗	雀	裾					
	3201～3203		澄	摺	寸						
セ	3204～3209					世	瀬	畝	是	凄	制
	3210～3219	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
	3220～3229	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
	3230～3239	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
	3240～3249	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
	3250～3259	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
	3260～3269	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
	3270～3279	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
	3280～3289	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
	3290～3294	煽	旋	穿	箭	線					
	3301～3309		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	践
	3310～3319	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
	3320～3324	全	禪	繕	膳	糎					
ソ	3325～3329						噌	塑	岨	措	曾
	3330～3339	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
	3340～3349	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
	3350～3359	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
	3360～3369	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
	3370～3379	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
	3380～3389	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
	3390～3394	霜	騒	像	増	憎					
	3401～3409		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
	3410～3419	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
	3420～3429	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
タ	3430～3439	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
	3440～3449	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
	3450～3459	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
	3460～3469	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
	3470～3479	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	3480～3489	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
	3490～3494	諾	茸	凧	蛸	只					
	3501～3509		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
	3510～3519	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
	3520～3529	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
	3530～3539	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
	3540～3544	暖	檀	段	男	談					
チ	3545～3549						値	知	地	弛	恥
	3550～3559	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
	3560～3569	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
	3570～3579	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	3580～3589	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
	3590～3594	丁	兆	凋	喋	寵					
	3601～3609		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
	3610～3619	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
	3620～3629	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
	3630～3636	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ツ	3637～3639								津	墜	椎
	3640～3649	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
	3650～3659	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壺
	3660～3665	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
テ	3666～3669						亭	低	停	偵	
	3670～3679	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	3680～3689	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	3690～3694	艇	訂	諦	蹄	逓					
	3701～3709		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
	3710～3719	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
	3720～3729	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
	3730～3737	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
ト	3738～3739									兎	吐
	3740～3749	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
	3750～3759	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
	3760～3769	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
	3770～3779	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
	3780～3789	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
	3790～3794	答	筒	糖	統	到					
	3801～3809		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
	3810～3819	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
	3820～3829	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
	3830～3839	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
	3840～3849	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
	3850～3859	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
	3860～3863	頓	呑	曇	鈍						
ナ	3864～3869					奈	那	内	乍	凪	薙
	3870～3879	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
	3880～3882	軟	難	汝							
ニ	3883～3889				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
	3890～3894	虹	廿	日	乳	入					
	3901～3907		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ヌ	3908									濡	
ネ	3909										禰
	3910～3919	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
	3920	粘									
ノ	3921～3929		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
	3930～3934	脳	膿	農	覗	蚤					
ハ	3935～3939						巴	把	播	覇	杷
	3940～3949	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
	3950～3959	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
	3960～3969	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
	3970～3979	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	3980～3989	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
	3990～3994	爆	縛	莫	駁	麦					
	4001～4009		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
	4010～4019	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
	4020～4029	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
	4030～4039	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
	4040～4049	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
	4050～4058	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

付録

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ヒ	4059										匪
	4060～4069	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
	4070～4079	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	4080～4089	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
	4090～4094	枇	毘	琵	眉	美					
	4101～4109		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
	4110～4119	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
	4120～4129	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
	4130～4139	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
	4140～4149	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
	4150～4151	敏	瓶								
フ	4152～4159			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
	4160～4169	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
	4170～4179	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4180～4189	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
	4190～4194	伏	副	復	幅	服					
	4201～4209		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
	4210～4219	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
	4220～4225	粉	糞	紛	雰	文	聞				
ヘ	4226～4229						丙	併	兵	塀	
	4230～4239	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
	4240～4249	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
	4250～4259	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
	4260	鞭									
ホ	4261～4269		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
	4270～4279	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	4280～4289	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	4290～4294	抱	捧	放	方	朋					
	4301～4309		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
	4310～4319	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	4320～4329	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
	4330～4339	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
	4340～4349	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
	4350～4359	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
	4360～4363	本	翻	凡	盆						
マ	4364～4369					摩	磨	魔	麻	埋	妹
	4370～4379	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
	4380～4389	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
	4390～4394	繭	麿	万	慢	満					
	4401～4402		漫	蔓							
ミ	4403～4409				味	未	魅	巳	箕	岬	密
	4410～4418	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
ム	4419										務
	4420～4428	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
メ	4429										冥
	4430～4439	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
	4440～4445	免	棉	綿	緬	面	麺				
モ	4446～4449							摸	模	茂	妄
	4450～4459	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
	4460～4469	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
	4470～4472	紋	門	匁							
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ヤ	4473～4479				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	4480～4489	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
	4490	鑓									
ユ	4491～4494		愉	愈	油	癒					
	4501～4509		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
	4510～4519	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	4520～4528	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
ヨ	4529										予
	4530～4539	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
	4540～4549	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
	4550～4559	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
	4560～4568	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ラ	4569										羅
	4570～4579	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
	4580～4587	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
リ	4588～4589									利	吏
	4590～4594	履	李	梨	理	璃					
	4601～4609		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
	4610～4619	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
	4620～4629	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
	4630～4639	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
	4640～4649	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
	4650～4659	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
ル	4660～4664	瑠	塁	涙	累	類					
レ	4665～4669						令	伶	例	冷	励
	4670～4679	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
	4680～4689	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
	4690～4694	漣	煉	簾	練	聯					
	4701～4703		蓮	連	錬						
ロ	4704～4709					呂	魯	櫓	炉	賂	路
	4710～4719	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
	4720～4729	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
	4730～4732	肋	録	論							
ワ	4733～4739				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
	4740～4749	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
	4750～4751	碗	腕								
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

付録

JIS第2水準

文字上の2桁の数字は点コードを表わします。
従って「丼」の区点コードは「4807」となります。

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4801～4809		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
4810～4819	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
4820～4829	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
4830～4839	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
4840～4849	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
4850～4859	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
4860～4869	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
4870～4879	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
4880～4889	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
4890～4899	傀	傚	傅	傴	傲					
4901～4909		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
4910～4919	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
4920～4929	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
4930～4939	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
4940～4949	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
4950～4959	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
4960～4969	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
4970～4979	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
4980～4989	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
4990～4999	劒	剱	劈	劑	辨					
5001～5009		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
5010～5019	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
5020～5029	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
5030～5039	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
5040～5049	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
5050～5059	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
5060～5069	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
5070～5079	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
5080～5089	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
5090～5099	咥	咬	哄	哈	咨					
5101～5109		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
5110～5119	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
5120～5129	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
5130～5139	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
5140～5149	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
5150～5159	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
5160～5169	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
5170～5179	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
5180～5189	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
5190～5199	囹	圀	囿	圄	圉					
5201～5209		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
5210～5219	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
5220～5229	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
5230～5239	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
5240～5249	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
5250～5259	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5260～5269	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
5270～5279	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
5280～5289	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
5290～5299	奢	奠	奧	奬	奩					
5301～5309		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
5310～5319	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
5320～5329	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
5330～5339	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
5340～5349	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
5350～5359	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
5360～5369	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
5370～5379	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
5380～5389	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
5390～5399	尹	屁	屆	屎	屓					
5401～5409		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
5410～5419	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
5420～5429	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
5430～5439	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
5440～5449	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
5450～5459	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
5460～5469	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
5470～5479	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
5480～5489	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
5490～5499	廁	廂	廈	廐	廏					
5501～5509		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
5510～5519	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
5520～5529	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
5530～5539	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
5540～5549	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
5550～5559	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
5560～5569	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
5570～5579	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
5580～5589	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
5590～5599	悁	悍	惧	悃	悚					
5601～5609		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
5610～5619	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
5620～5629	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
5630～5639	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
5640～5649	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
5650～5659	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
5660～5669	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
5670～5679	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
5680～5689	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
5690～5699	戉	戍	戌	戔	戛					
5701～5709		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
5710～5719	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
5720～5729	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
5730～5739	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
5740～5749	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
5750～5759	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
5760～5769	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

付

録

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5770～5779	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
5780～5789	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
5790～5799	撓	撥	撩	撈	撼					
5801～5809		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
5810～5819	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
5820～5829	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
5830～5839	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
5840～5849	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
5850～5859	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
5860～5869	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
5870～5879	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
5880～5889	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
5890～5899	曁	暹	曉	暾	暼					
5901～5909		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
5910～5919	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
5920～5929	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
5930～5939	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
5940～5949	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
5950～5959	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
5960～5969	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
5970～5979	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
5980～5989	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
5990～5999	椢	椦	棡	椌	棍					
6001～6009		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
6010～6019	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
6020～6029	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
6030～6039	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
6040～6049	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
6050～6059	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
6060～6069	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
6070～6079	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
6080～6089	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
6090～6099	檍	檠	檄	檢	檣					
6101～6109		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
6110～6119	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
6120～6129	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
6130～6139	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
6140～6149	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
6150～6159	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
6160～6169	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
6170～6179	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
6180～6189	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
6190～6199	泅	泝	沮	沱	沾					
6201～6209		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
6210～6219	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
6220～6229	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
6230～6239	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
6240～6249	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
6250～6259	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
6260～6269	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
6270～6279	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6280～6289	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
6290～6299	滲	漱	滯	漲	滌					
6301～6309		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
6310～6319	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
6320～6329	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
6330～6339	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
6340～6349	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
6350～6359	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
6360～6369	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
6370～6379	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
6380～6389	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
6390～9399	燠	燬	燧	燵	燼					
6401～6409		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
6410～6419	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
6420～6429	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
6430～6439	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
6440～6449	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
6450～6459	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
6460～6469	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
6470～6479	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
6480～6489	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
6490～6499	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
6501～6509		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
6510～6519	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
6520～6529	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
6530～6539	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
6540～6549	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
6550～6559	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
6560～6569	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
6570～6579	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
6580～6589	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
6590～6599	癩	癪	癧	癬	癰					
6601～6609		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
6610～6619	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
6620～6629	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
6630～6639	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
6640～6649	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
6650～6659	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
6660～6669	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
6670～6679	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
6680～6689	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
6690～6699	碾	碼	磅	磊	磬					
6701～6709		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
6710～6719	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
6720～6729	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
6730～6739	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
6740～6749	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
6750～6759	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
6760～6769	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
6770～6779	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
6780～6789	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6790～6799	笘	笵	笨	笶	筐					
6801～6809		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
6810～6819	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
6820～6829	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
6830～6839	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
6840～6849	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
6850～6859	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
6860～6869	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
6870～6879	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
6880～6889	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
6890～6899	糲	糴	糶	糺	紆					
6901～6909		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
6910～6919	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
6920～6929	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
6930～6939	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
6940～6949	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
6950～6959	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
6960～6969	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
6970～6979	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
6980～6989	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
6990～6999	纎	纛	纜	缸	缺					
7001～7009		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
7010～7019	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
7020～7029	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
7030～7039	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
7040～7049	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
7050～7059	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
7060～7069	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
7070～7079	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
7080～7089	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
7090～7099	脛	脩	脣	脯	腋					
7101～7109		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
7110～7119	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
7120～7129	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
7130～7139	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
7140～7149	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
7150～7159	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
7160～7169	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
7170～7179	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
7180～7189	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
7190～7199	苞	茆	苜	茉	苙					
7201～7209		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
7210～7219	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
7220～7229	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
7230～7239	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
7240～7249	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
7250～7259	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
7260～7269	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
7270～7279	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
7280～7289	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
7290～7299	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7301～7309		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
7310～7319	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
7320～7329	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
7330～7339	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
7340～7349	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
7350～7359	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
7360～7369	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
7370～7379	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
7380～7389	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
7390～7399	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
7401～7409		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
7410～7419	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
7420～7429	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
7430～7439	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
7440～7449	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
7450～7459	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
7460～7469	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
7470～7479	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
7480～7489	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
7490～7499	褸	襌	褝	襠	襞					
7501～7509		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
7510～7519	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
7520～7529	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
7530～7539	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
7540～7549	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
7550～7559	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
7560～7569	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
7570～7579	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
7580～7589	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
7590～7599	證	譖	譛	譚	譫					
7601～7609		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
7610～7619	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
7620～7629	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
7630～7639	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
7640～7649	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
7650～7659	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
7660～7669	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
7670～7679	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
7680～7689	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
7690～7699	蹂	踵	踰	踴	蹊					
7701～7709		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
7710～7719	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
7720～7729	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
7730～7739	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
7740～7749	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
7750～7759	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
7760～7769	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
7770～7779	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
7780～7789	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
7790～7799	逧	逶	逵	逹	迸					
7801～7809		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

付録

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7810～7819	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
7820～7829	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
7830～7839	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
7840～7849	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
7850～7859	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
7860～7869	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
7870～7879	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
7880～7889	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
7890～7899	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
7901～7909		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
7910～7919	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
7920～7929	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
7930～7939	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
7940～7949	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
7950～7959	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
7960～7969	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
7970～7979	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
7980～7989	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
7990～7999	陏	陋	陷	陜	陞					
8001～8009		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
8010～8019	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
8020～8029	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
8030～8039	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
8040～8049	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
8050～8059	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
8060～8069	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
8070～8079	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
8080～8089	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
8090～8099	顏	顋	顫	顯	顰					
8101～8109		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
8110～8119	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
8120～8129	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
8130～8139	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
8140～8149	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
8150～8159	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
8160～8169	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
8170～8179	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
8180～8189	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
8190～8199	髫	髮	髴	髱	髷					
8201～8209		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
8210～8219	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
8220～8229	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
8230～8239	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
8240～8249	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
8250～8259	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
8260～8269	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
8270～8279	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
8280～8289	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
8290～8299	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
8301～8309		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
8310～8319	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
8320～8329	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
8330～8339	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
8340～8349	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
8350～8359	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
8360～8369	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
8370～8379	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
8380～8389	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
8390～8399	齲	齶	龕	龜	龠					
8401～8409		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			
8410～8419										
8420～8429										
8430～8439										
8440～8449										
8450～8459										
8460～8469										
8470～8479										
8480～8489										
8490～8499										
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

その他

以下の132文字は本機特有の漢字です。
文字上の数字はコードの下２桁を表します。

	コード
85	01 鷗 02 葛 03 祇 04 麴 05 鯖 06 錆 07 繡 08 驒 09 琢 10 啄 11 樽 12 塚 13 摑 14 塡 15 潑 16 醱 17 﨑 18 桒 19 濵 20 髙 21 𠮷 22 槗 23 𣇃 24 栁 25 榊 26 彅 27 捗 28 醬 29 麵 30 逸 31 謁 32 緣 33 横 34 溫 35 禍 36 悔 37 海 38 渴 39 寬 40 漢 41 祈 42 器 43 虛 44 響 45 勤 46 謹 47 薰 48 揭 49 黃 50 黑 51 穀 52 祉 53 視 54 社 55 者 56 煮 57 臭 58 祝 59 暑 60 署 61 緖 62 諸 63 祥 64 涉 65 狀 66 神 67 瀨 68 節 69 祖 70 巢 71 僧 72 層 73 增 74 憎 75 贈 76 卽 77 嘆 78 著 79 徵 80 懲 81 都 82 德 83 突 84 難 85 梅 86 繁 87 晚 88 卑 89 碑 90 賓 91 敏 92 侮 93 福 94 勉
86	01 步 02 墨 03 每 04 賴 05 欄 06 虜 07 綠 08 淚 09 類 10 曆 11 歷 12 練 13 鍊 14 郞 15 朗 16 廊 17 錄 18 猪 19 祐 20 禎 21 渚 22 才 23 迂 24 噲 25 倦 26 堵 27 撰 28 屛 29 瀆 30 鹼 31 曺 32 喆 33 琦 34 珉 35 曙 36 乇 37 蟬 38 淸

付録

記号一覧表

!!注意!!

記号一覧表の記号と印刷される記号の結果が異なるものがあります。

分　類	記　号
記　述	、。，．・：；「」？！ー－／＼～＠～＿§†‡ゝゞ
	ゝゞ〃仝々〆……※＊
省　略	ゝゞゝゞ〃仝々〆……＃№＆〒㊗©®㊙㊞㊖㊟㊤㊥㊦㊨
	㊫㊪㊡㊢㊣㊤㊥㊦㊨㈱㈲K.K.㈲㈶㈳㈱㈶㈳TEL FAX
カッコ	‘’　“”　（）　〔〕　［］　｛｝　〈〉　《》　「」　『』　【】
矢　印	→←↑↓↘↖↗↙⇨⇦⇧⇩↔↕
○△□☆	○●◎△▲▽▼◇◆□■☆★◇◆♤♠♡♥♧♣
単　位	％‰μmmmcm m kmftmilecm²m² a haKm²cm³m³mg g kg t ccmℓdℓ ℓ
	kℓmol￥㈹$€£Fr¢ＡＶΩＷkWHzdBHPÅ＠°　′　″　℃°F
	ct
算　数	＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴≡≒√∽∧∫
数　字	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳〇一二三
	四五六七八九ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩｉ ii iii iv v vi vii viii
	ⅸⅩ１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０＋－
	½⅓⅔¼¾
2桁数字	00～99

分　類	記　号
公共表示	
環　境	
荷　物	
警告用	
仕　事	
スポーツ	
遊　び	
ビデオ	
音　楽	
生き物	

分　類	記　号
乗り物	
食べ物	
予　定	
暮らし	
シーズン	
家　族	
干　支	
星　座	
ギリシャ	Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ Χ Ψ Ω
	α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω
欧　州	ä ë ï ö ü Ä Ë Ï Ö Ü á é í ó ú Á É Í Ó Ú à è ì ò
	ù À È Ì Ò Ù â ê î ô û Â Ê Î Ô Û ñ Ñ ß Ç ç Œ œ ¿
	¡

分　類	記　号
案内記号	
編　集	
季節風景	春 夏 秋 冬
お店	
学校	国語 算数 数学 社会 歴史 地理 理科 化学 物理 図工 美術 技術 家庭科 保健 体育 英語 外国語 道徳 倫理 生活 音楽 書道 工芸 現代文 政経 生物
建設	
病院	

分　類		記　号
イラスト	POP	SALE おすすめ お買得! 決定! 新製品 大安売り 大好評 入荷しました 募集中
	顔文字	(^^ゞ(+_+)(・・;)(>_<)(T_T)(^○^)m(__)m(・_・)(^_^ゞ)(` ´)
	お店	特売品 超特価 バゲン 初売り 在庫一掃 直輸入 半額 母の日 父の日 バレンタインデー
		ポイント お歳暮 お中元 清掃中 イチ押し NEW 定休日 代金のみ 無農薬 10%
		20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% OFF クスクス
	学校	登校日 入学式 卒業式 緊急連絡網 運動会 体育祭 文化祭 授業参観日 林間学校 臨海学校
		避難訓練 春休み 夏休み 冬休み クラブ活動 部活動 委員会活動 給食当番 掃除当番 日直
		日誌 児童会 生徒会 遠足 社会見学
	建設	危険! 立入禁止 頭上注意 足元注意 整理整頓 安全第一 電気工事 道路工事中 水道工事中 下水道工事
		ガス工事中 電話工事中 建築中 保護帽着用 現場事務所 場内禁煙 段差注意
	病院	外来受付 初診の方 再診の方 休診 入院の方 面会の方 面会受付 休憩時間 臨床実習 新生児室
		健康診断 問診 血圧測定 血液検査 聴力検査 視力検査 尿検査 介護保険 X線検査 健康保険
		受付

ローマ字変換表

あ	あ A	い I YI	う U WU	え E	お O
か	か KA	き KI	く KU	け KE	こ KO
さ	さ SA	し SI SHI	す SU	せ SE	そ SO
た	た TA	ち TI CHI	つ TU TSU	て TE	と TO
な	な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO
は	は HA	ひ HI	ふ HU FU	へ HE	ほ HO
ま	ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO
や	や YA	い YI I	ゆ YU	いぇ YE	よ YO
ら	ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO
わ	わ WA		う WU U		を WO
ん	ん N＋(Y以外の子音または、アポストロフィー「’」) (例) N＋N→ん　N＋P→んP　N＋「’」→ん				
が	が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO
ざ	ざ ZA	じ ZI JI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO
だ	だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO
ば	ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
ぱ	ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO
きゃ	きゃ KYA	きぃ KYI	きゅ KYU	きぇ KYE	きょ KYO
しゃ	しゃ SYA SHA	しぃ SYI	しゅ SYU SHU	しぇ SYE SHE	しょ SYO SHO
ちゃ	ちゃ TYA CHA CYA	ちぃ TYI CYI	ちゅ TYU CHU CYU	ちぇ TYE CHE CYE	ちょ TYO CHO CYO
てゃ	てゃ THA	てぃ THI	てゅ THU	てぇ THE	てょ THO
にゃ	にゃ NYA	にぃ NYI	にゅ NYU	にぇ NYE	にょ NYO
ひゃ	ひゃ HYA	ひぃ HYI	ひゅ HYU	ひぇ HYE	ひょ HYO
みゃ	みゃ MYA	みぃ MYI	みゅ MYU	みぇ MYE	みょ MYO

りゃ	りゃ RYA	りぃ RYI	りゅ RYU	りぇ RYE	りょ RYO
ぎゃ	ぎゃ GYA	ぎぃ GYI	ぎゅ GYU	ぎぇ GYE	ぎょ GYO
じゃ	じゃ ZYA JA JYA	じぃ ZYI JYI	じゅ ZYU JU JYU	じぇ ZYE JE JYE	じょ ZYO JO JYO
ぢゃ	ぢゃ DYA	ぢぃ DYI	ぢゅ DYU	ぢぇ DYE	ぢょ DYO
びゃ	びゃ BYA	びぃ BYI	びゅ BYU	びぇ BYE	びょ BYO
ぴゃ	ぴゃ PYA	ぴぃ PYI	ぴゅ PYU	ぴぇ PYE	ぴょ PYO
つぁ	つぁ TSA	つぃ TSI		つぇ TSE	つぉ TSO
でゃ	でゃ DHA	でぃ DHI	でゅ DHU	でぇ DHE	でょ DHO
ふぁ	ふぁ FA	ふぃ FI FYI		ふぇ FE FYE	ふぉ FO
ふゃ	ふゃ FYA	ふぃ FYI FI	ふゅ FYU	ふぇ FYE FE	ふょ FYO
ゔぁ	ゔぁ VA	ゔぃ VI	ゔ VU	ゔぇ VE	ゔぉ VO
ぁ	ぁ LA XA	ぃ LI XI LYI XYI	ぅ LU XU	ぇ LE XE LYE XYE	ぉ LO XO
か	か LKA XKA			け LKE XKE	
っ			っ LTU XTU 同一の子音＋子音＝っ＋子音 (N以外有効)		
ゃ	ゃ LYA XYA		ゅ LYU XYU		ょ LYO XYO

おもな仕様

■入力

入力装置	JIS配列準拠キーボード式（72鍵） 文字ボタン48、機能ボタン24
入力状態	JIS配列準拠ローマ字入力 JIS配列準拠かな入力 JIS配列準拠ABC入力 小文字入力、小文字ロック（ABC入力時のみ）、記号入力、外字入力、コピー機能（30文字まで）、コード変換入力（区点コード・JISコード・シフトJISコード）、部首読み入力、部首画数入力、ABC半角入力（QRコード時のみ）
漢字変換方式	ATOK for テプラ（学習機能付き連文節変換） 搭載語句数 約117,000語（追加可能）

■表示

表示装置	ドットマトリクスSTN液晶パネル
文字表示	102dot×64dot（6chr×4line）
表示濃度	-5～ふつう～+5（11段階）
インジケーター	36個
LED	1個

■記憶

文章メモリー	約175文字
内蔵ファイル	可変長データ式（あて名・名前と共用） 約5,000文字/最大99ファイル（ファイル名を含む）
辞書登録	最大30件
外字登録	ビットマップフルライン自動拡大登録 フルライン（16・24・32・48ドット）×4文字
あて名登録	最大99件
名前登録	最大40件
印刷履歴	最大5件

■フォント

内蔵文字数	全8,219文字 漢字 JIS第1水準2,965文字 漢字 JIS第2水準3,390文字 漢字 その他132文字 ひらがな・カタカナ 英数字・記号・その他	
内蔵フォント	ビットマップフォント	
	明朝体	：漢字書体・かな書体・英数書体
	ゴシック体	：漢字書体・かな書体・英数書体
	太ゴシック体	：漢字書体・かな書体・英数書体
	行書体	：漢字書体・かな書体・英数書体
	隷書体	：漢字書体・かな書体・英数書体
	えれん体	：かな書体
	ハッピ体	：かな書体
	あしび体	：かな書体
	てまり体	：かな書体

サンセリフHV体	：英数書体
クラレンドン・ローマン体	：英数書体
スクリプトBR体	：英数書体
スクリプトPL体	：英数書体
サンセリフST体	：英数書体
クロイスター・ブラック体	：英数書体

■印刷

印刷方式	熱転写PRO印刷方式
印刷濃度	-3～ふつう～+3（7段階）
ヘッド構成	サーマルヘッド・128dot、180dpi
テープカートリッジ	「テプラ」PROテープカートリッジ 4・6・9・12・18・24mm幅
カッター	オートカッター　除電機構付
トリマー	センサーつき自動カド丸仕上げ（半径3mm）

■印刷機能

文字構成	7段階（拡大印刷を含むと17段階） P字　16 × 16dot（ 6ポイント相当） S字　24 × 24dot（10ポイント相当） M字　32 × 32dot（13ポイント相当） L字　48 × 48dot（19ポイント相当） G字　64 × 64dot（26ポイント相当） U字　96 × 96dot（38ポイント相当） H字　120 × 120dot（48ポイント相当） ※テープ幅によって印刷できない文字サイズがあります。
デザインフォーム	30種（テンプレート式）
特殊フォーム	4種
あて名印刷最大	99件　カスタマバーコード印刷機能付
名前印刷最大	40件
特殊印刷	ぞく[2]、でか[2]、鏡文字
連番機能	加算一方向（繰り返し回数指定可）、1桁連番、2桁連番
バーコード	QRコード、JAN-13、JAN-8、UPC-A、UPC-E、NW-7、ITF（7種）

■電源、その他

主電源	AC100V（同梱ACアダプタAC1116J使用のこと）
補助バッテリー	単3形アルカリ乾電池×6
電源スイッチ	ボタン式
パワーオフ	操作終了後、約5分で電源を自動的にオフする（外字作成・修正中、ACアダプタ使用時のPCリンク中をのぞく）
PC接続	USBケーブルにて接続
寸法	約196W×218D×63H（mm）
重量	約850g（電池、テープカートリッジを除く）
同梱品	試用PROテープカートリッジ ACアダプタ（AC1116J） 取扱説明書 保証書
別売品	PROテープカートリッジ ヘッド・クリーニングテープ（SR24C） トリマー（RT36W） ハーフカッター（RH24）

りぼんキット（SRR10）
お名前タグメーカー（SRT10）
スナップボタン（SRTB1）
システムトランク（SR9BTA）
システムバッグ（SR8B）
システムケース（SR9H）
テープカートリッジケース（SR4TH）

■使用条件

動作環境	温度：5～35℃ 湿度：30～80%（非結露）
保存環境	温度：-10～55℃ 湿度：5～80%（非結露）

索引

記号

（バーコードマーク）..... 117
（全角スペース）.....36
（半角スペース）.....36
（印刷不可行頭マーク）..... 20、44
（連番マーク）..... 114
（記号）.....70
◀（フルメモリーマーク）.....20
▶（文字モード指定マーク）..... 20、57
（カーソルボタン）.....19
1 2（空白行頭マーク）..... 20、44
1 2（実質行頭マーク）..... 20、44

英数字

1桁（連続番号）.....113、114
2桁（連続番号）.....113、114
2桁数字（記号）.....53、137
2倍でか^2.....120、122
3倍でか^3.....120、122
4倍でか^4.....120、122
8mmビデオ（定長印刷）..... 59、65
8mmビデオ（フォーム）..... 76、78
A4ファイル（定長印刷）..... 59、65
A4ファイル（フォーム）..... 76、77
ABC入力.....35
ABC入力【半角】（QRコード）..... 118
ACアダプタ..... 10、23
ACアダプタ差込み口.....17
ATOK変換画面 30
B5ファイル（定長印刷）..... 59、65
B5ファイル（フォーム）..... 76、77
C/D（バーコード）.....113、116
CDケース（定長印刷）..... 59、65
CDケース（フォーム）..... 76、78
DAT（フォーム）..... 76、79
FD・MO（定長印刷）..... 59、65
FD・MO（フォーム）..... 76、78
ITF（バーコード）.....113、116
JAN-8（バーコード）.....113、116
JAN-13（バーコード）.....113、116
MD（定長印刷）..... 59、65
MD（フォーム）..... 76、79
NW-7（バーコード）.....113、116
ON/OFF.....19
PCラベルソフト「SPC10」.....140、146
PCリンク状態..... 146
PC/リンク.....19
POP .....137、171
QR携帯1（フォーム）..... 76、81
QR携帯2（フォーム）..... 76、81
QR携帯3（フォーム）..... 76、82
QRコード（バーコード）.....113、118
QR備品管理（フォーム）..... 76、82
RH24（ハーフカッター）.....11
RT36W（トリマー）.....11
SR4TH（テープカートリッジケース）.....11
SR8B（システムバッグ）.....11
SR9BTA（システムトランク）.....11
SR9H（システムケース）.....11
SR24C（ヘッド・クリーニングテープ）.....11、157
SPC10（PC ラベルソフト）.....140、146
SRR10（りぼんキット）.....11
SRT10（お名前タグメーカー）.....11
SRTB1（スナップボタン）.....11
UPC-A（バーコード）.....113、116
UPC-E（バーコード）.....113、116
URL（QRコード）.....113、118
USBインターフェイスコネクタ（パソコン接続用）...16
VHS（定長印刷）..... 59、65
VHS（縦）（フォーム）..... 76、78
VHS（横）（フォーム）..... 76、78

あ

アイロン転写テープ..... 139
アイロンラベル..... 139
あて名..... 88、93
　印刷 96
　修正 95
　消去 95
　登録 94
　複写 96
あて名/名前/辞書.....93
後揃え（割付け）..... 61、69
アフターサービス.....巻末
網かけ（囲み・網）.....63
誤り訂正率（QRコード）.....113、118
アンインストール..... 147
　アプリケーション 147
　プリンタドライバ 147
一般（QRコード）.....113、118
イラスト ..... 37、137、171
印刷.....18
印刷.....38
印刷イメージ 20
印刷/カットランプ 16
印刷情報.....20
印刷設定.....18、125

付録

印刷濃度（印刷設定）.....125、127
印刷不可行頭マーク（⊠ ⊠）.....20
印刷履歴.....88、92
　消去.....92
　呼出.....92
インジケーター.....20
インストール.....140
　アプリケーション.....140
　プリンタドライバ.....140
インデックスラベル.....84、139
上カバー.....16
上カバーボタン.....16
上書き呼出（ファイル）.....90
英数字.....35
英数書体.....63、71
エラーメッセージ.....150
お祝い（フォーム）.....76、81
オートトリマー.....16、48
　～のお手入れ.....49
オート・パワーオフ.....27
多め（余白）.....59、67
送りカット（テープ送り）.....28、138
お名前タグメーカー（SRT10）.....11
おまかせフォーマット（文字サイズ）.....60、68
お店（記号）.....137、170
お店（外枠・表組）.....62
終わり？
　機能.....56
　段落スタイル.....62
　文章書式.....59
　文字モード.....64
音楽テープ（定長印刷）.....59、65
音楽テープ（フォーム）.....76、79

か

カーソル.....20、41
　～の位置（機能）.....55
カーソルジャンプ.....19
カーソルボタン（←↑↓→）.....19、41
改行.....33、44
外字.....104、137
　参照修正.....109
　参照作成.....109
　修正.....107
　消去.....108
　登録.....106
　複写.....108
　呼出.....107
改段落.....19、46
回覧の捺印（フォーム）.....76、77
顔文字（記号）.....137、171
鏡文字印刷.....120、124
角囲み（囲み・網）.....63
角囲網（囲み・網）.....63
拡大印刷.....120、122
確定文字.....20
影文字（飾り字）.....63、72
囲み・網（文字モード）.....55、63、73、130
飾り字（文字モード）.....55、63、72、130
カスタマバーコード（あて名）.....97
下線（囲み・網）.....63
カタカナ.....31
学校（記号）.....137、170
学校（外枠・表組）.....62
学校持ち物（フォーム）.....76、81
カット（テープ送り）.....138
カド丸.....48
かな書体.....63、71
かな入力.....31
画面.....20
仮確定文字.....30
環境設定.....19、128
　～メニュー一覧.....128
漢字.....31
漢字検索.....19、110
　～メニュー一覧.....110
漢字書体.....63、71
漢字変換表.....159
記号.....19
記号.....36
　～一覧表.....167
　～メニュー一覧.....136
季節風景（記号）.....137、170
機能の説明
　段落スタイル.....68
　文章書式.....65
　文字モード.....71
ギフトシール.....127、139
行.....44
鏡像.....124
強調（斜体・強調）.....63、72
行頭マーク（1 2･･･⊠、1 2･･･⊠）.....20
極少（余白）.....59、67
禁止！（フォーム）.....76、79
均等（文字サイズ）.....54、60、68
空白.....36
空白行頭マーク（1 2）.....20、44
区点コード.....111、159
クリーニングテープ.....157
繰り返し回数（連続番号）.....113、114
グレー文字ラベル.....139
黒塗り（外字）.....104
罫入力記号（罫）.....70
ケーブル（フォーム）.....76、79
ケーブルガイド.....17

付録

ケーブル表示ラベル……84
ケーブル用（特殊フォーム）……76、84
建設（記号）……137、170
建設（外枠・表組）……62
候補（ATOK変換画面）……31
コード検索（漢字検索）……110
固定フック……16
コピー……19
コピー……42
細かく（伸・縮）……63、72
小文字ロック……19、35

さ

サイズ（文字サイズ）……55、60、68、130
削除/改行……19
削除……42
辞書……88、102
　修正……103
　消去……103
　登録……102
　呼び出す……102
システムケース（SR9H）……11
システムトランク（SR9BTA）……11
システムバッグ（SR8B）……11
実質行頭マーク（1 2）……20、44
指定範囲（機能）……55
自動（英数書体）……63
自動（かな書体）……63
自動（文字サイズ）……60
自動多め（余白）……59、67
自動カット……125
　～しない……126
自動少なめ（余白）……59、67
シフト……19
地紋印刷（文章書式）……55、59、65、130
斜強調（斜体・強調）……63、72
斜体（斜体・強調）……63、72
斜体・強調（文字モード）……55、63、72、130
住所＆氏名（フォーム）……76、80
仕様……173
消去……19、43、47
　～メニュー一覧……138
上質紙ラベル……139
初期化……132
初期設定値……130
初期値（連続番号）……113、114
書式……18
書体（文字モード）……55、63、71、130
白抜き（飾り字）……63、72
白抜影（飾り字）……63、72
白塗り（外字）……104
伸・縮（文字モード）……55、63、72、130
少なめ（余白）……59、67
スタイル……18
スペース……36
スナップボタン（SRTB1）……11
税込値札（フォーム）……76、77
正体（斜体・強調）……63、72
狭い（文字間）……64、73
セルサイズ（QRコード）……113、118
全角スペース（＿）……36
全体の幅（バーコード）……113、116
選択/改行……19
全文消去（消去）……43、138
操作パネル……18
そぐでか……18
ぞく²……120、121
促音……32
外枠（外枠・表組）……61、70
外枠・表組（段落スタイル）……55、61、70、130

た

耐熱ラベル……139
濁音……32
たて書き（縦・横）……52、60、68
縦/横……18、52
縦・横（段落スタイル）……55、60、68、130
誕生祝い（フォーム）……76、80
段落……46
段落消去（消去）……47、138
段落スタイル……55
　～メニュー一覧……60
小さく（伸・縮）……63、72
チェックデジット（バーコード）……116
縮める（伸・縮）……63、72
蓄光ラベル……139
注意！（フォーム）……76、79
つめ²……66
ディスプレイ……16、20
訂正線（囲み・網）……63
定長印刷（文章書式）……55、59、65、130
テープ送り……18、28、138
　～メニュー一覧……138
テープカートリッジ……25、139
　～をセットする……25
テープカートリッジケース（SR4TH）……11
テープ確認窓……16
テープ通路……16
テープ出口……16
テープ幅……44、69
でか²……120、122
テキスト画面……20
デザインフォーム……74
　～見本……77

付録

～メニュー一覧 76
デモ印刷 134
電源
～を入れる 27
～を切る 40
電池 23
電池カバー 17
電池ケース 17
同梱品 10
特殊印刷 ..... 18、120
～メニュー一覧 120
特殊フォーム 74
～見本 83
～メニュー一覧 76
トリマー（RT36W） ..... 11、48
トリマーガイド 16
トリマーカバー 17
トリマー差込み口 16
トリマーテーブル 16

な

長い文章 34
中揃え（割付け） ..... 61、69
なし（囲み・網） 63
名前 ..... 88、99
印刷 101
修正 100
消去 100
登録 99
なまえ（縦）（フォーム） ..... 76、80
なまえ（横）（フォーム） ..... 76、80
入力切換 19
入力文字一覧表 158
ネガ文字 20
熱収縮チューブ 139
伸ばす（伸・縮） ..... 63、72

は

バーコード ..... 113、116
バーコードマーク（▥） 117
ハーフカッター（RH24） 11
貼付け（ペースト） ..... 19、43
半角スペース（␣） 36
半濁音 32
ピッチ固定（文字間） ..... 64、73
ピッチ自動（文字間） ..... 64、73
備品管理票（フォーム） ..... 76、77
病院（記号） ..... 137、170
病院（外枠・表組） 62
描画エリア（外字） 104
表組み（外枠・表組） ..... 61、70
表示濃度（環境設定） ..... 128、129
表示の切り換え 22
ひらがな 31
広い（文字間） ..... 64、73
ファイル ..... 18、88
ファイル ..... 88、89
消去 91
登録 89
複写 91
～メニュー一覧 88
呼出 90
ファイル/印刷履歴/あて名/名前/辞書
～メニュー一覧 88
フォーム 74
～見本 77
フォーム/特殊フォーム 18
～メニュー一覧 76
フォルダー山（フォーム） ..... 76、77
複数ラベル（特殊フォーム） ..... 76、85
部首画数（漢字検索） ..... 110、112
部首読み（漢字検索） ..... 110、112
ふつう（飾り字） ..... 63、72
ふつう（伸・縮） ..... 63、72
ふつう（文字間） ..... 64、73
ふつう（余白） ..... 59、67
復活 19
復活 42
ふりがな（名前） 101
プリンタドライバ
アンインストール 147
インストール 140
フルメモリーマーク（◀） 20
プレビュー ..... 18、37
文章
～を消去する 43
～をファイルする 89
文章書式 55
～メニュー一覧 59
ペースト（貼付け） ..... 19、43
ヘッド・クリーニングテープ（SR24C） ..... 11、157
別売品 11
変換スペース 19
変換 31
変換候補一覧（ATOK変換画面） 30
変換候補数（ATOK変換画面） 30
変換候補番号（ATOK変換画面） 30
変換対象（ATOK変換画面） 30
編集（記号） ..... 137、170
細・太の比率（バーコード） ..... 113、116
保存値 ..... 128、130
保存値設定（環境設定） ..... 128、131

付録

保存値復元（環境設定）.....128、131

ま

前揃え（割付け）.....61、69
マグネットテープ.....139
マスキングテープ「mt」ラベル.....139
丸囲み（囲み・網）.....63
丸囲網（囲み・網）.....63
みえ².....18、22
みえ².....22
見出し（縦）（特殊フォーム）.....76、83
見出し（横）（特殊フォーム）.....76、83
密着（文字間）.....64、73
ミニDV（定長印刷）.....59、65
ミニDV（フォーム）.....76、79
無変換.....19
無変換.....31
銘板（フォーム）.....76、81
メッセージ（フォーム）.....76、80
メニュー一覧.....59、136
　印刷設定.....125
　環境設定.....128
　漢字検索.....110
　記号.....136
　消去.....138
　段落スタイル.....60
　テープ送り.....138
　特殊印刷.....120
　ファイル.....88
　ファイル/印刷履歴/あて名/名前/辞書.....88
　フォーム/特殊フォーム.....76
　文章書式.....59
　文字モード.....63
　連番・バーコード.....113
モード.....18
文字
　～をコピーする.....42
　～を削除する.....42
　～を挿入する.....42
　～を入力する.....31、41
　～を貼り付ける.....43
文字間（文字モード）.....55、64、73、130
文字サイズ（段落スタイル）.....55、58、60、68、130
　～を変更する.....58
文字入力.....30
文字変換.....19
文字ボタン.....19
文字モード.....55
　～メニュー一覧.....63
文字モード指定マーク（▶）.....20、57

や

有効範囲.....57
有効範囲は？
　段落スタイル.....62
　文字モード.....64
拗音.....32
用途（QRコード）.....113、118
よこ書き（縦・横）.....52、60、68
余白（文章書式）.....55、59、67、130
読みの長さ.....34

ら

らく².....18、54
らく²（文字サイズ）.....54、60、68
リセット（印刷設定）.....125、127
りぼん.....139
りぼんキット（SRR10）.....11
連結呼出（ファイル）.....90
連続印刷.....120、121
連続番号.....113、114
連番.....18、113、114
連番・バーコード.....18、113
　～メニュー一覧.....113
連番マーク（¹N ²N）.....114
ローマ字入力.....31
ローマ字変換表.....172

わ

割付け（段落スタイル）.....55、61、69、130
割付け（割付け）.....61、69

付録

アフターサービスについて

■保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめのうえ、販売店よりお受け取りください。保証書と裏面の保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

■修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。本機およびご使用中の AC アダプタ･テープカートリッジなど一式と保証書を**お買い上げ販売店**、または**「テプラ」取扱店**までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。商品を**お買い上げ販売店**、または**「テプラ」取扱店**までお持ちください。
なお、修理・検査をおこなうと、登録されているファイル・入力した文章のデータや学習内容などは消去されます。また、修理のとき一部代替部品を使わせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

■お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、**お買い上げ販売店**、**「テプラ」取扱店**または**当社お客様相談室**にお問い合わせください。

フリーダイヤル（全国共通）　ナットクのパートナー
お客様相談室　0120-79-8107

FAX からの場合　0120-79-8102
携帯電話からの場合　0570-06-4759
※通話料お客様負担
受付時間：平日（月曜日～金曜日）　午前 9 時～午後 5 時 30 分

■最新情報については

「テプラ」に関する最新の情報は、当社のホームページをご覧ください。
ホームページアドレス　http://www.kingjim.co.jp/

■お客様登録のお願い

このたびはキングジム製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。お客様登録をしていただきますと、製品・サービスに関する情報提供やお問い合わせの受付など、キングジムがご提供するサポート・サービスを受けることができます。

お客様の個人情報の取り扱いについて
お客様からいただいた個人情報は、以下の目的で使用し、厳正な管理をいたします。
サービスやサポートのご提供・商品のご案内・統計情報としての利用・製品の改善等
なお、当社の個人情報の取り扱いの詳細につきましては、下記の当社ホームページをご覧ください。

お客様登録はこちらから▶ http://kingjim.jp/user/

「テプラ」PRO SR530 取扱説明書

2018 年　3月　第7版

株式会社キングジム

〒 101-0031　東京都千代田区東神田二丁目 10 番 18 号

SR530
取扱説明書

KING JIM

・お問い合わせ

フリーダイヤル（全国共通）　ナットクのパートナー
お客様相談室 0120-79-8107
受付時間：平日（月曜日～金曜日）午前9時～午後5時30分
ホームページアドレス http://www.kingjim.co.jp/

2006-21-⑦